

栃木県立美術館[年報]

令和7年度 ————— 2025年度

No.53

目 次

美術館概要		3
企画展		
(1) 谷内六郎展 ―昭和ノスタルジーの世界へ―		5
(2) 動くゴッホ展 ―デジタルアートは実物を超えるのか		19
(3) 宮城県美術館コレクション 絵本のひみつ展		21
(4) 僕はなにに色 渡辺豊重展 ―いろ、かたち、ひかりの冒険		34
常設展示		
(1) コレクション展Ⅰ 見て、聞いて、美術館		43
(2) コレクション展Ⅱ 言の葉でみる美術		47
(3) コレクション展Ⅲ 画題が意味するもの		53
(4) コレクション展Ⅳ 激動の時代 ―昭和の絵画―		60
アートリンクとちぎ2025(館外展)		65
諸 表		
1. 展覧会事業		76
2. 普及教育事業		79
3. 所蔵作品集計表		85
4. 美術館利用者数表		85
新収蔵美術資料		86
美術資料貸出状況		91
学芸員研究業績等		94
名 簿		97

■ 概 要

沿革

昭和43年－1968

- 12月－第121回栃木県議会定例会において美術館建設について要望あり。

昭和44年－1969

- 3月－美術館建設について基本構想樹立基本構想に基づき、建設準備調査に入る。
- 7月－栃木県立美術館建設委員会を結成、調査を開始、宇都宮市桜4丁目に敷地決定
- 9月－設計者を川崎清氏に決定

昭和45年－1970

- 3月－全国主要美術館実態調査
- 6月－設計構想

昭和46年－1971

- 2月－清水建設と工事請負契約
- 5月－建設委員会を発展的に解散し美術館運営準備委員会を結成
- 7月－起工式
開館記念展事業の決定
- 8月－本体基礎工事着手

昭和47年－1972

- 5月－文部省において社会教育施設補助金として3,000万円を交付決定
- 7月－栃木県立美術館条例制定公布
栃木県美術館職員発令
本体工事完了、外構工事着手
- 11月2日－竣工式・開館式および開館記念特別企画「栃木県の美術」展特別観覧
- 11月3日－一般公開

昭和56年－1981

- 10月24日－常設展示館開館

昭和57年－1982

- 3月26日－収蔵庫増築完了

平成4年－1992

- 11月1日－開館20周年記念「太陽と風と雨」展開催

平成7年－1995

- 11月6日－改修工事のため休館
～平成8(1996)年10月11日まで

平成9年－1997

- 4月－「バーナード・リーチ展」をはじめ当年度の企画展を、開館25周年記念展として開催

平成10年－1998

- 4月－知事部局(生活環境部文化振興課)と教育委員会事務局(生涯学習課)の共同所管となる。

平成19年－2007

- 3月14日－耐震改修工事のため休館
～平成20(2008)年3月31日まで

平成23年－2011

- 6月－常設展示室LED照明設置

平成24年－2012

- 通年－「栃木に生きる一風土・ひと・芸術一」をはじめ当年度の企画展を、開館40周年企画として開催
- 7月－企画展示室・集会室 LED照明設置

平成29年－2017

- 1月－エレベーター改修工事のため休館

令和4年－2022

- 10月－開館50周年記念「印象派との出会いーフランス絵画の100年ひろしま美術館コレクション」開催。

令和4年－2022

- 4月－知事部局(生活文化スポーツ部文化振興課)の所管となる。

基本的性格

社会教育施設である。同時に学校教育に利用されることを目的とする。

利用者の学習に役立つ調査・研究、収集・保存、教育・普及活動を行う。また自由な精神が解放されるよう、美的な環境を整備する。

運営方針

①栃木県関係の美術資料、美術作家に関する研究調査、資料の収集保存、展示普及活動を運営の基本とする。

②国内外の美術史および美術状況に幅広く対応する。

③県民が利用しやすい美術館とするため、地域の美術文化の向上、ならびに地域住民の美術に関する生涯学習等に役立つ事業を行う。

④学校教育との連携を重視する。

⑤常に美観を保ち、利用者の心が解放される憩いの場となるよう配慮する。

⑥栃木県立美術館友の会、関係諸機関との連絡協調を密にする。

建 築

本館設計:

川崎清+財団法人建築研究会

協力デザイナー:

家具／柳宗理

照明／石井幹子

テキスタイル／太田麗子

造園／吉村元男・矢野興

施 工:

建築／清水建設株式会社

電気設備／日本電設工業株式会社

空調衛生／日本熱学工業株式会社

家具／株式会社天童木工

新館設計

川崎清+環境・建築研究所

構造／空間設計1級建築士事務所

設備／建築設備設計研究所

施 工:

建築／清水建設株式会社

機械設備／須賀工業株式会社

電気設備／日本電設工業株式会社

敷地面積(㎡) 12,626.83

site area

各階床面積(㎡)

	本 館 main bldg.	新 館 new wing	保管庫棟 storage bldg.	計 total
地 階 besement	1,017.45	—	—	1,017.45
1 階 1st floor	2,014.70	985.69	408.69	3,409.08
2 階 2nd floor	148.58	725.61	200.78	1,074.97
3 階 3rd floor	107.36	—	—	107.36
4 階 4th floor	258.02	—	—	258.02
5 階 5th floor	286.82	—	—	25.00 22.00
塔 屋 penthouse	41.12	—	—	41.12
計 total	3,874.05	1,711.30	609.47	6,194.82

建築面積(㎡)

construction area

本 館 main bldg.	新 館 new wing	保管庫棟 storage bldg.	計 total
2,628.23	1,041.54	416.20	4,085.97

建築系統別床面積(㎡)

area on system

	本 館 main bldg.	新 館 new wing	保管庫棟 storage bldg.	計 total
展示系 gallery (企画展示室) (常設展示室)	1,297.58	1,292.03	—	2,589.61 (41.8%)
保管系 storage	314.24	—	600.15	914.39 (14.8%)
研究系 study	494.46	57.38	—	551.84 (8.9%)
事務管理系 office	338.90	24.60	—	363.50 (5.9%)
機械系 machine	552.68	124.32	9.32	686.32 (11.1%)
その他供用部 others	876.19	212.97	—	1,089.16 (17.6%)
計 total	3,874.05	1,711.30	609.47	6,194.82

利用案内

観覧時間: 午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

休 館 日: 月曜日(月曜日が祝日、振替休日、6月15日にあたる場合は開館して火曜日休館)、12月28日から1月4日まで

無 料 日: 6月15日(県民の日)、11月3日(文化の日)、6月の第2土曜日およびその翌日(県民の日関連無料日)

美術館までの道順: JR宇都宮駅、東武宇都宮駅から関東バス作新学院・駒生行にて桜通十字下車

友 の 会: 講演会、講習会などの行事を開催。会員が年会費を納め入会することにより、美術館の入館料を友の会が負担する(入会は随時)。

谷内六郎展—昭和ノスタルジーの世界へ—

TANIUCHI ROKURO



ポスター

会期	=	令和7(2025)年4月19日(土)～6月15日(日)
主催	=	栃木県立美術館
協力	=	横須賀美術館
後援	=	朝日新聞宇都宮総局、宇都宮コミュニティFM ミヤラジ、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局

本展は、昭和後期、雑誌『週刊新潮』の表紙を飾るノスタルジックなイラストを描いていた画家・谷内六郎を特集した展覧会である。谷内六郎は、1921(大正10)年、東京・恵比寿生まれ。子供のころから絵が得意で、十代の頃から工場や出版社で働きながら漫画、カット等を新聞や雑誌に投稿し、『キング』や『少年倶楽部』などに度々入選するなど若くして才能を発揮した。戦後、『民報』に4コマ漫画「真実一郎君」を連載、『VAN』や『漫画』誌に政治風刺漫画を発表するなど活動し、1955(昭和30)年に発表した『漫画読本』(文藝春秋社)で第一回文藝春秋漫画賞を受賞し、鮮烈なデビューを果たす。翌1956年に『週刊新潮』が創刊されると、創刊号からその表紙絵を描き、1981年に急性心不全で急逝するまで26年間の長きにわたり表紙絵の世界を舞台に活躍した。1998(平成10)年、アトリエを構えていた横須賀市に『週刊新潮』表紙絵をはじめとした作品が寄贈されると、2007年に開館した横須賀美術館の敷地内に谷内六郎館が併設され、多くの来場者に親しまれている。

本展では、横須賀美術館が所蔵する1300点以上の『週刊新潮』表紙絵原画の中から厳選した122点を展示し、六郎による表紙絵の見どころを紹介した。六郎本人がそれぞれの作品に付した「表紙の言葉」を並べることで、表紙絵の世界をより一層楽しむことができるよう展示を工夫した。また小説の装幀、映画のタイトルバック、自著となる絵本、ろうけつ染めの帯など、表紙絵以外の作品も約100点展示することができ、六郎の制作の幅の広さを示すことができた。展覧会初日には六郎長女の谷内広美氏によるスペシャルギャラリートークを開催し、父・六郎との思い出話や知られざるエピソードなどで多くの来客に楽しんでもらうことができた。

観覧者数	7,788人口
開催日数	50日(1日平均 156人)
展示点数	234点
担当者	志田康宏(主任)

作成印刷物

1)広報宣伝物

ポスター(B2)、チラシ(A4)

関連企画

1)谷内広美氏によるスペシャルギャラリートーク

日 時 : 4月19日(土) 午後1時30分～3時00分

講師 : 谷内広美(谷内六郎長女)

会場 : 企画展示室

2)ギャラリー・トーク(担当学芸員による解説)

日 時 : 4月27日(日)
5月18日(日)
6月1日(日)午後2時～3時

出品リスト

※ 個人蔵(No.164, 225)を除きすべて横須賀美術館蔵

第1章「週刊新潮」表紙絵[企画展示室]

No.	作者名	作品名	発行年月日	材質・技法	寸法(cm)
1	谷内六郎	上總の町は貨車の列 火の見 の高さに海がある	1956(昭和 31)年2月19 日創刊号	水彩・紙	34.3×24.5
2	谷内六郎	なまずの釣れた日	1956(昭和 31)年3月4日	水彩・紙	31.9×22.8
3	谷内六郎	たい焼屋	1956(昭和 31)年6月19 日	水彩・紙	31×21.6
4	谷内六郎	青い曲	1956(昭和 31)年6月26 日	水彩、カラー ジュ・紙	29.5×20.7
5	谷内六郎	ポンポン蒸汽	1956(昭和 31)年7月30 日増大号	水彩・紙	30.6×21.2
6	谷内六郎	じしゃくの夢	1956(昭和 31)年8月27 日	水彩、カラー ジュ・紙	32.4×22.4
7	谷内六郎	お父さんおかえり	1956(昭和 31)年10月8 日	水彩・紙	32.3×22.9
8	谷内六郎	年輪	1957(昭和 32)年2月11 日 創刊一周年 臨時増大号	水彩・厚紙	34.6×24.7
9	谷内六郎	記念写真	1957(昭和 32)年2月25 日	水彩・紙	30.3×21.3
10	谷内六郎	あられ	1957(昭和 32)年3月11 日	水彩・紙	28.5×19.8
11	谷内六郎	はじまり	1957(昭和 32)年4月8日	水彩・紙	30.9×21.7
12	谷内六郎	アメリカ生れのミルクのみ	1957(昭和 32)年5月27 日	水彩・紙	29.3×21

13	谷内六郎	おはじき	1957(昭和 32)年6月10 日	コンテ、水彩・ 紙	32.5×23.3
14	谷内六郎	鏡の中	1957(昭和 32)年6月24 日	水彩・紙	29.7×21
15	谷内六郎	虫の劇場	1957(昭和 32)年7月8日	水彩・紙	27.7×20.3
16	谷内六郎	枯葉	1957(昭和 32)年10月21 日	水彩・紙	33.4×23.9
17	谷内六郎	木の涙	1958(昭和 33)年3月31 日	水彩、鉛筆・ 紙	30.3×21.5
18	谷内六郎	初日の出	1959(昭和 34)年1月5日 増大号	水彩・紙	37.3×25.5
19	谷内六郎	おじさんに似てるわよ	1959(昭和 34)年4月27 日	水彩、カラー ジュ・紙	32.5×23.6
20	谷内六郎	夕焼を消す人	1959(昭和 34)年5月4日 増大号	水彩・紙	36×25.5
21	谷内六郎	ほたる	1959(昭和 34)年7月6日	水彩・紙	36.2×25.3
22	谷内六郎	夜の公衆電話	1959(昭和 34)年11月16 日	水彩・厚紙	39.5×27.6
23	谷内六郎	お山も半刈り	1960(昭和 35)年1月18 日	水彩・厚紙	39.3×27.8
24	谷内六郎	みかんの灯る晩(2枚組)	1960(昭和 35)年2月29 日	水彩・厚紙	各38×28
25	谷内六郎	じしゃく人形みたいね	1960(昭和 35)年4月11 日増大号	水彩・厚紙	39.5×28.3
26	谷内六郎	赤い煙突	1960(昭和 35)年4月25 日	水彩・紙	37.7×26.3
27	谷内六郎	タネを吹く子	1960(昭和 35)年5月23 日	水彩・紙	39.8×27.8
28	谷内六郎	雲の物語	1960(昭和 35)年8月1日 増大号	水彩・厚紙	37.8×27

29	谷内六郎	太鼓の音はおなかにひびく	1960(昭和 35)年9月12 日	水彩・厚紙	38×28
30	谷内六郎	湯気の声	1961(昭和 36)年3月6日	水彩・紙	36.7×24.7
31	谷内六郎	理科の虫めがね	1961(昭和 36)年3月13 日	水彩・厚紙	37.2×26.3
32	谷内六郎	北の果の年輪	1961(昭和 36)年4月10 日	水彩・厚紙	37.1×26
33	谷内六郎	傘の穴は一番星	1961(昭和 36)年5月22 日	水彩・厚紙	36.5×28
34	谷内六郎	こけし屋の子	1961(昭和 36)年6月19 日	水彩・厚紙	38×28.5
35	谷内六郎	あぶくのファンタジー	1961(昭和 36)年7月31 日	水彩・厚紙	36.2×26.4
36	谷内六郎	髪のマスキーヤー	1962(昭和 37)年3月5日	水彩・厚紙	39.3×28.5
37	谷内六郎	遠足	1962(昭和 37)年4月30 日	水彩・厚紙	39.2×27.4
38	谷内六郎	かやの峠道	1962(昭和 37)年8月20 日増大号	水彩・厚紙	39×27.7
39	谷内六郎	月光の曲	1962(昭和 37)年10月1 日	水彩・厚紙	38.7×27.5
40	谷内六郎	新しい羽根 古い羽根	1962(昭和 37)年12月31 日	水彩・厚紙	39×27.3
41	谷内六郎	こがらし坊やが呼んでる晩	1963(昭和 38)年2月18 日	水彩・厚紙	39.3×27.7
42	谷内六郎	かくれんぼの記憶	1963(昭和 38)年5月20 日	水彩・厚紙	39×27.5
43	谷内六郎	早い夏	1963(昭和 38)年6月10 日	水彩・厚紙	39.3×27.8
44	谷内六郎	ミシンの音	1963(昭和 38)年7月8日	水彩・厚紙	39.2×27.8

45	谷内六郎	はだしのお客は誰かしら	1963(昭和 38)年9月16 日	水彩・厚紙	39×27.8
46	谷内六郎	夜ふけの幻想	1963(昭和 38)年11月18 日	水彩・厚紙	39.1×27.9
47	谷内六郎	赤い雪 青い雪	1964(昭和 39)年1月27 日	水彩・厚紙	39×28
48	谷内六郎	雪の軍勢 火の子の軍勢	1964(昭和 39)年2月10 日	水彩・厚紙	39.3×28
49	谷内六郎	迷い子になった夢	1964(昭和 39)年4月13 日	水彩・厚紙	39.3×28.4
50	谷内六郎	一コマのカラー	1964(昭和 39)年5月18 日	水彩・厚紙	39×28
51	谷内六郎	夜明の音階	1964(昭和 39)年6月22 日	水彩・厚紙	39×28.3
52	谷内六郎	人形のリフト	1965(昭和 40)年1月25 日	水彩・厚紙	39.5×27.8
53	谷内六郎	やどがに	1965(昭和 40)年8月14 日	水彩・厚紙	39.3×27.6
54	谷内六郎	小さな遊園地	1965(昭和 40)年10月9 日	水彩・厚紙	39.4×27.4
55	谷内六郎	逃げる方に来る煙	1965(昭和 40)年11月20 日	水彩・厚紙	39.2×27.8
56	谷内六郎	紙電話の声	1966(昭和 41)年3月12 日	水彩・厚紙	39×28.5
57	谷内六郎	時計屋に行った日	1966(昭和 41)年6月4日	水彩・厚紙	42×28
58	谷内六郎	迷い子の夜のネオン	1966(昭和 41)年12月31 日	水彩、カラー ジュ・厚紙	39.3×29
59	谷内六郎	新年	1967(昭和 42)年1月7日 増大号	水彩・厚紙	39.3×28.8
60	谷内六郎	回転ドアに迷った風船	1967(昭和 42)年1月28 日	水彩・厚紙	39.5×28.5

61	谷内六郎	つらゝの工場	1967(昭和 42)年2月11 日	水彩・厚紙	39×29.7
62	谷内六郎	町を見物してる	1967(昭和 42)年4月8日	水彩・厚紙	39×29
63	谷内六郎	景色が走る	1967(昭和 42)年4月29 日	水彩・厚紙	39×29
64	谷内六郎	とられた靴	1967(昭和 42)年6月17 日	水彩、カラー ジュ・厚紙	39.5×29
65	谷内六郎	コンペイトウの星空	1968(昭和 43)年1月27 日	水彩・厚紙	39×28.7
66	谷内六郎	吹雪のわたあめ屋	1968(昭和 43)年2月10 日	水彩・厚紙	39.3×28.7
67	谷内六郎	天井の記憶	1968(昭和 43)年4月13 日	水彩・厚紙	39×28.5
68	谷内六郎	こずえの音	1968(昭和 43)年11月30 日	水彩・厚紙	41.5×28.5
69	谷内六郎	パーマ屋さん	1969(昭和 44)年4月19 日	水彩・厚紙	40.5×28.9
70	谷内六郎	赤い電燈	1969(昭和 44)年6月28 日	水彩・厚紙	40.5×28.5
71	谷内六郎	順々	1969(昭和 44)年7月19 日	水彩・厚紙	40.5×29.4
72	谷内六郎	水に長くつかりすぎてお婆さん	1969(昭和 44)年8月30 日	水彩・厚紙	40.7×28.5
73	谷内六郎	夢の中の道	1969(昭和 44)年10月11 日	水彩・厚紙	40.7×28.8
74	谷内六郎	買ってもらった気持	1969(昭和 44)年12月27 日	水彩・厚紙	40.8×30
75	谷内六郎	霧のミルクも来てた	1970(昭和 45)年4月11 日	水彩・厚紙	40.7×29.3
76	谷内六郎	五月	1970(昭和 45)年5月2日 黄金週間第 一特大号	ろうけつ染、 着色・布	41.3×29.3

77	谷内六郎	録音係	1970(昭和 45)年8月1日	水彩・厚紙	40.5×29.9
78	谷内六郎	二月の記憶	1971(昭和 46)年2月6日	水彩・厚紙	40.7×29
79	谷内六郎	なかなかどかない	1971(昭和 46)年7月24 日	水彩・厚紙	40.5×29.8
80	谷内六郎	虫のハイウェイ	1971(昭和 46)年8月28 日	水彩・厚紙	40.5×29.2
81	谷内六郎	火星人だ	1971(昭和 46)年9月25 日	水彩・厚紙	40.5×29.5
82	谷内六郎	迷った町の知らない子	1971(昭和 46)年11月13 日	水彩・厚紙	40.5×29.8
83	谷内六郎	犬が沢山吠える夜	1972(昭和 47)年2月19 日	水彩・厚紙	40.8×30
84	谷内六郎	ぼくはどっちだ	1972(昭和 47)年4月15 日	水彩・厚紙	40.5×30
85	谷内六郎	失敗	1972(昭和 47)年5月27 日	水彩・厚紙	40.5×28.9
86	谷内六郎	ミンミンゼミのお経	1972(昭和 47)年8月19 日特大号	水彩・厚紙	40.7×30
87	谷内六郎	小石を投げるとカンカンカン	1973(昭和 48)年4月19 日	水彩・厚紙	40.5×30.5
88	谷内六郎	井戸の記憶	1973(昭和 48)年9月6日	水彩・厚紙	40.8×30
89	谷内六郎	階段の靴音	1973(昭和 48)年9月20 日	水彩・厚紙	40.3×30
90	谷内六郎	廃村の学校	1973(昭和 48)年10月25 日	水彩・厚紙	40.8×29.7
91	谷内六郎	車窓のフィルム	1974(昭和 49)年2月14 日	水彩・厚紙	42×30.5
92	谷内六郎	リボンについてくる蝶	1974(昭和 49)年4月4日	水彩・厚紙	41.2×30.2
93	谷内六郎	おどかそうと思って	1974(昭和 49)年9月12 日	水彩・厚紙	42×30.2

94	谷内六郎	残り火の記憶	1974(昭和 49)年10月10 日	水彩・厚紙	42.5×30.4
95	谷内六郎	幻燈の思い出	1975(昭和 50)年2月20 日	水彩・厚紙	42×29.5
96	谷内六郎	始発には夜の子が乗っている	1975(昭和 50)年3月27 日	水彩・厚紙	42×30.3
97	谷内六郎	しずくが横綱になるまで	1975(昭和 50)年5月29 日	水彩・厚紙	42.5×29
98	谷内六郎	貝のレーシングカー	1975(昭和 50)年7月10 日	水彩・厚紙	42.3×29.7
99	谷内六郎	トリもまねしてる	1975(昭和 50)年11月27 日	水彩・厚紙	42×30.5
100	谷内六郎	るす番の日の心 窓の顔はすぐ 涙	1976(昭和 51)年1月22 日	水彩・厚紙	40.6×30.3
101	谷内六郎	ドックの祝日	1976(昭和 51)年3月25 日	水彩・厚紙	40.7×30.3
102	谷内六郎	夜明け 空は眠り 外燈が起き てる パリにて	1976(昭和 51)年5月27 日	水彩・厚紙	42.8×29.3
103	谷内六郎	秋の宿	1976(昭和 51)年10月7 日	水彩・厚紙	40.3×30
104	谷内六郎	象のいる山	1977(昭和 52)年2月3日	水彩・厚紙	42.5×30
105	谷内六郎	光を使う燈台の子	1977(昭和 52)年9月22 日	水彩・厚紙	40.5×29
106	谷内六郎	柿ののれん	1977(昭和 52)年11月17 日	水彩、カラー ジュ・厚紙	40.5×29.3
107	谷内六郎	物置の裸電球	1978(昭和 53)年1月26 日	水彩・厚紙	42.8×29.7
108	谷内六郎	ラッシュアワー	1978(昭和 53)年7月20 日	水彩・厚紙	40.8×29.9
109	谷内六郎	ひぐらしの音	1978(昭和 53)年8月31 日	水彩・厚紙	40.5×30

110	谷内六郎	初雪のレース	1978(昭和 53)年12月14 日	水彩、カラー ジュ・紙	40.5×30.2
111	谷内六郎	雪と波との合戦	1979(昭和 54)年2月1日	水彩・厚紙	40.5×30
112	谷内六郎	びいどろやぎやまんの夢	1979(昭和 54)年2月22 日	ろうけつ染、 着色・布	42×29.5
113	谷内六郎	花びらの切符	1979(昭和 54)年4月5日	水彩・厚紙	40.5×29.5
114	谷内六郎	金魚はユカタで夏まつり	1979(昭和 54)年6月21 日	水彩・厚紙	40.4×30
115	谷内六郎	リンゴのサンタさん	1979(昭和 54)年12月27 日	水彩・厚紙	40.9×30
116	谷内六郎	雪の宇宙人	1980(昭和 55)年2月7日	水彩・紙	40.5×30
117	谷内六郎	大きな時計の記憶	1980(昭和 55)年4月17 日	水彩・厚紙	40.2×30.4
118	谷内六郎	影絵の季節	1980(昭和 55)年11月6 日	水彩・厚紙	40.8×28
119	谷内六郎	カン馬の記憶	1980(昭和 55)年11月20 日	水彩・厚紙	40.8×28.3
120	谷内六郎	ゆうべの雪	1981(昭和 56)年1月29 日	水彩・厚紙	41.1×29.5
121	谷内六郎	春先の記憶	1981(昭和 56)年3月12 日	水彩・紙	41.6×30
122	谷内六郎	菜の花	1981(昭和 56)年4月16 日	水彩・厚紙	41.8×30.2
123	谷内六郎	「週刊新潮」1956(昭和31)年2 月19日号	1956(昭和 31)年2月19 日	冊子	55×46
124	谷内六郎	「週刊新潮」1956(昭和31)年3 月4日号	1956(昭和 31)年3月4日	冊子	24×19
125	谷内六郎	「週刊新潮」1956(昭和31)年6 月26日号	1956(昭和 31)年6月26 日	冊子	54.5×42
126	谷内六郎	「週刊新潮」1956(昭和31)年10 月8日号	1956(昭和 31)年10月8 日	冊子	55×65
127	谷内六郎	「週刊新潮」1957(昭和32)年7 月8日号	1957(昭和 32)年7月8日	冊子	19.5×20

128	谷内六郎	「週刊新潮」1959(昭和34)年11月16日号	1959(昭和34)年11月16日	冊子	48.5×32.5
129	谷内六郎	「週刊新潮」1960(昭和35)年5月23日号	1960(昭和35)年5月23日	冊子	51.8×42.9
130	谷内六郎	「週刊新潮」1960(昭和35)年9月12日号	1960(昭和35)年9月12日	冊子	35×28
131	谷内六郎	「週刊新潮」1959(昭和34)年7月6日号	1959(昭和34)年7月6日	冊子	36×24
132	谷内六郎	「週刊新潮」1960(昭和35)年8月1日号	1960(昭和35)年8月1日	冊子	32×25.3
133	谷内六郎	「週刊新潮」1961(昭和36)年5月22日号	1961(昭和36)年5月22日	冊子	50×40.3
134	谷内六郎	「週刊新潮」1963(昭和38)年7月8日号	1963(昭和38)年7月8日	冊子	31.2×24
135	谷内六郎	「週刊新潮」1977(昭和52)年2月3日号	1977(昭和52)年2月3日	冊子	64×50

第2章 谷内六郎の多彩な世界[常設展示室1階]

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
136	谷内六郎	『シンジツイチロークン』	1947	冊子	18.3×12.7
137	谷内六郎	習作絵本 ハマベノコ	1941	水彩、インク、鉛筆 紙	26×18.5
138	谷内六郎	終戦の秋	1945	水彩、墨 紙	41.5×30.5
139	谷内六郎	泣きながら帰った道	1949	水彩、墨 紙	24.9×26
140	谷内六郎	フィルムの中の二挺拳銃	1950	水彩、インク 紙	24.2×34.4
141	谷内六郎	湯気	1950	水彩、墨 紙	22.6×17.7
142	谷内六郎	病気の子	1951	インク 紙	25.6×35
143	谷内六郎	幼い記憶	1951	水彩、墨 紙	33.7×24.9
144	谷内六郎	宿題	1951	水彩、墨 紙	36×27.8
145	谷内六郎	重患の室	1950	インク 紙	30.8×34
146	谷内六郎	院長先生の来た日	1950	インク 紙	28×40.2
147	谷内六郎	人買いの話	1950	水彩、墨 厚紙	53×37.6
148	谷内六郎	雪の空	1949	水彩、墨 紙	25.8×36.3
149	谷内六郎	春の来る音	1951	水彩、墨 紙	38.2×53.8

150	谷内六郎	映画〔社長三代記シリーズ〕タイトルバック原画〔雑居ビルと信号機〕	1957-58年頃	クレヨン 紙	48.5×93.7
151	谷内六郎	映画〔社長三代記シリーズ〕タイトルバック原画〔カウンターバーと婦人小物〕	1957-58年頃	クレヨン、水彩	48.3×93.5
152	谷内六郎	映画〔社長三代記シリーズ〕タイトルバック原画〔社長と部下〕	1957-58年頃	クレヨン、水彩	48×93.5
153	谷内六郎	映画〔社長三代記シリーズ〕タイトルバック原画〔都会〕	1957-58年頃	クレヨン	46.5×91.5
154	谷内六郎	映画〔社長三代記シリーズ〕タイトルバック原画〔悠然たる社長と忙しい職場〕	1957-58年頃	クレヨン、水彩	46.5×91.5
155	谷内六郎	映画〔社長三代記シリーズ〕タイトルバック原画〔邸宅と屋台〕	1957-58年頃	クレヨン、水彩	46.5×90.5
156	谷内六郎	中村武志著『目白三平の日日』表紙原画	1958	水彩 紙	18×11.5
157	谷内六郎	『目白三平の日日』(中村武志著)	1958	冊子	17×11.2
158	谷内六郎	赤い風船(山陽堂書店 初代モザイク壁画原画)	1963(壁画完成年)	水彩 厚紙	74×21.8
159	谷内六郎	壺井栄著『二十四の瞳』表紙原画	1965	水彩 ボードに紙	20.4×29.8
160	谷内六郎	『二十四の瞳他二編』(壺井栄著)(文庫版)	1965	冊子	15.2×10.6
161	谷内六郎	夕やけちゃんデザイン画	1964年頃	水彩 紙	26.2×30.7
162	谷内六郎	夕やけちゃんデザイン画	1964	水彩 紙	26×31.3
163	谷内六郎	夕やけちゃん人形		人形	高さ36.2
164	谷内六郎	『週刊新潮』5月10日増大号 新聞広告原画	1965	水彩、墨 紙	20.6×37.6
165	谷内六郎	『週刊新潮』新聞広告原画(週刊新潮 発行部数 106万7千部)	1961頃	水彩、墨 紙	20.5×37.3
166	谷内六郎	『週刊新潮』新聞広告原画(六郎日記より)	不詳	墨、インク 紙	25.6×35.3
167	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 湖	1963	タイル	43.3×36
168	谷内六郎	『伊奈だより』1963(昭和38)年8月号	1963	冊子	25.8×18
169	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 月の出	1963	タイル	42.5×36.3
170	谷内六郎	『伊奈だより』1963(昭和38)年10月号	1963	冊子	25.8×18

171	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 北国幻想	1963	タイル	43.5×32.5
172	谷内六郎	『伊奈だより』1963(昭和38)年12月号	1963	冊子	25.8×18
173	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 七月の埤頭	1965	タイル	45.5×30.5
174	谷内六郎	『伊奈だより』1965(昭和40)年7月号	1965	冊子	25.8×18
175	谷内六郎	甘糟幸子著『野草の料理』表紙原画	1977	水彩 厚紙	19.9×30
176	谷内六郎	森繁久彌著『森繁自伝』表紙原画[新装版]	1978	水彩、墨、鉛筆 紙	右23.2×15.6 左22.9×15.8
177	谷内六郎	大宅壮一著『青春日記』上下巻表紙原画	1979	水彩、墨、鉛筆、コラージュ 紙	右18×13.1 左18.3×13.3
178	谷内六郎	石濱恒夫著『メルヘン動物園1～3』装幀原画	1977	水彩 紙	19×28.5
179	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』表紙原画	1967	水彩 ボードに紙	21×33
180	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』(文庫版)表紙原画	1977	水彩、墨 ボード	31.3×21.7
181	谷内六郎	『マンボウおもちゃ箱』(北杜夫著)(文庫版)	1977	冊子	15×10.7
182	谷内六郎	北杜夫著『マンボウぼうえんきょう』表紙原画	1973	水彩 厚紙	28.3×44
183	谷内六郎	『マンボウぼうえんきょう』(北杜夫著)	1973	冊子	19×13.7
184	谷内六郎	北杜夫著『マンボウ周遊券』表紙原画	1976	水彩 厚紙	18.7×39.7
185	谷内六郎	北杜夫著『マンボウ周遊券』目次挿絵原画	1976	墨、鉛筆 紙	22.4×30.1
186	谷内六郎	『マンボウ周遊券』(北杜夫著)	1976	冊子	19×13.7
187	谷内六郎	宮沢賢治著「どんぐりと山ねこ」挿絵原画	1968	水彩 厚紙	22.2×19
188	谷内六郎	宮沢賢治著「ちゅうもんの多い料理店」挿絵原画	1968	水彩 厚紙	23×19.5
189	谷内六郎	宮沢賢治著「ほらくま学校を卒業した3人」挿絵原画	1968	水彩 厚紙	23.6×19.3
190	谷内六郎	宮沢賢治著「雪渡り」挿絵原画	1971	水彩 厚紙	31.4×30
191	谷内六郎	宮沢賢治著「いちょうの実」挿絵原画	1971	水彩 厚紙	50.5×50.5
192	谷内六郎	樋屋製菓CM原画 春編	1970年代後半	水彩 ボード	36.2×51.5
193	谷内六郎	樋屋製菓CM原画 秋冬編	1970年代後半	水彩 ボード	46.2×57

194	谷内六郎	樋屋製菓CM原画 夏編	1970年代後半	水彩 ボード	36.3×51.5
195	谷内六郎	『びんのそら』	1974	冊子	25.1×25.1
196	谷内六郎	『こどものせかい』8／『びんのそら』扉絵原画	1972	水彩 ボード	20.1×25
197	谷内六郎	『こどものせかい』8／『びんのそら』挿絵原画	1972	水彩 ボード	25×40.6
198	谷内六郎	『こどものせかい』8／『びんのそら』挿絵原画	1972	水彩 ボード	25×40.5
199	谷内六郎	『ぎんのわっか』	1972	冊子	25×25
200	谷内六郎	『こどものせかい』6／『ぎんのわっか』表紙・挿絵原画	1970	水彩 厚紙	24.5×25
201	谷内六郎	『こどものせかい』6／『ぎんのわっか』挿絵原画	1970	水彩 ボード	20×24.8 20.5×24.7
202	谷内六郎	『こどものせかい』6／『ぎんのわっか』挿絵原画	1970	水彩 ボード	20.5×24.8 20.3×25.1
203	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』	1975	冊子	26.8×18.8
204	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」鉛の兵隊	1975	水彩 透明フィルム(印画紙に貼付)	29.5×25.5
205	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」帰り道	1975	水彩 透明フィルム(印画紙に貼付)	22×29
206	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」インデアン	1975	水彩 透明フィルム(印画紙に貼付)	26×30.4
207	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」早くお家へ帰ろう	1975	水彩 透明フィルム(印画紙に貼付)	25.7×30.5
208	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」月夜の夢	1975	水彩 透明フィルム(印画紙に貼付)	22×28.9
209	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」星空もラムネ	1975	水彩 透明フィルム(印画紙に貼付)	30.8×24
210	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」関連原画 オモチャの映画	1975	水彩 透明フィルム(印画紙に貼付)	28.8×19.3
211	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」関連原画 陽なた	1975	水彩 印画紙	26×30.4
212	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」関連原画 雪の精が帰る	1975	水彩 印画紙	19.4×28.8

213	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成「遠い星」関連原画 アラビアンナイト	1975	水彩 印画紙	25.8×30.3
214	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成「遠い星」関連原画	1975	水彩 印画紙	29×19.6
215	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成「遠い星」関連原画	1975	水彩 印画紙	25.7×30.4
216	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成「遠い星」関連原画 瓦は昔々の波なの	1975	水彩 印画紙	25.7×30.2
217	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成「遠い星」関連原画	1975	水彩 フィルム(印画紙に貼付)	25×30.3
218	谷内六郎	堀越ビル(元・金竜堂書店)モザイク壁画《砂山》	1969(壁画完成年)	水彩 厚紙	73.4×22
219	谷内六郎	清明堂書店本店モザイク壁画原画《立山早春》	1972(壁画完成年)	水彩 厚紙	65×39.5
220	谷内六郎	くまざわ書店八王子店モザイク壁画原画《水面のライト》	1975(壁画完成年)	水彩 厚紙	92×19
221	谷内六郎	山陽堂書店モザイク壁画原画《傘の穴は一番星》	1975(壁画完成年)	水彩 厚紙	76×22.2
222	谷内六郎	静岡谷島屋モザイク壁画原画《西洋館の思い出》	1978(壁画完成年)	水彩 厚紙	50×64
223	谷内六郎	里の秋	1965	水彩 紙	232×738
224	谷内六郎	映画『風と樹と空と』オープニングタイトルバック	1964	水彩 紙	80×500
225	谷内六郎	ろうけつ染帯地(壺と皿絵)	1949-56年頃	ろうけつ染布	455×35.5
226	谷内六郎	ろうけつ染帯地(壺と皿絵)	1949-56年頃	ろうけつ染布	457×35.5
227	谷内六郎	自転車と機関車	不詳	ろうけつ染綿布	67.5×84.8
228	谷内六郎	肖像画(熊谷達子)	1955-56年頃	鉛筆 紙	36×26
229	谷内六郎	太郎1才10か月の言葉	1967	インク 紙	31.2×22.4
230	谷内六郎	ミチ童話スタジオ看板	1970年代後半	水彩、紙 板	22.7×60
231	谷内六郎	おもちゃ	1970年代	インク 厚紙	各14×5.5
232	谷内六郎	ポロライドカメラ	1970年代	インク、鉛筆 紙	13.5~13.8×5.6~9.7
233	谷内六郎	鴨居アトリエ看板	1974年頃	ペンキ 板	58.3×71.5

親愛なる友 フィンセント
動くゴッホ展
ーデジタルアートは実物を超えるのか

Moving Vincent Van Gogh: Digital Fine Art Exhibition



ポスター



図録

会	期	=	令和7(2025)年6月28日(土)ー9月7日(日)
主	催	=	栃木県立美術館、下野新聞社
特 別	監 修	=	MDK Digital Pictures
監	修	=	井坂 健一郎 (山梨大学大学院教授)
企 画	制 作	=	ワンダースクワッド／ネオスペース
後	援	=	朝日新聞宇都宮総局、宇都宮コミュニティFM ミヤラジ、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、東京新聞宇都宮支局、株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局

本展は、当館では初めてのデジタルファインアートによる展覧会である。デジタルファインアートとは、高解像度で撮影されたデジタルデータをもとにして、つくりあげられた映像作品で、様々な時期の代表作を「動く絵画」として展示することによりゴッホの生涯とその作品について一覧できる展覧会であった。また、会場内では、「動く」ゴッホ作品のほか、世界中に所蔵されている約860点のゴッホ作品すべてをスライドショーで見ることが出来る「ゴッホ・シアター」を設置するなど、実物の展覧会では実現しない、デジタルならではの楽しみ方も提案することができた。関連イベントとして、講演会では、日本のゴッホ研究の第一人者である関府寺司氏を講師に招き、現代におけるゴッホ受容の多様化についてお話しいただいた。また、制作ワークショップとして、造形作家の青木世一氏を招いて「AOKIT」シリーズをもとにした制作ワークショップを実施した。

開幕後には多くの反響があり、特に会期後半には県内に限らず首都圏や東北地方からの来館者も多く訪れた。来館者アンケートによれば、初めて美術館を訪れる若年層やファミリー層も多く来館したことがわかり、美術館ファン層の拡大に寄与できたと考えられる。最終的な入館者数は開館以来最多を記録した。

観 覧 者 数	57,984人
開 催 日 数	62日 (1日平均935人)
展 示 点 数	映像24点
図 録 販 売	1,591冊
担 当 者	武関彩瑛(主任)、橋本慎司(学芸課長)

作 成 印 刷 物

1)広報宣伝物

ポスター (B2)、チラシ (A4)

2)図録

体 裁	:	体裁:A4判、32頁、図版 約1000点
関連地図、関連年譜、関連者相関図、ゴッホ・アーカイブ		
監 修	:	ワンダースクワッド、井坂健一郎
印 刷	:	井上総合印刷

発行：ネオスペース、栃木県立美術館、下野新聞社

関連企画

1) 講演会「私たちはどんなメディアを通じてファン・ゴッホとふれてきたの？」

日時：8月30日(日) 13時～14時30分
講師：岡府寺 司氏(大阪大学名誉教授)
会場：集会室

2) 親子ワークショップ「《アルルの寝室》をつくろう」

日時：7月26日(土) 10時～15時
講師：青木世一氏(造形作家)
会場：集会室

出品リスト

No.	コーナー名	材質・技法	映像制作
1	肖像画ギャラリー	映像	ワンダースクワッド
2	2本の切ったひまわり	映像	ワンダースクワッド
3	ひまわり	映像	ワンダースクワッド
4	アイリス	映像	ワンダースクワッド
5	黄色い空と太陽のあるオリーブ畑	映像	ワンダースクワッド
6	糸杉	映像	ワンダースクワッド
7	星月夜	映像	ワンダースクワッド
8	ローヌ川の星月夜	映像	ワンダースクワッド
9	ラクローの収穫風景	映像	ワンダースクワッド
10	シエスタ	映像	ワンダースクワッド
11	花咲くアーモンドの木の枝	映像	ワンダースクワッド
12	ゴッホ・シアター	映像	ワンダースクワッド
13	ゴッホ・アーカイブホール	映像	ワンダースクワッド

宮城県美術館コレクション 絵本のひみつ展

Secret of Picture Book : Collection of The Miyagi Museum of Art



ポスター



図録

会期	=	令和7(2025)年10月25日(土)～12月21日(日)
主催	=	栃木県立美術館、宮城県美術館
特別協賛	=	足利銀行
後援	=	朝日新聞宇都宮総局、宇都宮コミュニティFM「ミヤラジ」、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局
協力	=	福音館書店
企画協力	=	キュレイターズ

本展は宮城県美術館が所蔵する、月刊絵本「こどものとも」を中心とした絵本原画コレクションを紹介した展覧会である。宮城県美術館の絵本原画コレクションは、月刊絵本「こどものとも」の初期作品と、そこから絵本の世界に羽ばたいていった作家たちの手による原画を核に形成されている。戦後の混乱の中、「子どもたちに上質な絵本を届けたい」という編集者・松居直の思いのもと、1956年に福音館書店が創刊した月刊絵本「こどものとも」は、当時第一線で活躍していた洋画家・日本画家・デザイナーなどを原画制作に起用したことが特徴として挙げられる。そこで本展では、素材や技法、タッチなど、描き手が原画に凝らした創意工夫を「絵本のひみつ」として紹介した。

関連イベントとして、アルミ板を制作に用いる絵本作家・あずみ虫氏によるワークショップをはじめ、当館初のイベントである絵本の読み聞かせ会といった子ども向けイベントを開催した。「動くゴッホ展」に続き、当館の認知度向上に繋がる展覧会となった。

観覧者数	13,686人
開催日数	50日(1日平均274人)
展示点数	作品180点(展示替え無し)
図録販売	265冊
担当者	清水友美(研究員)

作成印刷物

- 1)広報宣伝物
 - ポスター (B2)、チラシ (A4)、オリジナルしおり
- 2)図録
 - 体裁 : 20×22cm、108頁、図版 約190点
 - 編集 : 宮城県美術館・ひろしま美術館・キュレイターズ
 - 印刷 : 中西印刷株式会社
 - 発行 : キュレイターズ

関 連 企 画

1) 記念講演会「原画展でみる絵本表現のひみつ」

日 時 : 11月29日(土) 午後2時から3時30分
 講 師 : 菅野仁美 氏(宮城県美術館 学芸員)
 会 場 : 集会室

2) ワークショップ「アルミ板でどうぶつのオブジェを作ろう！」

日 時 : 11月2日(日) 午後2時から4時
 講 師 : あずみ虫 氏(絵本作家・イラストレーター)
 会 場 : 集会室
 対 象 : 小学校3年生～中学生 ※小学生は保護者同伴

3) 絵本の読み聞かせ会

日 時 : 11月22日(土)、12月7日(日)
 各日とも午前10時～10時30分、午後2時～2時30分
 協 力 : 栃木子どもの本連絡会
 会 場 : 集会室

4) ギャラリー・トーク(担当学芸員による解説)

日 時 : 10月25日(土)、11月15日(土)、12月20日(土)
 各回とも午後2時から
 会 場 : 企画展示室

出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	初出・頁
1	秋野 不矩	うりひめとあまのじゃく(1)	1957年1月	紙、顔彩	35.8×46.7	「こどものとも」10号(福音館書店)表紙・裏表紙
2	秋野 不矩	うりひめとあまのじゃく(3)	1957年1月	紙、顔彩	36.1×46.2	「こどものとも」10号(福音館書店)4-5頁
3	秋野 不矩	うりひめとあまのじゃく(4)	1957年1月	紙、顔彩	36.4×45.9	「こどものとも」10号(福音館書店)6-7頁
4	秋野 不矩	うりひめとあまのじゃく(7)	1957年1月	紙、顔彩・鉛筆	36.1×46.1	「こどものとも」10号(福音館書店)12-13頁
5	関野 準一郎	うしかたとやまうば(4)	1972年2月	紙、多色木版・顔彩	40×54.6	「こどものとも」191号(福音館書店)6-7頁
6	関野 準一郎	うしかたとやまうば(5)	1972年2月	紙、多色木版・顔彩・パステル	40×54.7	「こどものとも」191号(福音館書店)8-9頁
7	関野 準一郎	うしかたとやまうば(7)	1972年2月	紙、多色木版・顔彩・パステル	39.7×54.8	「こどものとも」191号(福音館書店)12-13頁

第1章 遊び、実験、工夫いろいろ

得意の方法で

8	関野 準一郎	うしかたとやまうば(8)	1972年2月	紙、多色木版・顔彩	39.8×54.8	「こどものとも」191号 (福音館書店)16-17 頁
9	小出 保子	もりのひなまつり(7)	1992年3月	紙、水彩・色鉛筆・イン ク	35.2×73.7	「こどものとも」432号 (福音館書店)8-9頁
10	小出 保子	もりのひなまつり(8)	1992年3月	紙、水彩・色鉛筆・イン ク	35.2×74.4	「こどものとも」432号 (福音館書店)10-11 頁
11	小出 保子	もりのひなまつり(12)	1992年3月	紙、水彩・色鉛筆・イン ク	35×74.3	「こどものとも」432号 (福音館書店)18-19 頁
12	小出 保子	もりのひなまつり(14)	1992年3月	紙、水彩・色鉛筆・イン ク	35×74.2	「こどものとも」432号 (福音館書店)22-23 頁

実験的な方法で

13	堀 文子	はなとあそんできたふみこちゃん (4)	1958年4月	紙、水彩・パステル、コ ラージュ	32.6×43.6	「こどものとも」25号(福 音館書店)6-7頁
14	堀 文子	はなとあそんできたふみこちゃん (5)	1958年4月	紙、水彩・パステル、コ ラージュ	32.5×43.4	「こどものとも」25号(福 音館書店)8-9頁
15	堀 文子	はなとあそんできたふみこちゃん (6)	1958年4月	紙、水彩・パステル、コ ラージュ	32.5×43.2	「こどものとも」25号(福 音館書店)10-11頁
16	堀 文子	はなとあそんできたふみこちゃん (9)	1958年4月	紙、水彩・パステル、コ ラージュ	32.6×43.6	「こどものとも」25号(福 音館書店)16-17頁
17	山下 菊二	みるなのはなざしき (5)	1973年4月	紙、ガッシュ・リトグラフ、 コラージュ	52.3×19.3	「Sounds in Kiddy lands Series」8 [ラボ 教育センター]7-8頁
18	山下 菊二	みるなのはなざしき (6)	1973年4月	紙、ガッシュ・リトグラフ、 コラージュ	52.3×19.3	「Sounds in Kiddy lands Series」8 [ラボ 教育センター]9-10頁
19	山下 菊二	みるなのはなざしき (8)	1973年4月	紙、ガッシュ・リトグラフ、 コラージュ	52.5×19.3	「Sounds in Kiddy lands Series」8 [ラボ 教育センター]13-14 頁
20	山下 菊二	みるなのはなざしき (10)	1973年4月	紙、ガッシュ・リトグラフ、 コラージュ	52.3×19.3	「Sounds in Kiddy lands Series」8 [ラボ 教育センター]17-18 頁
21	山下 菊二	みるなのはなざしき (13)	1973年4月	紙、ガッシュ・リトグラフ、 コラージュ	52.3×19.3	「Sounds in Kiddy lands Series」8 [ラボ 教育センター]23-24 頁
22	山下 菊二	みるなのはなざしき (14)	1973年4月	紙、ガッシュ・リトグラフ、 コラージュ	52.3×19.3	「Sounds in Kiddy lands Series」8 [ラボ 教育センター]25-26 頁
23	朝倉 摂	てんぐのかくれみの (2)	1956年9月	和紙、顔彩、コラージュ	27.8×40.7	「こどものとも」6号(福 音館書店)2-3頁

24	朝倉 摂	てんぐのかくれみの (6)	1956年9月	和紙、顔彩、コラージュ	28.2×40.5	「こどものとも」6号(福音館書店)10-11頁
25	朝倉 摂	てんぐのかくれみの (7)	1956年9月	和紙、顔彩、コラージュ	28.3×39.9	「こどものとも」6号(福音館書店)12-13頁
26	朝倉 摂	てんぐのかくれみの (8)	1956年9月	和紙、顔彩、コラージュ	27.8×40.3	「こどものとも」6号(福音館書店)14-15頁
27	富山 妙子	クリスマスのほし (2)	1964年12月	紙、水彩・油彩・パステル	19.6×54.7	「こどものとも」105号(福音館書店)2-3頁
28	富山 妙子	クリスマスのほし (3)	1964年12月	紙、水彩・パステル	19.8×54.9	「こどものとも」105号(福音館書店)4-5頁
29	富山 妙子	クリスマスのほし (5)	1964年12月	紙、水彩・パステル・鉛筆、コラージュ	20×54.7	「こどものとも」105号(福音館書店)8-9頁

印刷技法も自分のものに

30	山田 三郎	きつねとねずみ (24)【線版】	1967年3月	紙、インク	33.2×43	「こどものとも傑作集(改訂版)」(福音館書店)10-11頁【線版】
31	山田 三郎	きつねとねずみ (25)【線版】	1967年3月	紙、インク	32.8×42	「こどものとも傑作集(改訂版)」(福音館書店)12-13頁【線版】
32	山田 三郎	きつねとねずみ (26)【線版】	1967年3月	紙、インク	33.5×42.9	「こどものとも傑作集(改訂版)」(福音館書店)14-15頁【線版】
33	山田 三郎	きつねとねずみ (35)【色版】	1967年3月	紙、水彩・インク	32.2×45.5	「こどものとも傑作集(改訂版)」(福音館書店)10-11頁【色版】
34	山田 三郎	きつねとねずみ (36)【色版】	1967年3月	紙、水彩・インク	31×45.3	「こどものとも傑作集(改訂版)」(福音館書店)12-13頁【色版】
35	山田 三郎	きつねとねずみ (37)【色版】	1967年3月	紙、水彩・インク	31×45.6	「こどものとも傑作集(改訂版)」(福音館書店)14-15頁【色版】
36		きつねとねずみ (絵本)				
37	富山 妙子	おばあさんのすぶーン (1)	1969年12月	フィルム(ダイナベース)、鉛筆	30.4×25	「こどものとも」165号(福音館書店)表紙【スミ版】
38	富山 妙子	おばあさんのすぶーン (4)	1969年12月	フィルム(ダイナベース)、鉛筆	29.6×21.2	「こどものとも」165号(福音館書店)表紙【ミドリ版】
39	富山 妙子	おばあさんのすぶーン (2)	1969年12月	フィルム(ダイナベース)、鉛筆	30.7×22.1	「こどものとも」165号(福音館書店)表紙【アカ版】

40	富山 妙子	おばあさんのすぷーん (3)	1969年12月	フィルム(ダイナペー ス)、鉛筆	32.8×23.8	「こどものとも」165号 (福音館書店)表紙 【ウスアカ版】
41	小野 かおる	はなかけこぶた (30)	1982年12月	紙、インク・パステル、コ ラージュ	35.3×48.1 [36.5×51.5]	「普及版こどものとも」 (福音館書店)14-15 頁 【スミ版】
42	小野 かおる	はなかけこぶた (31)	1982年12月	プラスチックシート、パ ステル	34.9×50	「普及版こどものとも」 (福音館書店)14-15 頁 【アカ版】
43	小野 かおる	はなかけこぶた (32)	1982年12月	プラスチックシート、パ ステル	35×50	「普及版こどものとも」 (福音館書店)14-15 頁 【キ版】
44	小野 かおる	はなかけこぶた (33)	1982年12月	プラスチックシート、ア クリル	35.1×50	「普及版こどものとも」 (福音館書店)14-15 頁 【アイ版】
45		はなかけこぶた (絵本)		絵本(福音館書店)		

マチエールも面白い

46	田島 征三	ふるやのもり (1)	1965年1月	紙、胡粉・松煙・泥絵 具・膠	35.2×91.3	「こどものとも」106号 (福音館書店)表紙・ 裏表紙
47	田島 征三	ふるやのもり (10)	1965年1月	紙、胡粉・松煙・泥絵 具・膠	37.3×91.1	「こどものとも」106号 (福音館書店)10-11 頁
48	田島 征三	ふるやのもり (11)	1965年1月	トレーシングペーパー、 胡粉・松煙・泥絵具・膠	25.9×89.6	「こどものとも」106号 (福音館書店)10-11 頁【別版】
49	田島 征三	ふるやのもり (12)	1965年1月	紙、胡粉・松煙・泥絵 具・膠	32.3×88.1	「こどものとも」106号 (福音館書店)12-13 頁
50	田島 征三	ふるやのもり (19)	1965年1月	紙、胡粉・松煙・泥絵 具・膠	36.8×91.3	「こどものとも」106号 (福音館書店)20-21 頁
51	田島 征三	ふるやのもり (22)	1965年1月	紙、胡粉・松煙・泥絵 具・膠	32.3×88.1	「こどものとも」106号 (福音館書店)24-25 頁
52		ふるやのもり (絵本)		絵本(福音館書店)		
53	長 新太	がんばれさるのさらんくん (1)	1958年3月	紙、水彩・鉛筆	39.4×56.4	「こどものとも」24号表 紙・裏表紙
54	長 新太	がんばれさるのさらんくん (3)	1958年3月	紙、水彩・鉛筆	39.2×54.8	「こどものとも」24号2-3 頁
55	長 新太	がんばれさるのさらんくん (6)	1958年3月	紙、水彩・鉛筆	39×54.8	「こどものとも」24号8-9 頁

56	長 新太	がんばれさるのさらんくん (7)	1958年3月	紙、水彩・鉛筆	39.1×54.8	「こどものとも」24号10-11頁
57	初版	がんばれさるのさらんくん (絵本)		絵本(福音館書店)		
58	普及版こどものとも	がんばれさるのさらんくん (絵本)		絵本(福音館書店)		
何に描くかも自由						
59	小野木 学	たらばがにのはる(2)	1970年3月	スクラッチボード、インク、スクラッチ	22.6×29.4	「こどものとも」168号(福音館書店)1頁(扉)
60	小野木 学	たらばがにのはる(4)	1970年3月	スクラッチボード、カラーインク・水彩、スクラッチ	25×60.7	「こどものとも」168号(福音館書店)4-5頁
61	小野木 学	たらばがにのはる(5)	1970年3月	スクラッチボード、カラーインク・水彩、スクラッチ	25×60.8	「こどものとも」168号(福音館書店)6-7頁
62	小野木 学	たらばがにのはる(6)	1970年3月	スクラッチボード、カラーインク・水彩、スクラッチ	25.1×60.8	「こどものとも」168号(福音館書店)8-9頁
63	小野木 学	たらばがにのはる(8)	1970年3月	スクラッチボード、カラーインク・水彩、スクラッチ	24.9×60.8	「こどものとも」168号(福音館書店)14-15頁
64	小野木 学	たらばがにのはる(9)	1970年3月	スクラッチボード、水彩、スクラッチ	25.2×60.9	「こどものとも」168号(福音館書店)16-17頁
65	小野木 学	たらばがにのはる(12)	1970年3月	スクラッチボード、カラーインク・水彩、スクラッチ	25×60.8	「こどものとも」168号(福音館書店)22-23頁
66	小野 かおる	われたたまご (4)	1972年8月	イラストレーションボード、水彩・パステル・色鉛筆・インク	25.6×61.3	「こどものとも」197号(福音館書店)4-5頁
67	小野 かおる	われたたまご (6)	1972年8月	イラストレーションボード、水彩・パステル・色鉛筆・インク	25.6×61.2	「こどものとも」197号(福音館書店)8-9頁
68	小野 かおる	われたたまご (8)	1972年8月	イラストレーションボード、水彩・パステル・色鉛筆・インク	25.8×61.2	「こどものとも」197号(福音館書店)12-13頁
69	小野 かおる	われたたまご (12)	1972年8月	イラストレーションボード、水彩・パステル・色鉛筆・インク	25.5×61.1	「こどものとも」197号(福音館書店)20-21頁
70	矢吹 申彦	きょうりゅうがすわっていた (10)	2000年12月	板、アクリル	30×45	「こどものとも」537号(福音館書店)16-17頁
71	矢吹 申彦	きょうりゅうがすわっていた (11)	2000年12月	板、アクリル	30×45	「こどものとも」537号(福音館書店)18-19頁

72	矢吹 申彦	きょうりゅうがすわっていた (12)	2000年12月	板、アクリル	30×45	「こどものとも」537号 (福音館書店)20-21 頁
73	矢吹 申彦	きょうりゅうがすわっていた (16)	2000年12月	板、アクリル	30×45	「こどものとも」537号 (福音館書店)28-29 頁
筆の運び・手の動き						
74	長 新太	ころころにやーん (3)	2006年4月	紙、カラーインク	32.6×50.2	「こどものとも0.1.2.」 133号(福音館書店) 3-4頁
75	長 新太	ころころにやーん (4)	2006年4月	紙、カラーインク	32.7×50.2	「こどものとも0.1.2.」 133号(福音館書店) 5-6頁
76	長 新太	ころころにやーん (5)	2006年4月	紙、カラーインク	32.7×50.3	「こどものとも0.1.2.」 133号(福音館書店) 7-8頁
77	長 新太	ころころにやーん (6)	2006年4月	紙、カラーインク	32.4×50.2	「こどものとも0.1.2.」 133号(福音館書店) 9-10頁
78	吉井 忠	きんいろのつなのしか (7)	1965年2月	紙、水彩・色鉛筆	19.5×53.7	「こどものとも」107号 (福音館書店)10-11 頁
79	吉井 忠	きんいろのつなのしか (9)	1965年2月	紙、水彩・色鉛筆	19.5×53.9	「こどものとも」107号 (福音館書店)14-15 頁
80	吉井 忠	きんいろのつなのしか (13)	1965年2月	紙、水彩・色鉛筆	19.4×53.8	「こどものとも」107号 (福音館書店)22-23 頁
81	吉井 忠	きんいろのつなのしか (14)	1965年2月	紙、水彩・色鉛筆	19.5×53.8	「こどものとも」107号 (福音館書店)24-25 頁
82	吉井 忠	きんいろのつなのしか (15)	1965年2月	紙、水彩・色鉛筆	19.5×53.7	「こどものとも」107号 (福音館書店)26-27 頁
83	なかの ひろたか	ちょうちんあんこう (4)	1966年9月	紙、カラーインク	25.8×37	「こどものとも」126号 (福音館書店)4-5頁
84	なかの ひろたか	ちょうちんあんこう (9)	1966年9月	紙、カラーインク	25.8×36.9	「こどものとも」126号 (福音館書店)14-15 頁
85	なかの ひろたか	ちょうちんあんこう (12)	1966年9月	紙、カラーインク	25.8×36.9	「こどものとも」126号 (福音館書店)20-21 頁
86	なかの ひろたか	ちょうちんあんこう (14)	1966年9月	紙、カラーインク	25.8×36.9	「こどものとも」126号 (福音館書店)24-25 頁
87	林 明子	ひよこさん (3)	2013年3月	紙、水彩	25.6×42.2	「こどものとも0.1.2.」 216号(福音館書店) 3-4頁

88	林 明子	ひよこさん (4)	2013年3月	紙、水彩	25.6×42.3	「こどものとも0.1.2.」 216号(福音館書店) 5-6頁
89	林 明子	ひよこさん (7)	2013年3月	紙、水彩	25.6×43.2	「こどものとも0.1.2.」 216号(福音館書店) 11-12頁
90	林 明子	ひよこさん (10)	2013年3月	紙、水彩	25.7×42.2	「こどものとも0.1.2.」 216号(福音館書店) 17-18頁
空間をのびのびと						
91	山本 忠敬	のろまなローラー (10)	1965年8月	紙、ポスターカラー・インク	21.8×63	「こどものとも」113号 (福音館書店)18-19 頁
92	山本 忠敬	のろまなローラー (11)	1965年8月	紙、ポスターカラー・インク	22.8×64	「こどものとも」113号 (福音館書店)20-21 頁
93	山本 忠敬	のろまなローラー (12)	1965年8月	紙、ポスターカラー・インク	21.8×63	「こどものとも」113号 (福音館書店)22-23 頁
94	山本 忠敬	のろまなローラー (13)	1965年8月	紙、ポスターカラー・インク	22.8×64	「こどものとも」113号 (福音館書店)24-25 頁
95	山本 忠敬	のろまなローラー (14)	1965年8月	紙、ポスターカラー・インク	21.8×63	「こどものとも」113号 (福音館書店)26-27 頁
96	小野 かおる	とんだトロップ (5)	1963年3月	紙、水彩・インク	25×58.3	「こどものとも」84号(福音館書店)8-9頁
97	小野 かおる	とんだトロップ (7)	1963年3月	紙、水彩・インク	25.2×58.7	「こどものとも」84号(福音館書店)12-13頁
98	小野 かおる	とんだトロップ (10)	1963年3月	紙、水彩・インク	58.9×25.4	「こどものとも」84号(福音館書店)18-19頁
99	小野 かおる	とんだトロップ (12)	1963年3月	紙、水彩・インク	59×25.4	「こどものとも」84号(福音館書店)22-23頁
100	山脇 百合子	ぐりとぐらのえんそく (4)	1979年4月	紙、水彩・インク	19.8×54.8	「こどものとも」277号 (福音館書店)4-5頁
101	山脇 百合子	ぐりとぐらのえんそく (6)	1979年4月	紙、水彩・インク	19.8×54.7	「こどものとも」277号 (福音館書店)8-9頁
102	山脇 百合子	ぐりとぐらのえんそく (8)	1979年4月	紙、水彩・インク	19.8×54.8	「こどものとも」277号 (福音館書店)12-13 頁
103	山脇 百合子	ぐりとぐらのえんそく (10)	1979年4月	紙、水彩・インク	19.8×54.8	「こどものとも」277号 (福音館書店)16-17 頁

104	山脇 百合子	ぐりとぐらのえんそく (12)	1979年4月	紙、水彩・インク	19.8×54.8	「こどものとも」277号 (福音館書店)20-21 頁
(コラム)絵本を楽しくーレタリング・扉・見返し						
105	なかの ひろたか	ちょうちんあんこう (2)	1966年9月 (こどものとも 特製版)	紙、インク	25.9×36.9	「こどものとも特製版」 (福音館書店)1頁 (扉)[特製版]
106		『ちょうちんあんこう』(こどものとも 特製版)		絵本(福音館書店)		
107	太田 大八	だいちゃんとうみ (19)	1992年4月 (こどものとも 傑作集)	紙、インク	24.6×38.6	「こどものとも傑作集」 (福音館書店)裏見返し [傑作集]
108		『だいちゃんとうみ』(こどものとも 傑作集)		絵本(福音館書店)		
109	山本 忠敬	ちからもちのタグボートとーとー (2)	1997(H9).3	和紙、ポスターカラー・ 鉛筆	23.8×32	「こどものとも」492号 (福音館書店)1頁 (扉)
110	山本 忠敬	しょうぼうじどうしゃじぶた (描き 文字)	1963(S38).10	紙、インク	6.9×17	「こどものとも」91号(福 音館書店)描き文字
111	林 明子	まほうのえのぐ(描き文字)	1993(H5).4	紙、水彩	25.8×33.1	描き文字
112	小出 保子	もりのひなまつり(描き文字)	1992(H4).3	紙、インク	11.5×26.1	描き文字

第2章 それぞれの手から 大田大八

113	太田 大八	びんぼうこびと (1)	1971年1月	イラストレーションボー ド、水彩・インク	36.3×51.3	「こどものとも」178号 (福音館書店)表紙・ 裏表紙
114	太田 大八	びんぼうこびと (3)	1971年1月	イラストレーションボー ド、水彩・インク	36.3×51.3	「こどものとも」178号 (福音館書店)4-5頁
115	太田 大八	びんぼうこびと (6)	1971年1月	イラストレーションボー ド、水彩・インク	36.2×51.4	「こどものとも」178号 (福音館書店)10-11 頁
116	太田 大八	びんぼうこびと (10)	1971年1月	イラストレーションボー ド、水彩・インク	36.2×51.4	「こどものとも」178号 (福音館書店)18-19 頁
117	太田 大八	びんぼうこびと (11)	1971年1月	イラストレーションボー ド、水彩・インク	36.3×51.3	「こどものとも」178号 (福音館書店)20-21 頁
118	太田 大八	つきよのぼんのさよなら (1)	1975年12月	紙、水彩	36.2×48.8	「こどものとも」237号 (福音館書店)表紙・ 裏表紙

119	太田 大八	つきよのばんのさよなら (5)	1975年12月	紙、水彩	32.2×44.5	「こどものとも」237号 (福音館書店)6-7頁
120	太田 大八	つきよのばんのさよなら (9)	1975年12月	紙、水彩	32.4×44.6	「こどものとも」237号 (福音館書店)14-15 頁
121	太田 大八	つきよのばんのさよなら (13)	1975年12月	紙、水彩	32.2×44.3	「こどものとも」237号 (福音館書店)22-23 頁
122	太田 大八	つきよのばんのさよなら (16)	1975年12月	紙、水彩	32.3×44.4	「こどものとも」237号 (福音館書店)28-29 頁
123	太田 大八	ひつじのむくむく (1)	1978年4月	イラストレーションボード、 インク・パステル	25.7×36.3	「こどものとも」265号 (福音館書店)表紙
124	太田 大八	ひつじのむくむく (2)	1978年4月	イラストレーションボード、 インク・パステル	25.7×36.3	「こどものとも」265号 (福音館書店)1頁
125	太田 大八	ひつじのむくむく (3)	1978年4月	イラストレーションボード、 インク・パステル	25.6×59.3	「こどものとも」265号 (福音館書店)2-3頁
126	太田 大八	ひつじのむくむく (4)	1978年4月	イラストレーションボード、 インク・パステル	25.8×59.3	「こどものとも」265号 (福音館書店)4-5頁
127	太田 大八	ひつじのむくむく (9)	1978年4月	イラストレーションボード、 インク・パステル	25.7×59.2	「こどものとも」265号 (福音館書店)14-15 頁
128	太田 大八	ひつじのむくむく (10)	1978年4月	イラストレーションボード、 インク・パステル	25.8×59.3	「こどものとも」265号 (福音館書店)16-17 頁
129	太田 大八	だいちゃんとうみ (3)	1979年8月	紙、水彩	24.8×53.8	「こどものとも」281号 (福音館書店)2-3頁
130	太田 大八	だいちゃんとうみ (6)	1979年8月	紙、水彩	24.7×53.7	「こどものとも」281号 (福音館書店)8-9頁
131	太田 大八	だいちゃんとうみ (8)	1979年8月	紙、水彩	24.7×53.8	「こどものとも」281号 (福音館書店)12-13 頁
132	太田 大八	だいちゃんとうみ (11)	1979年8月	紙、水彩	25.3×54.5	「こどものとも」281号 (福音館書店)18-19 頁
133	太田 大八	だいちゃんとうみ (13)	1979年8月	紙、水彩	25.4×53.7	「こどものとも」281号 (福音館書店)22-23 頁
134	太田 大八	だいちゃんとうみ (14)	1979年8月	紙、水彩	25.4×53.8	「こどものとも」281号 (福音館書店)24-25 頁

中谷千代子

136	中谷 千代子	ジオジオのかんむり (2)	1960年7月	キャンバスボード、油彩・インク	34.1×45.5	「こどものとも」52号(福音館書店)2-3頁
137	中谷 千代子	ジオジオのかんむり (3)	1960年7月	キャンバスボード、油彩・インク	33×43.5	「こどものとも」52号(福音館書店)4-5頁
138	中谷 千代子	ジオジオのかんむり (4)	1960年7月	キャンバスボード、油彩・インク	37.8×45.3	「こどものとも」52号(福音館書店)6-7頁
139	中谷 千代子	ジオジオのかんむり (6)	1960年7月	キャンバスボード、油彩・インク	34×45.4	「こどものとも」52号(福音館書店)12-13頁
140	中谷 千代子	ジオジオのかんむり (9)	1960年7月	キャンバスボード、油彩・インク	31.5×40.7	「こどものとも」52号(福音館書店)18-19頁
141	中谷 千代子	かばくん (1)	1962年9月	キャンバス、油彩・インク	50×63	「こどものとも」78号(福音館書店)(上)未使用、(下)表紙・裏表紙
142	中谷 千代子	かばくん (2)	1962年9月	キャンバス、油彩・インク・鉛筆	53×65.3	「こどものとも」78号(福音館書店)(上)未使用、(下)2-3頁
143	中谷 千代子	かばくん (3)	1962年9月	キャンバス、油彩・インク	52.7×65.2	「こどものとも」78号(福音館書店)(下)4-5頁、(上)6-7頁
144	中谷 千代子	かばくん (6)	1962年9月	キャンバス、油彩・インク	52.8×65	「こどものとも」78号(福音館書店)(下)12-13頁、(上)24-25頁
145	中谷 千代子	かばくん (8)	1962年9月	キャンバス、油彩・インク	53×65.3	「こどものとも」78号(福音館書店)(上)16-17頁、(下)20-21頁
146	中谷 千代子	いちごばたけのちいさなおばあさん (1)	1973年5月	キャンバスボード、アクリル・インク・鉛筆	34.6×45.3	「こどものとも」206号(福音館書店)表紙・裏表紙
147	中谷 千代子	いちごばたけのちいさなおばあさん (4)	1973年5月	キャンバスボード、アクリル・インク・鉛筆	37.8×45.4	「こどものとも」206号(福音館書店)4-5頁
148	中谷 千代子	いちごばたけのちいさなおばあさん (5)	1973年5月	キャンバスボード、アクリル・インク・鉛筆	31.7×40.2	「こどものとも」206号(福音館書店)6-7頁
149	中谷 千代子	いちごばたけのちいさなおばあさん (6)	1973年5月	キャンバスボード、アクリル・インク・鉛筆	37.8×45.4	「こどものとも」206号(福音館書店)8-9頁

山本忠敬

150	山本 忠敬	ピー、うみへいく (3)	1958年9月	紙、ポスターカラー	28.8×38.8	「こどものとも」30号(福音館書店)2-3頁
-----	-------	--------------	---------	-----------	-----------	------------------------

151	山本 忠敬	ピー、うみへいく (4)	1958年9月	紙、ポスターカラー	28.7×39	「こどものとも」30号(福音館書店)4-5頁
152	山本 忠敬	ピー、うみへいく (6)	1958年9月	紙、ポスターカラー	28.8×39	「こどものとも」30号(福音館書店)8-9頁
153	山本 忠敬	ピー、うみへいく (8)	1958年9月	紙、ポスターカラー	28.9×38.9	「こどものとも」30号(福音館書店)12-13頁
154	山本 忠敬	ピー、うみへいく (9)	1958年9月	紙、ポスターカラー	28.8×38.9	「こどものとも」30号(福音館書店)14-15頁
155	山本 忠敬	しょうぼうじどうしゃじふた (11)	1963年10月	紙、ポスターカラー・インク	27.2×72.9	「こどものとも」91号(福音館書店)18-19頁
156	山本 忠敬	しょうぼうじどうしゃじふた (12)	1963年10月	紙、ポスターカラー・インク	26.1×70.3	「こどものとも」91号(福音館書店)20-21頁
157	山本 忠敬	しょうぼうじどうしゃじふた (13)	1963年10月	紙、ポスターカラー・インク・アクリル	26.1×70.7	「こどものとも」91号(福音館書店)22-23頁
158	山本 忠敬	しょうぼうじどうしゃじふた (14)	1963年10月	紙、ポスターカラー・インク・アクリル	26.2×70.4	「こどものとも」91号(福音館書店)24-25頁
159	山本 忠敬	しょうぼうじどうしゃじふた (15)	1963年10月	紙、ポスターカラー・インク	27.3×71	「こどものとも」91号(福音館書店)26-27頁
160	山本 忠敬	ぶーぶーじどうしゃ (1)	1995年8月	紙、カラーインク・インク・鉛筆・ガッシュ	27.3×39.5	「こどものとも0.1.2.」5号(福音館書店)表紙・裏表紙
161	山本 忠敬	ぶーぶーじどうしゃ (8)	1995年8月	紙、カラーインク・インク・ガッシュ	27.3×39.4	「こどものとも0.1.2.」5号(福音館書店)14-15頁
162	山本 忠敬	ぶーぶーじどうしゃ (9)	1995年8月	紙、カラーインク・インク・ガッシュ	27.8×39.4	「こどものとも0.1.2.」5号(福音館書店)16-17頁
163	山本 忠敬	ぶーぶーじどうしゃ (10)	1995年8月	紙、カラーインク・インク・ガッシュ	27.3×39.4	「こどものとも0.1.2.」5号(福音館書店)18-19頁
164	山本 忠敬	ちからもちのタグボートとーとー (3)	1997年3月	和紙、ポスターカラー・鉛筆	23.9×64.1	「こどものとも」492号(福音館書店)2-3頁
165	山本 忠敬	ちからもちのタグボートとーとー (5)	1997年3月	和紙、ポスターカラー	23.9×64.1	「こどものとも」492号(福音館書店)6-7頁
166	山本 忠敬	ちからもちのタグボートとーとー (7)	1997年3月	和紙、ポスターカラー・鉛筆	23.8×64.2	「こどものとも」492号(福音館書店)10-11頁

167	山本 忠敬	ちからもちのタグボートとーとー (11)	1997年3月	和紙、ポスターカラー・鉛筆	23.7×64.1	「こどものとも」492号 (福音館書店) 18-19 頁
168	山本 忠敬	ちからもちのタグボートとーとー (16)	1997年3月	和紙、ポスターカラー・鉛筆	23.8×64	「こどものとも」492号 (福音館書店) 28-29 頁

林明子

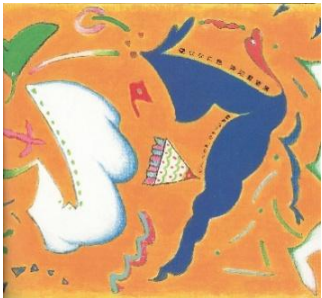
169	林 明子	いってらっしゃーい いってきまーす (1)	1983年7月	透明フィルム、アクリル・インク (熱転写)	26.5×60.1	「こどものとも」328号 (福音館書店) 表紙・裏表紙
170	林 明子	いってらっしゃーい いってきまーす (3)	1983年7月	透明フィルム、アクリル・インク (熱転写)	27.1×60.2	「こどものとも」328号 (福音館書店) 2-3 頁
171	林 明子	いってらっしゃーい いってきまーす (4)	1983年7月	透明フィルム、アクリル・インク (熱転写)	26.5×60.2	「こどものとも」328号 (福音館書店) 4-5 頁
172	林 明子	いってらっしゃーい いってきまーす (8)	1983年7月	透明フィルム、アクリル・インク (熱転写)	26.5×59.9	「こどものとも」328号 (福音館書店) 12-13 頁
173	林 明子	いってらっしゃーい いってきまーす (13)	1983年7月	透明フィルム、アクリル・インク (熱転写)	26.5×60	「こどものとも」328号 (福音館書店) 22-23 頁
174	林 明子	まほうのえのぐ (1)	1993年4月	紙、水彩・色鉛筆	25.5×34.5	「こどものとも」445号 (福音館書店) 表紙
175	林 明子	まほうのえのぐ (4)	1993年4月	紙、水彩・色鉛筆	22.3×27.6	「こどものとも」445号 (福音館書店) 3 頁
176	林 明子	まほうのえのぐ (6)	1993年4月	紙、水彩・色鉛筆	22.1×27.6	「こどものとも」445号 (福音館書店) 7 頁
177	林 明子	まほうのえのぐ (12)	1993年4月	紙、水彩・色鉛筆	22.6×27.8	「こどものとも」445号 (福音館書店) 19 頁
178	林 明子	まほうのえのぐ (15)	1993年4月	紙、水彩・色鉛筆	22.2×27.7	「こどものとも」445号 (福音館書店) 25 頁
179	林 明子	でてこいでてこい (1)	1995年4月	紙、水彩・色紙、コラージュ	25×42	「こどものとも0.1.2.」1号 (福音館書店) 表紙・裏表紙
180	林 明子	でてこいでてこい (9)	1995年4月	紙、色紙、コラージュ	26×39.5	「こどものとも0.1.2.」1号 (福音館書店) 16-17 頁

僕はなに色 渡辺豊重展
—いろ、かたち、ひかりの冒険

WATANABE Toyoshige: A Retrospective



ポスター



図録

会	期	= 令和8(2026)年1月10日(土)～3月22日(日)
主	催	= 栃木県立美術館
後	援	= 朝日新聞宇都宮総局、宇都宮コミュニティFM ミヤラジ、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局
助	成	= 公益財団法人 花王 芸術・科学財団、栃木県博物館協会

本展は、2023 年5月に逝去した渡辺豊重(1931-2023)の没後最初の回顧展である。渡辺は東京に生まれ、会社員として勤めのかたわら絵画の制作を始め、画材屋が主宰する教室で難波田龍起、中谷泰らに指導を受けた。平面的で明るい色彩と、渡辺の感情や印象を抽象化した明快なかたちによる表現は、カンヴァスに留まることなく、版画やコラージュ、立体作品からパブリックアートにまで及んだ。長く暮らした神奈川県川崎市を離れて2005年には那珂川町に移住し、自然豊かな暮らしを制作に反映させていく。一方で、制作の場である田舎と、作品発表の場である都会を行き来するうちに、地方格差の問題に直面し、それを解消しようとしめない世の中への怒りを覚え、「鬼」シリーズを生み出した。それまでの色彩を封印し、漆黒の鬼を描き、やがては渡辺が感じた印象やその「時」を刻む「動刻」シリーズへと変化を遂げる。晩年まで常に新たな表現を追求した渡辺の全貌を展覧する内容となった。

開催にあたっては遺族の全面協力を受けて、アトリエに遺された作品や渡辺の愛用品を借用してのアトリエ再現を行った他、生前交流があった友人らから聞き取り調査の協力を得た。10年前に当館でも開催された「画楽60年」では紹介されなかったパブリックアートも可能な限りで調査し、全国のパブリックアートの写真とマップを展示し好評だった。イベントでは年齢問わず参加でき、渡辺の表現や作品の面白さを紹介する内容としたため、参加者の笑顔があふれる結果となった。

観	覧	者	数	3,779人
開	催	日	数	62日(1日平均61人)
展	示	点	数	作品193点(展示替え無し)
図	録	販	売	147冊
担	当	者		大城茉莉恵(主任)、武関彩瑛(主任)

作 成 印 刷 物

1)広報宣伝物

ポスター(B2)、チラシ(A4)

2)図録

体 裁 : 22×24cm、182頁、図版 約220点

内 容 : テキスト

大城茉莉恵「いろ、かたち、ひかりに見た一渡辺豊重の表現について」

武関彩瑛「渡辺豊重と栃木一人や素材との新たな出会い」

渡辺豊重年譜、渡辺豊重パブリックアート写真、渡辺豊重講演会記録、出品作品リスト、主要参考文献

編 集 : 大城茉莉恵、武関彩瑛

講 演 原 稿 編 集 : 長門佐季(神奈川県立近代美術館長)、武者みずほ(神奈川県立近代美術館)
 デ ザ イ ン : 三木俊一(文京図案室)
 印 刷 : 吉原印刷
 発 行 : 栃木県立美術館

関 連 企 画

1) 担当学芸員によるギャラリー・トーク

日 時 : 1月10日(土)、2月7日(土)、3月7日(土) 各回とも午後2時から
 会 場 : 企画展示室、常設展示室1F

2) 親子ワークショップ「怒ったぞ！鬼をつくって、鬼になろう！」

日 時 : 2月1日(日) 午後2時から3時30分
 会 場 : 企画展示室・集会室
 対 象 : 小中学生とその保護者 10組

3) 対話型ワークショップ「《さまざま》に対話してみよう」

日 時 : 1月24日(土) 午後2時から3時30分
 会 場 : 常設展示室1F、集会室
 対 象 : どなたでも10組

4) 対話型ワークショップわくわくイベント「たちあがれ！《モクモク》」

日 時 : 1月17日(土)、2月14日(土)、3月14日(土) 各回とも午後2時から
 会 場 : 企画展示室、常設展示室1F

映 像、音 声 ガ イ ド など

1) 音 声 ガ イ ド : 主要な展示作品の解説(15点)

出 品 リ ス ト

※展示番号はカタログ番号に準ずる

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵先名
プロローグ						
1	渡辺豊重	工場	1955	カンヴァス、油彩	116.7×90.9	栃木県立美術館
2	渡辺豊重	闘牛	1958	紙、水彩	62.5×46	栃木県立美術館
3	渡辺豊重	永	1962	カンヴァス、油彩	90.9×116.7	栃木県立美術館
4	難波田龍起	青のリズム	1963	カンヴァス、油彩、エナメル	97.3×148.8	栃木県立美術館
5	難波田龍起	虹の街		カンヴァス、油彩	60×72.5	栃木県立美術館
6	渡辺豊重	神のいない祭りⅡ	1963	カンヴァス、油彩、オイルパテ	162×130.3	栃木県立美術館
第1章 いろ、かたちの変奏						
7	渡辺豊重	かたち	1963	カンヴァス、油彩	162.2×130.3	栃木県立美術館
8	渡辺豊重	かたち65-1	1965	カンヴァス、油彩	193.2×131	個人蔵

9	渡辺豊重	ほどかれたエロス	1968	カンヴァス、油彩	227×182	個人蔵
10	渡辺豊重	作品	1968	紙、リトグラフ	38.5×28.2	栃木県立美術館
11	渡辺豊重	無題	1969	紙、リトグラフ	42.1×23.8	栃木県立美術館
12	渡辺豊重	3ツのかたち	1969	紙、リトグラフ	27.9×37.1	栃木県立美術館
13-33	渡辺豊重	題不詳	1969-74	カンヴァス、アクリル	18×14	個人蔵
34	渡辺豊重	かたち No. 701	1970	紙、シルクスクリーン	54.2×38.5	栃木県立美術館
35	渡辺豊重	かたち No. 704	1970	紙、シルクスクリーン	67.3×48.1	栃木県立美術館
36	渡辺豊重	むらさき	1970年代	紙、シルクスクリーン	30.1×10.4	栃木県立美術館
37	渡辺豊重	むらさき	1970年代	紙、シルクスクリーン	30×10.4	栃木県立美術館
38	渡辺豊重	むらさき	1970年代	紙、シルクスクリーン	30.1×10.4	栃木県立美術館
39	渡辺豊重	色むさき	1970年代	紙、シルクスクリーン	30.1×10.4	栃木県立美術館
40	渡辺豊重	かたち(ビーナス)	1971	紙、シルクスクリーン	14.6×24.6	栃木県立美術館
41	渡辺豊重	三つのかたち	1972	紙、シルクスクリーン	34×46	栃木県立美術館
42	渡辺豊重	かたち No. 7202	1972	紙、シルクスクリーン	18.9×19	栃木県立美術館
43	渡辺豊重	かたち No. 7211	1972	紙、シルクスクリーン	44.2×41.7	栃木県立美術館
44	渡辺豊重	かたち(ボヨヨンとボイン)	1973	紙、シルクスクリーン	32.2×45	栃木県立美術館
45	渡辺豊重	かたち(ボヨヨナー)	1973	紙、シルクスクリーン	32.1×45	栃木県立美術館
46	渡辺豊重	エポック氏の優雅な日々(B1)	1975	紙、シルクスクリーン	39.7×30.6	栃木県立美術館
47	渡辺豊重	エポック氏の優雅な日々(S1)	1975	紙、シルクスクリーン	40.1×30.7	栃木県立美術館
48	渡辺豊重	僕と太陽と鳥	1976	紙、水彩	24.5×36	栃木県立美術館
49	渡辺豊重	むらさきの中の白とオレンジ	1978	紙、シルクスクリーン	42×57	栃木県立美術館
50	渡辺豊重	むらさきの中の白	1978	紙、シルクスクリーン	54.9×40	栃木県立美術館
51	渡辺豊重	一つの四角と四本と四点(ピクニック No. 7903)	1979	カンヴァス、アクリル	162.3×130.8	個人蔵
52	渡辺豊重	棒の付いた四角と点	1980	紙、シルクスクリーン	40×56	栃木県立美術館
53	渡辺豊重	三つの点と曲りと四角(ピクニック)	1980	紙、シルクスクリーン	38×49	栃木県立美術館
54	渡辺豊重	みどりの中の1つの白(ピクニック No. 8101)	1980	カンヴァス、アクリル	30×24.5	個人蔵
55	渡辺豊重	ピクニック No. 8604(頭ごしの恋 ラブ・コメディ)	1983	カンヴァス、アクリル	130.8×162.3	個人蔵
56	渡辺豊重	ピクニック(3つの間)No. 8302	1983	カンヴァス、アクリル	51×145	個人蔵
57	渡辺豊重	ピクニック No. 8322 棒と丸と四角とギザギザ	1983	カンヴァス、油彩、アクリル	46×130	個人蔵
58	渡辺豊重	棒の付いた四角とモクモク	1984	紙、シルクスクリーン	58×44	栃木県立美術館

59	渡辺豊重	丸、四角、三角そして棒と点	1984	紙、シルクスクリーン	44×63.5	栃木県立美術館
60	渡辺豊重	ピンピンそして角のとれた四角とお友達	1984	紙、シルクスクリーン	44×59	栃木県立美術館
61	渡辺豊重	ピクニック(二つの間)	1985年刷、 2019年彩色	紙、シルクスクリーン、 手彩色	28×36.9	栃木県立美術館
62	渡辺豊重	プレーイング	1981	紙、インク、水彩	62.7×44.7	個人蔵
63	渡辺豊重	題不詳	1981	紙、水彩、アクリル	38.2×56.5	個人蔵
64	渡辺豊重	王と妃	1981	紙、水彩、アクリル、鉛 筆	34.5×50.6	個人蔵
65	渡辺豊重	円	1980	板、油彩、アクリル	24.5×33.6	個人蔵
66	渡辺豊重	銀色の中の白	1986	紙、パステル、メタリック	76×56.5	個人蔵
67	渡辺豊重	緑の中の二つの銅	1986	紙、パステル、メタリック	56.8×76	個人蔵
68	渡辺豊重	緑の中の一つの白と棒	1986	紙、パステル	56.5×76	個人蔵
69	渡辺豊重	題不詳	1992	和紙、アクリル	16.2×15	個人蔵
70	渡辺豊重	浮き上がるクネクネ	1987	木、真鍮、アクリル着色	45×64× 26.7	個人蔵
71	渡辺豊重	四つの楕円たち	1987	合板、アクリル着色	23×70× 14.5	個人蔵
72	渡辺豊重	やって来ましたモクモク	1987	カンヴァス、油彩、アクリ ル	197×290	個人蔵
73	渡辺豊重	たちあがったモクモク	1988	カンヴァス、油彩、アクリ ル	291×218	個人蔵
74	渡辺豊重	四角の中の四つの楕円	1988	紙、水彩、粘土	58.5×25.3	個人蔵
75	渡辺豊重	四角の上の棒	1988	紙、棒、ガラス	56.3×37.9	個人蔵
76	渡辺豊重	銀色の想い	1988	紙、水彩、白金箔	76.5×47	個人蔵
77	渡辺豊重	剣になれなかった化石	1988	紙、水彩、木炭、プラス ティック粘土	65.5×47.5	個人蔵
78	渡辺豊重	四つの楕円とモクモク	1988	紙、アクリル、金箔、プ ラスティック粘土	65.5×47	個人蔵
79	渡辺豊重	四角い中の赤い楕円	1988	紙、アクリル、木炭、水 彩	75×57.5	個人蔵
80	渡辺豊重	楕円の夢	1988	紙、水彩、アクリル、プ ラスティック粘土	47.5×66.2	個人蔵
81	渡辺豊重	星を夢見た化石	1988	紙、水彩、プラチナ箔、 紙粘土	76×56.8	個人蔵
82	渡辺豊重	昇り出した三角連(赤)	1989	カンヴァス、金箔、アクリ ル	194×112	個人蔵
83	渡辺豊重	昇り出した三角連(青)	1989	カンヴァス、金箔、アクリ ル	194×112	個人蔵

84	渡辺豊重	歓喜	1992	カンヴァス、アクリル、金箔、顔料、膠	219×292×4枚	川崎市市民ミュージアム
85	渡辺豊重	翔ぶハート	1992	紙、シルクスクリーン	40.2×56.1	栃木県立美術館
86	渡辺豊重	それゆけモクモク	1992	紙、シルクスクリーン	40×54	栃木県立美術館
87	渡辺豊重	記憶の夏3(楽園を見た)	1993	カンヴァス、アクリル	194×260	個人蔵
88	渡辺豊重	記憶の夏5(走れ歓喜を求めて)	1993	カンヴァス、アクリル	218×291	個人蔵
89	渡辺豊重	記憶の夏Ⅰ(はじめに見た三角)	1993	カンヴァス、アクリル	130.8×162.3	個人蔵
90	渡辺豊重	記憶の夏Ⅱ(星が舞う)	1993	カンヴァス、アクリル	130.8×162.3	個人蔵
91	渡辺豊重	三角シリーズ 緑青の中に富士を見た	1994	紙、アクリル、岩彩	76.3×56.5	栃木県立美術館
92	渡辺豊重	三角シリーズ 深紅の中に富士を見た	1994	紙、アクリル、岩彩	76.3×56.8	栃木県立美術館
93	渡辺豊重	三角シリーズ 山吹の中に富士を見た	1994	紙、アクリル、岩彩	76×56.5	栃木県立美術館
94	渡辺豊重	三角シリーズ 濃草の中に富士を見た	1994	紙、アクリル、岩彩	76.3×56.1	栃木県立美術館
95	渡辺豊重	三角シリーズ 紺青の中に富士を見た	1994	紙、アクリル、岩彩	76.1×56.5	栃木県立美術館
96	渡辺豊重	記憶の夏(グリーンシャワー95-1)	1995	カンヴァス、アクリル	218×291	個人蔵
97	渡辺豊重	記憶の夏(グリーンシャワー95-2)	1995	カンヴァス、アクリル	218×291	個人蔵
98	渡辺豊重	森の中の記憶	1996	カンヴァス、アクリル	17.7×14	個人蔵
99	渡辺豊重	肩	1996	カンヴァス、アクリル	17.7×14	個人蔵
100	渡辺豊重	記憶された三角	1996	カンヴァス、アクリル	14×17.7	個人蔵
101	渡辺豊重	記憶のはる	1996	カンヴァス、アクリル	22.7×15.7	個人蔵
102	渡辺豊重	記憶の夏	1996	カンヴァス、アクリル	22.7×15.7	個人蔵
103	渡辺豊重	自画像 '96 65才	1996	ダンボール、パステル、アクリル、ステンレス・スティール、ネジ	50.3×37.1	個人蔵
104	渡辺豊重	題不詳	1996年頃	ダンボール、アクリルボード	31×23.5	個人蔵
105	渡辺豊重	楽園(フワフワ)(会話)	1998	カンヴァス、アクリル	132×163.4	川崎市市民ミュージアム
106	渡辺豊重	みんなそろってピーヒャラドンマケット	1995	ステンレス・スティール、アクリル塗装	23.5×38×12.8	個人蔵
107	渡辺豊重	みんなそろってピーヒャラドン	1995	紙、シルクスクリーン	19.2×30.4	栃木県立美術館
108	渡辺豊重	それゆけ マケット	1995	ステンレス・スティール、アクリル塗装	23.5×35×12.4	個人蔵

109	渡辺豊重	スウィング・スウィング マケット	1997	ステンレス・スティー ル、アクリル塗装	26.2×32.5× 10.5	個人蔵
110	渡辺豊重	トレビの泉(ローマ)	1980	タイル	39.5×39.5	個人蔵
111- 120	渡辺豊重	マケット		紙粘土、アクリル着色		個人蔵
121	渡辺豊重	マケット	1996	木、紙粘土、アクリル着 色	40×11	個人蔵
122	渡辺豊重	仕切られた箱の中に	2001	木、紙粘土、アクリル着 色	18.5×18.5× 4.5	個人蔵
123	渡辺豊重	川へゆこう	1993	グラスファイバー、ウレ タン、アクリル着色	86×33×53	個人蔵
124	渡辺豊重	ピクニック	1998	グラスファイバー、ウレ タン、アクリル着色	60×22×52	個人蔵
125	渡辺豊重	ピクニック	1998	グラスファイバー、ウレ タン、アクリル着色	63×19×51	個人蔵

第2章 ひかりを求めて

126	渡辺豊重	エスパニヤに見た！	1999	カンヴァス、アクリル	41.5×32	個人蔵
127	渡辺豊重	さあ春だ 光がいっぱい	1999	カンヴァス、アクリル	32×41.5	個人蔵
128	渡辺豊重	オレンジの光の中に見た	1999	カンヴァス、アクリル、金 箔	130.8×162.3	個人蔵
129	渡辺豊重	オレンジ色の楽園を見た	2000	カンヴァス、油彩、アクリ ル、金箔	194×259	栃木県立美術館
130	渡辺豊重	バレンシアサンシャワー	1999	紙、シルクスクリーン	54.1×38.1	栃木県立美術館
131	渡辺豊重	バルセロナに君を見た	1999	紙、シルクスクリーン	38.2×54.1	栃木県立美術館
132	渡辺豊重	グラナダの光と影(BLUE)	1999	紙、シルクスクリーン	54×38	栃木県立美術館
133	渡辺豊重	アンダルシアの恋人達(RED)	1999	紙、シルクスクリーン	54×38	栃木県立美術館
134	渡辺豊重	バレンシアの光の中で	1999	紙、シルクスクリーン	54.1×38	栃木県立美術館
135	渡辺豊重	セビーリャの日差しの中に舞う	1999	紙、シルクスクリーン	38×54	栃木県立美術館
136	渡辺豊重	コルドバに雨が降る	1999	紙、シルクスクリーン	54×38	栃木県立美術館
137	渡辺豊重	サンシャワー(イエローな庭に見 た！)	2000	カンヴァス、油彩、アクリ ル	130.8×162.3	個人蔵
138	渡辺豊重	サンシャワー(地中海に見た！)	2000	カンヴァス、油彩、アクリ ル	130.8×162.3	個人蔵
139	渡辺豊重	記憶の庭 やさしい春に翔ぶ	2001	カンヴァス、油彩、アクリ ル	119×93.5	個人蔵
140	渡辺豊重	庭に春がやってきた	2001	カンヴァス、油彩、アクリ ル、金箔、プラチナ箔	64×46	個人蔵
141	渡辺豊重	記憶の庭(かわいた庭には雨が ほしい)	2001	カンヴァス、油彩、アクリ ル	133.2×164.7	個人蔵
142	渡辺豊重	明るい朝	2004	カンヴァス、油彩	102.5×75	個人蔵
143	渡辺豊重	記憶の旅から 朝の光の中に	2004	カンヴァス、油彩、アクリ ル	119×93.5	個人蔵

144	渡辺豊重	夏の光りと影	2007	カンヴァス、アクリル、オイルパステル	130.8×162.3	個人蔵
145	渡辺豊重	記憶の旅からⅠ ベネチアで見た！	2004	カンヴァス、油彩、アクリル、箔	119×93.5	個人蔵
146	渡辺豊重	記憶の旅から「はるかなるパドヴァの夢」(Ⅰ)	2005	カンヴァス、アクリル、オイルパステル、岩彩、金箔	130.8×162.3	個人蔵
147	渡辺豊重	記憶の旅から「はるかなるパドヴァの夢」(Ⅲ)	2005	カンヴァス、アクリル、オイルパステル、金箔	130.8×162.3	個人蔵

第3章 久那瀬にて 鬼のゆくえ

148	渡辺豊重	時雨になるときⅠ	2009	韓紙、青墨、松煙、木炭、アクリル、パステル	63.5×94	栃木県立美術館
149	渡辺豊重	時雨になるときⅢ	2009	韓紙、青墨、松煙、木炭、アクリル、パステル	63.5×94	栃木県立美術館
150	渡辺豊重	鬼 その1	2009	綿カンヴァス、アクリル、松煙、木炭(柳)	200×450	栃木県立美術館
151	渡辺豊重	闇の誘惑	2010	カンヴァス、油彩、アクリル、松煙、木炭	130.5×162.2	個人蔵
152	渡辺豊重	救うか！	2010	カンヴァス、油彩、アクリル、松煙、木炭	162.3×130.8	個人蔵
153	渡辺豊重	鬼とマドンナ(燃える思い)	2010	カンヴァス、油彩、アクリル、松煙、木炭	130.8×162.3	個人蔵
154	渡辺豊重	鬼とマドンナ(尽きぬ夢)	2010	カンヴァス、油彩、アクリル、松煙、木炭	130.8×162.3	個人蔵
155	渡辺豊重	鬼とマドンナ(会話)	2010	カンヴァス、油彩、アクリル、松煙、木炭	162.8×162.5	個人蔵
156	渡辺豊重	おそいかかるもの	2010	カンヴァス、油彩、アクリル、松煙、木炭	196×291.5	個人蔵
157	渡辺豊重	誘惑	2010	カンヴァス、油彩、アクリル、松煙、木炭	217.5×291.5	個人蔵
158	渡辺豊重	暗雲	2010	カンヴァス、油彩、アクリル、松煙、木炭	162.5×195	個人蔵
159	渡辺豊重	たちむかう	2010	紙、リトグラフ	39.1×23	栃木県立美術館
160	渡辺豊重	おそれることはない	2010	紙、リトグラフ	23.2×34	栃木県立美術館
161	渡辺豊重	あらそうとき	2010	紙、リトグラフ	23.7×31.7	栃木県立美術館
162	渡辺豊重	鬼	2012	ダンボール、アクリル	40×55.3	栃木県立美術館
163	渡辺豊重	久那瀬 その1	2012	韓紙、青墨・松煙・木炭・アクリル・パステル	73.3×94.4	栃木県立美術館
164	渡辺豊重	久那瀬 その2	2012	韓紙、青墨・松煙・木炭・アクリル・パステル	66.4×91	栃木県立美術館
165	渡辺豊重	久那瀬 その3	2012	韓紙、青墨・松煙・木炭・アクリル・パステル	74×96	栃木県立美術館

166	渡辺豊重	動刻 今その時	2011	カンヴァス、金、アクリル	55×211.5	個人蔵
167	渡辺豊重	動刻 今その時	2011	カンヴァス、アクリル	79×213.5	個人蔵
168	渡辺豊重	マドンナの誘惑(習作)	2014	カンヴァス、アクリル	75×205	個人蔵
第4章 仲間とともに						
169	渡辺豊重	動刻	2016	板、木、アクリル、鉄、 松煙	210.5×387.5	個人蔵
170	渡辺豊重	動刻(起赤)	2016	木、紙、アクリル、合板	72.7×128	栃木県立美術館
171	渡辺豊重	動刻(錠)	2017	木、紙、アクリル、鉄、 松煙	54.5×72.7	栃木県立美術館
172	渡辺豊重	動刻	2017	和紙、水彩、金彩	35×54.7	個人蔵
173	渡辺豊重	赤い時	2018	ウッドコラージュ、木、ア クリル、ステンピス	26×35.5	個人蔵
174	渡辺豊重	トロピカル(思い出のメキシコか ら)	2021	カンヴァス、アクリル	61×23	個人蔵
175	渡辺豊重	はしるしろ	2022	木、アクリル塗装	20×43×10	個人蔵
176	渡辺豊重	青い三角	2022	木、アクリル塗装	28×14×14	個人蔵
177	渡辺豊重	黙	2022	木、アクリル塗装	34×17×15	個人蔵
178	渡辺豊重	追憶(Ⅰ)(あの光の中に見た)	2021	カンヴァス、アクリル	130.8×162.3	個人蔵
179	渡辺豊重	追憶(Ⅱ)	2021	カンヴァス、アクリル、岩 彩	130.8×162.3	個人蔵
180	渡辺豊重	追憶(Ⅲ)(手に取りたかった景 色)	2021	カンヴァス、アクリル、オ イルパステル	130.8×162.3	個人蔵
181	渡辺豊重	題不詳	2022	カンヴァス、油彩、アクリ ル	130.8×162.3	個人蔵
182	渡辺豊重	題不詳	2022	カンヴァス、油彩、アクリ ル	130.8×162.3	個人蔵
183	渡辺豊重	題不詳	2022	カンヴァス、油彩、アクリ ル	130.8×162.3	個人蔵
184	堀内正和	円筒の二等分	1968	ブロンズ、御影石	17.5×14.7	栃木県立美術館
185	丑久保健一	1・0・∞のボール	1984	木	寸法可変	栃木県立美術館
エピローグ 僕はなに色						
186	渡辺豊重	よろづ箱				個人蔵
187	渡辺豊重	かたちー待つ愛	2020(2022年 加筆)	合板、アクリル、松煙	46×41.5	個人蔵
188	渡辺豊重	題不詳	2023	紙、パステル	38.2×28.2	個人蔵
189	渡辺豊重	題不詳	2023	紙、パステル	36×35.5	個人蔵
190	渡辺豊重	題不詳	2023	紙、パステル	35×24.5	個人蔵

191	渡辺豊重	題不詳	2023	紙、パステル	24.5×17.7	個人蔵
192	渡辺豊重	題不詳	2023	紙、パステル	23×18	個人蔵
193	渡辺豊重	題不詳	2023	紙、パステル	18.9×23.4	個人蔵

■常設展示

コレクション展I「見て、聞いて、美術館」

展示期間＝ 令和7(2025)年4月19日(土)～6月15日(日)

風になびく草木や水の流れを描いた風景画、複数の人物が会話をする様子を描いた風俗画など、作品から聞こえてきそうな音や声を想像する内容。作品を鑑賞する切り口として音をテーマにしながら、「カンヴァーションピース」など、主題を表す形式や様式などを説明した。あわせて、耳で解説を楽しむこともサブテーマとして、「とちぎデジタルミュージアム“SHUGYOKU”(珠玉)」の音声ガイドで紹介されている作品を中心に展示した。音声ガイドは栃木県出身の声優・古川登志夫氏、緑川光氏が担当しており、両氏のファンからも好意的な反応を得た。

担 当 者＝ 大城茉里恵(主任)

出品リスト

※常設展示室1階では「谷内六郎展」の第2章を展示。

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	備考
■2階展示室					
【物語る絵】					
ウジェーヌ・ドラクロワ	シェイクスピア『ハムレット』	1834-35/43	紙、リトグラフ	25×19.5～28.7×20.4	
ギュスターヴ・ドレ	ダンテ『地獄篇』	1861	紙、木口木版	43.8×31.4	
アーネズビー・ブラウン	九月の朝	1910年代	カンヴァス、油彩	39×44	
アルフレッド・シスレー	冬の夕日(サン＝マメスのセーヌ河)		油彩、カンヴァス	50×65	
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1805-17年頃	カンヴァス、油彩	52.8×44.8	
ウィリアム・ホガース	娼婦一代記	1732	紙、エッチング、エンブレイヴィング	29.8×37.2	
内田進久	残照	1947	紙、エッチング	29.6×36.4	
古川龍生	昆虫戯画卷 平和篇 豊年万作	1933	紙、木版	24.8×34.7	
古川龍生	昆虫戯画卷 争闘篇 群虫密議	1933	紙、木版	24.8×34.7	
古川龍生	昆虫戯画卷 新生篇 乱酔泥喜	1933	紙、木版	24.8×34.7	
石垣栄太郎	新聞を見る	1929	カンヴァス、油彩	60.6×72.7	
石垣栄太郎	プレッツェル売り	1939	カンヴァス、油彩	50.8×66	
ジョン・スローン	1セントのお楽しみ	1905	紙、エッチング	12.7×17.8	
ジョン・スローン	五番街の批評家たち	1905	紙、エッチング	12.5×17.5	
ジョン・スローン	メトロポリタン美術館での模写	1908	紙、エッチング	18.6×22.3	
ジョン・スローン	ヘル・ホール	1917	紙、エッチング、アクアチント	19×23.8	

【話しかけてみよう】

柄澤齊	肖像VII シャルル・ボードレー	1983	紙、木口木版	17.5×16
柄澤齊	肖像XIV ヨハン・セバスティアン・バッハ	1983	紙、木口木版	16.8×13
柄澤齊	肖像XV シャルル・メリヨン	1983	紙、木口木版	18.7×13.6
柄澤齊	肖像XIX ハンス・クリスティアン・アンデルセン	1984	紙、木口木版	19.4×14.6
柄澤齊	肖像XXIV アルフレート・クービン	1985	紙、木口木版	20.7×11.8
渡辺豊重	鬼	2009	韓紙、青墨、松煙、木炭、アクリル、パステル	63.5×94
渡辺豊重	鬼	2009	韓紙、青墨、松煙、木炭、アクリル、パステル	63.5×94
チャールズ・ワーグマン	茶屋女	1876	カンヴァス、油彩	51×39
橋本邦助	微酔	1909	カンヴァス、油彩	65×50
川島理一郎	舞妓	1954	カンヴァス、油彩	91×73

【わくわく、オノマトペ】

笹島喜平	風ある林	1959	紙、木版(拓刷)	69.5×49.5
川島理一郎	風	1962	カンヴァス、油彩	100×73.2
張替正次	響き	1978	カンヴァス、油彩	194×162
平澤熊一	森の演奏会	1965	カンヴァス、油彩	97.5×130.8
小林孔	夜のバラード	制作年不詳	カンヴァス、油彩	60.6×50
元永定正	ば、ぼ、ぼ	1978	カンヴァス、アクリル	92×130.5

【ミニ特集 職人から芸術家へ～美しき手技～】

濱田庄司	白釉黒流描大鉢	1972	陶	14.5×53.6
三井安蘇夫	緑影	1975	銅、鍛金	50×50×25
高久空木	染色壁掛 モンステラ	1960	浜紬、ろう纈染	99×243
飯塚琅玕齋	花籃 遠音	1945	竹	28×21.5
人見城民	菓草図日光堆朱硯筥	1949	漆	6.6×21×26.5
宮原隆岳	鶴卵殻蛤香合	2017	漆、卵殻	3.6×7.5
宮原楓翠	乾漆卵殻盛器	2000	漆、麻布、卵殻	6.3×32.3
ウォルター・クレイン	『小豚の絵本』(ウォルター・クレインの絵本 第1巻) 「この小さい豚」、「妖精の船」、「ラッキー・ボーイ王」	1895	紙、木版、多色刷	28×23.5

ウォルター・クレイン	『ハバードお婆さんの絵本』(ウォルター・クレインの絵本 第2巻) 「ハバードお婆さん」、「3匹の熊」、「おかしなABC」	なし(初版1874年)	紙、木版、多色刷	28.2×23.5
リチャード・ドイル	W.アリンガム『妖精の国にて』	1875年(第2版)	紙、木口木版	38.6×28
川上澄生	初夏の風	1926	紙、木版多色刷	22.8×35

■2階展示室の立体作品

神山明	伝説	1989	杉、オイルステイン	147×99×99
伊藤公象	収縮性小曲面体	1980年(再制作93年)	陶、アクリル	61.5×107.3×130
篠原有司男	モーターサイクル・ママ	1973	カート ^o ボード ^o 、ホ ^o リエステル樹脂	158×235×128

【伊東直子マイセン磁器コレクション】

マイセン磁器	色絵山羊人物像「山羊にのる仕立屋」	19世紀後半または20世紀初頭	磁	42.1×42.7
マイセン磁器	色絵楽奏猿群像「猿のオーケストラ」	1766-18世紀末	磁	高16.5(22種23ヶ)
マイセン磁器	赤絵楽奏人物群像	1924-34	磁	高29.6(4ヶ)
マイセン磁器	色絵ブット像「夏と秋の寓意」	1770年頃	磁	高23.6×幅21.5
マイセン磁器	藍地金彩色絵花卉宮廷人物図植木鉢	19世紀末	磁	高28.2×21.3(2ヶ)
マイセン磁器	色絵燭台ポプリ壺付暖炉用センターピース	1782-90年頃	磁	57.2×32.8(2ヶ)
マイセン磁器	色絵ブット立像「漁師」	18世紀後半	磁	高14.3×幅23.3
マイセン磁器	黒地ベットガー炆器赤絵金彩人物図瓶	1710-15年頃	磁	12.5×10.3
マイセン磁器	色絵人物像「羊飼いと羊にのるブット」	18世紀後半	磁	高10.4×幅12.8
マイセン磁器	色絵金彩人物図蓋付双耳鉢、受皿	1725-30年頃	磁	鉢高9.1受皿径13.8
マイセン磁器	色絵神話人物像「ウェヌス、アドニスとクピド」	1750-60年代	磁	高15×幅14.4
マイセン磁器	色絵金彩人物図ティーポット	1735年頃	磁	高9.7×幅16
マイセン磁器	色絵花卉図ポプリ壺・アモル立像「着衣のアモル」・花飾り	1750-60年代	磁	高21×幅23.5
マイセン磁器	色絵人物図カップ&ソーサー	1730-40年代	磁	カップ ^o 高4.6×径7.7、ソーサー ^o 径13.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「大地の寓意 フローラ」	1760年頃	磁	高16×幅15
マイセン磁器	金彩樹下人物図カップ&ソーサー「金の中国人」	1730年頃	磁	カップ ^o 高4.5×径7.7、ソーサー ^o 径12.4
マイセン磁器	色絵ポプリ壺付群像「慈愛の寓意」	18世紀中頃	磁	高26×幅19
マイセン磁器	色絵花卉図輪花鉢	1730年代	磁	高4.5×径13
マイセン磁器	色絵梅鶉図輪花鉢	1774-1814年頃	磁	高5.2×径13.3
マイセン磁器	色絵東洋人坐像「ゆれるパゴダ像」	19世紀末	磁	17.9×18.5
マイセン磁器	色絵獅子昆虫花鳥図ズルコウスキー・オツイエルリーフ皿	1735-45年頃	磁	5.8×34.6

マイセン磁器	色絵花飾鳥ブット像鏡	19世紀中頃か 後半	磁	130×80
マイセン磁器	色絵花飾田園人物図蓋付双耳ポプリ壺	19世紀後半	磁	高63.5×幅37
マイセン磁器	色絵貼花飾狩猟図鹿浮彫蓋付パンチボウル	19世紀後半	磁	37×30.7
マイセン磁器	色絵オンドリ像	1922年か・23年	磁	高37×幅18.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「愛の束縛」	19世紀後半	磁	高31.7×幅34.1

□常設館以外の展示作品

■玄関ロビー

多田美波	周波数FL10-6874	1968	ステンレス、ミラーガラス	247×273
------	--------------	------	--------------	---------

■集会室前

島田忠恵	O & U	1972	ブロンズ、ステンレス	200×200×100
------	-------	------	------------	-------------

■屋外展示場(中庭)

エミール=アントワーヌ・ブールデル	ペネロペ	1907-12	ブロンズ	240×90×70
島田忠恵	餓鬼	1971	ブロンズ	350×280×100
高橋清	親和	1974	御影石	250×258×175
清水九兵衛	Affinityの継続-A	1976	アルミニウム	55×286×180
小林泰彦	インヴォケーション(祈り)	1981	ステンレス	224×68×57
杉浦康益	陶による石の群	1983	陶器	50×40×40(×12)
青木秀憲	[いずみ]“IZUMI”	1981	ステンレス	4.5×212×212
三木俊治	行列	1984	ブロンズ、御影石	25×800×10

■屋外彫刻

高橋清	Atlinemi(水の神)	1966	ブロンズ	90×67×58
飯田善国	星と人間の間	1972	ステンレス	1000×450×450
館野弘青	微笑	1974	ブロンズ	180×60×46
堀内正和	ジグザグ立方体	1974	ステンレス	106×216.5×106
関根伸夫	空相一円錐	1974	黒御影石	120×120×120
保田春彦	ある街の片隅、忘れられた祠	1974	花崗石、ステンレス	100×50×100
速水史朗	太陽の門	1978	マンナリー石	300×128×90
リチャード・ディーコン	カタツムリのように(A)	1987	アルミニウム、鋼鉄	520×680×560
手塚登久夫	梟の森 2002	2002	黒御影石、赤御影石	207×130×90

■実は美術館そのものも作品！

コレクション展Ⅱ 「言の葉で見る美術」

展示期間＝ 令和7(2025)年6月28日(土)～10月2日(木)※9月8日(月)～9月19日(金)は休館

本展では「言葉」と「イメージ」をテーマに、詩や物語とまじわり合う作品や、文字や言葉を素材とした作品を取り上げた。さらに、作品に登場するキャラクターの表情や身振りから会話や心情を想像する、工芸家の「名言」から作品の新たな魅力を発見するといった、美術鑑賞のヒントを「言葉」という切り口から紹介。「言葉」と「イメージ」の化学反応による豊かな創造世界を展開した。

担当者＝ 鈴木さとみ(主任研究員)

出品リスト

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	備考
■1階展示室					
【何を話しているの?】					
小堀鞆音	宇智野の雪	1898	絹本着色	179×97.5	(寄託)
小堀鞆音	恩賜の御衣	1898	絹本着色	110.8×163.5	
安田靉彦	薩埵王子捨身図	1911年頃	絹本着色	126×41.8	
下村観山	漁樵問答	1909年頃	紙本着色	漁 135.8×54.3 樵 136.2×54.3	
堂本印象	陣中の月	1935	絹本着色	69.3×86.4	
小杉放菴	虎溪三笑図	1951	紙本着色	54.5×58	
荒井寛方	玄奘と太宗	1927	紙本着色	162.8×236.5	
石川寒巖	寒山拾得	1933	紙本着色	90×85	
羽石光志	光琳と乾山	1936	紙本着色	160.8×168.5	
【歌を詠む】					
作者不詳	三十六歌仙絵		紙本着色	145.5×360(×2)	
【物語るイメージⅠ】					
川上澄生	伊曾保の譬絵噺	1959	紙、木版単色刷、 手彩色	9×15.2	
【詩と版画の世界】					
川上澄生	いんへるの(るしへる版)	1944	銀紙多色刷	23.2×157	
川上澄生	初夏の風(ローマ字版)	1926	紙、木版多色刷	21.5×15	
川上澄生	風船乗り	1927	紙、木版多色刷	19.2×24	
川上澄生	顔	1926	紙、木版多色刷	18×24.5	

飯田善国	クロマトポイエマ(表紙、No.8,10,17,18)	1972	紙、シルクスクリーン	75×55	
【工芸家の言葉】					
濱田庄司	青釉白格子描大鉢	1957	陶	16×58	
島岡達三	塩釉象嵌縄文皿	1979	陶	12.2×57	
加守田章二	壺	1979	陶	58.2×22.3×16.9	
リーチ, バーナード	蛸絵大皿	1928	陶	11×50	
リー, ルーシー	ピンクの鉢	1978年頃	磁	12×24.5	
三井安蘇夫	草花文壺	1987	銅、鍍金	26.3×26.7	
飯塚琅玕齋	花籃「べんけい」	1953年頃	竹	49.5×17.8×17	前期
飯塚琅玕齋	花籃「穰屋」	1936年頃	竹	42.5×32×29.4	後期
勝城蒼鳳	雨文摺漆花籃「那須野の驟雨」	2011	竹	27×41×17	前期(寄託)
勝城蒼鳳	柁割曲線摺漆花籃「瀧」	2009	竹	45×37×27	後期(寄託)
藤沼昇	束編花籃「阿呬」	2011	竹	26×44	前期
藤沼昇	束編花籃「和」	2008	竹	24×46×46	後期
岩田藤七	花器	1964	ガラス、宙吹き	26×23	
岩田久利	花器	1989	ガラス、宙吹き	33.5×24.5×23.5	

【ボディランゲージ】

鈴木徹	馬と娘の恋の物語3	1980年代	ブロンズ	40×25×23	
鈴木徹	馬と娘の恋の物語5	1980年代	ブロンズ	33×30×13	
鈴木徹	馬と娘の恋の物語13	1980年代	ブロンズ	70×29.5×25	
鈴木徹	馬と娘の恋の物語16	1980年代	ブロンズ	62×35×20	
鈴木徹	馬と娘の恋の物語18	1980年代	ブロンズ	66×28×24	
棟方志功	二菩薩・釈迦十大弟子	1948年:菩薩 1939年:弟子	紙、木版	119.7×35.4(×12)	

■1階 大壁面周辺の立体作品

ナッシュ, デイヴィッド	テーブルと椅子	1984	木(カバ)	240×340×340	
ナッシュ, デイヴィッド	歩く梯子	1984	木(ニレ)	218×190×64	
高木修	Untitled	1993年(2016年再制作)	鉄	136×570×111	
青木秀憲	宙シリーズー飛翔2001	2001	アルミニウム	180×110×50	
篠田守男	クロンボルグ城 T-C4305	1974	アルミニウム、ワイヤー、真鍮	104×250×150	
和久奈南都留	ふるさと	1980	御影石	100×100×100	

■2階展示室

【アーティストの日記】

ナッシュ, デイヴィッド 捻箱	1982	木(ミズナラ)	127×131×137
ナッシュ, デイヴィッド 絵日記 10月18日 木曜日	1984	紙、コンテ、フェルト ペン、色鉛筆	53.1×39.6
ナッシュ, デイヴィッド 絵日記 10月20日 土曜日	1984	紙、コンテ、フェルト ペン、色鉛筆	53.1×39.6
ナッシュ, デイヴィッド 絵日記 10月22日 月曜日	1984	紙、コンテ、フェルト ペン、色鉛筆	53.1×39.6
ナッシュ, デイヴィッド 絵日記 11月2日 金曜日	1984	紙、コンテ、フェルト ペン、色鉛筆	53.1×39.6
ナッシュ, デイヴィッド 絵日記 11月3日 土曜日	1984	紙、コンテ、フェルト ペン、色鉛筆	53.1×39.6
ナッシュ, デイヴィッド 絵日記 11月4日 日曜日	1984	紙、コンテ、フェルト ペン、色鉛筆	53.1×39.6
ナッシュ, デイヴィッド 絵日記 11月8日 木曜日	1984	紙、コンテ、フェルト ペン、色鉛筆	53.1×39.6
ナッシュ, デイヴィッド 絵日記 11月9日 金曜日	1984	紙、コンテ、フェルト ペン、色鉛筆	53.1×39.6
ナッシュ, デイヴィッド 絵日記 11月10日 土曜日	1984	紙、コンテ、フェルト ペン、色鉛筆	53.1×39.6

【西洋の風景画】

モネ, クロード サン=タドレスの海岸	1864	カンヴァス、油彩	30.6×69.5
シスレー, アルフレッド 冬の夕日(サン=マメスのセーヌ河)	1882-1883	カンヴァス、油彩	50×65
コンスタブル, ジョン デダムの谷	1805-17年頃	カンヴァス、油彩	52.8×44.8
ターナー, J.M.W. 風景、タンバリンをもつ女	1840-50年頃	カンヴァス、油彩	88.5×118

【物語るイメージⅡ】

ドレ, ギュスターヴ ミルトン作「失楽園」挿絵(50点の内6点)	なし(初版1866年)	紙、木口木版	34.3×26.5
マイセン磁器 色絵神話人物馬車像「太陽の凱旋車にのるアポロ」	19世紀後半	磁	高30.8×47.5
マイセン磁器 色絵神話人物群像「アンフィトリテの勝利」	19世紀後半	磁	高44.6×幅54
グランヴィル, J.-J. T.ドゥローール『生命ある花々』(30点の内16点)	1867年(初版1847年)	紙、銅鉄版、彩色	27×31.5
柄澤齊 アルノルフィニ家	1987	標本箱、本、革、印刷図版	21.4×31.5×6.2

【変貌する言葉】

菅野聖子	作品	1963年頃	厚紙、アクリル、厚紙・新聞のコラージュ	61.3×73
五月女幸雄	ホリゾントライト	1974	カンヴァス、油彩	130×163
村上善男	赤倉園牡丹紅炮圖(甲)	1997	カンヴァス、アクリル、和紙、古文書、布、紐	193.9×112.1
三島喜美代	NEWSPAPER-P	1981	紙、エッチング	45.5×31
三島喜美代	MEMORY	1981	紙、エッチング	45.5×31
三島喜美代	COPY-NEWS PAPER-F	1980	陶、シルクスクリーン	28×43×13
三島喜美代	COPY-NEWS PAPER-J	1980	陶、シルクスクリーン	52×40×12
福田美蘭	北海道新聞 1995年9月1日	1996	紙、オフセット	7.7×5.7
荒木高子	水たまりの聖書	1985	自然砂、陶土、エポキシ樹脂	58.4×57.4×10

【耳をすませば】

ビゴー, ジョルジュ	文を読む女		カンヴァス、油彩	74×116.5
五百城文哉	おまつ像	1901年頃	紙、水彩	67×50
清水登之	主婦と下男	1926	カンヴァス、油彩	116.7×91
桂ゆき	マスク	1970年頃	板、油彩・紙	122×162
古川龍生	昆虫戯画卷 平和篇 緑陰労働	1933	紙、木版	24.8×34.7
古川龍生	昆虫戯画卷 平和篇 一村和平	1933	紙、木版	24.8×34.7
古川龍生	昆虫戯画卷 新生篇 黄道吉日	1933	紙、木版	24.8×34.7
浜野友仙	秋声	1980	象牙	10×40×40

【言葉を贈る】

草間彌生	ドッツ・オブセッション、水玉で幸福いっぱい	2009	箱:ABS樹脂、アクリル製ミラー、アルミニウム(スコープ)、携帯電話	14×14×15
草間彌生	私の犬のリンリン	2009	ポリウレタン樹脂、携帯電話	20.3×10×23
草間彌生	宇宙へ行くときのハンドバッグ	2009	携帯電話、2点	5.7×11×2

【言の葉とあそぶ】

元永定正	くりー、くりー	1978	カンヴァス、アクリル	92×130.5
元永定正	はに、はに	1978	カンヴァス、アクリル	92×130.5
襲嘔	レインボー・レインD	1977	カンヴァス、油彩	259×194
上田薫	あわG	1979	カンヴァス、油彩	182×227

ミルロイ, リサ	電球	1989	カンヴァス、油彩	203.2×284.5
難波田龍起	生物苑	1966	カンヴァス、油彩、エナメル	120×193.5
白髪一雄	篆象	1963	カンヴァス、油彩	184×236.5

【言葉を贈る】

コールフィールド, パトリック	手紙	1967	紙、シルクスクリーン	46.5×74.5
-----------------	----	------	------------	-----------

■2階展示室の立体作品

伊藤公象	収縮性小曲面体	1980年(1993年再制作)	陶、アクリル	61.5×107.3×130
篠原有司男	モーターサイクル・ママ	1973	カート ^{ホード} 、ホ ^リ エステル樹脂	158×235×128

【伊東直子マイセン磁器コレクション】

マイセン磁器	色絵神話女性像「雄牛にのるエウロペ」	19世紀後半	磁	高21.3×幅20
マイセン磁器	色絵楽奏猿群像「猿のオーケストラ」	1766-18世紀末	磁	高16.5(22種23ヶ)
マイセン磁器	赤絵楽奏人物群像	1924-34	磁	高29.6(4ヶ)
マイセン磁器	色絵プット像「夏と秋の寓意」	1770年頃	磁	高23.6×幅21.5
マイセン磁器	藍地金彩色絵花卉宮廷人物図植木鉢	19世紀末	磁	高28.2×21.3(2ヶ)
マイセン磁器	色絵燭台ポプリ壺付暖炉用センターピース	1782-90年頃	磁	57.2×32.8(2ヶ)
マイセン磁器	色絵プット立像「漁師」	18世紀後半	磁	高14.3×幅23.3
マイセン磁器	黒地ベットガー炆器赤絵金彩人物図瓶	1710-15年頃	磁	12.5×10.3
マイセン磁器	色絵人物像「羊飼いと羊にのるプット」	18世紀後半	磁	高10.4×幅12.8
マイセン磁器	色絵金彩人物図蓋付双耳鉢、受皿	1725-30年頃	磁	鉢高9.1受皿径13.8
マイセン磁器	色絵神話人物像「ウェヌス、アドニスとクピド」	1750-60年代	磁	高15×幅14.4
マイセン磁器	色絵金彩人物図ティーポット	1735年頃	磁	高9.7×幅16
マイセン磁器	色絵花卉図ポプリ壺・アモル立像「着衣のアモル」・花飾り	1750-60年代	磁	高21×幅23.5
マイセン磁器	色絵人物図カップ&ソーサー	1730-40年代	磁	カップ高4.6×径7.7、ソーサー径13.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「大地の寓意 フローラ」	1760年頃	磁	高16×幅15
マイセン磁器	金彩樹下人物図カップ&ソーサー「金の中国人」	1730年頃	磁	カップ高4.5×径7.7、ソーサー径12.4
マイセン磁器	色絵ポプリ壺付群像「慈愛の寓意」	18世紀中頃	磁	高26×幅19
マイセン磁器	色絵花卉図輪花鉢	1730年代	磁	高4.5×径13
マイセン磁器	色絵梅鶉図輪花鉢	1774-1814年頃	磁	高5.2×径13.3
マイセン磁器	色絵東洋人坐像「ゆれるパゴダ像」	19世紀末	磁	17.9×18.5

マイセン磁器	色絵獅子昆虫花鳥図スルコウスキー・オツイエルレリー フ皿	1735-45年頃	磁	5.8×34.6
マイセン磁器	色絵花飾鳥ブット像鏡	19世紀中頃か 後半	磁	130×80
マイセン磁器	色絵花飾田園人物図蓋付双耳ポプリ壺	19世紀後半	磁	高63.5×幅37
マイセン磁器	色絵貼花飾狩猟図鹿浮彫蓋付パンチボウル	19世紀後半	磁	37×30.7
マイセン磁器	色絵オシドリ像	1922年か23年	磁	高37×幅18.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「愛の束縛」	19世紀後半	磁	高31.7×幅34.1

口常設館以外の展示作品

■玄関ロビー

多田美波	周波数FL10-6874	1968	ステンレス、ミラーガラス	247×273
------	--------------	------	--------------	---------

■集会室前

島田忠恵	O & U	1972	ブロンズ、ステンレス	200×200×100
------	-------	------	------------	-------------

■屋外展示場(中庭)

ブールデル, エミール=アントワーン	ペネロペ	1907-12	ブロンズ	240×90×70
島田忠恵	餓鬼	1971	ブロンズ	350×280×100
高橋清	親和	1974	御影石	250×258×175
清水九兵衛	Affinityの継続-A	1976	アルミニウム	55×286×180
小林泰彦	インヴォケーション(祈り)	1981	ステンレス	224×68×57
杉浦康益	陶による石の群	1983	陶器	50×40×40(×12)
青木秀憲	「いずみ」"IZUMI"	1981	ステンレス	4.5×212×212
三木俊治	行列	1984	ブロンズ、御影石	25×800×10

■屋外彫刻

高橋清	Atlinemi(水の神)	1966	ブロンズ	90×67×58
飯田善国	星と人間の間	1972	ステンレス	1000×450×450
館野弘青	微笑	1974	ブロンズ	180×60×46
堀内正和	ジグザグ立方体	1974	ステンレス	106×216.5×106
関根伸夫	空相一円錐	1974	黒御影石	120×120×120
保田春彦	ある街の片隅、忘れられた祠	1974	花崗石、ステンレス	100×50×100
速水史朗	太陽の門	1978	マンナリー石	300×128×90
ディーコン, リチャード	カタツムリのように(A)	1987	アルミニウム、鋼鉄	520×680×560
手塚登久夫	梟の森 2002	2002	黒御影石、赤御影石	207×130×90

コレクション展Ⅲ 「画題が意味するもの」

展示期間＝ 令和7(2025)年10月25日(土)～12月21日(日)

「画題」という言葉には、大きく分けてふたつの意味がある。ひとつは作品につけられた作品名(タイトル)のこと、もうひとつは作品に描かれた主題(テーマ)のことである。通常は描かれた主題の名前をそのまま作品名にするが、作品名だけでは主題の奥深さがわかりづらいこともあるし、「無題」などの作品名がつけられることもよくある。本展では、美術作品につけられた作品名と主題との関係性をひもとき、画題が意味するものを探った。

担 当 者＝ 志田康宏(主任)

出品リスト

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	備考
■1階展示室					
【古事記・日本書紀】					
小堀鞆音	猿田彦命図		絹本着色	106.8×40.7	
小堀鞆音	神武天皇像	1900	絹本着色	111.1×43.2	寄託
小堀鞆音	神功皇后像		絹本着色	52.5×84	寄託
清水登之	風景(山岳眺望)	1939年頃	カンヴァス、油彩	45.5×53	
清水登之	風景(巨岩)	1939年頃	カンヴァス、油彩	45.5×52.8	
清水登之	風景(森の中)	1939年頃	カンヴァス、油彩	45.5×53	
清水登之	比婆山神陵	1940年頃	カンヴァス、油彩	117×73	
【伊勢物語】					
小堀鞆音	業平朝臣角田川詠歌図		絹本着色	126.4×42.2	
【万葉集】					
羽石光志	二上山	1975	紙本着色	157×118	
羽石光志	吉野宮	1984	紙本着色	163.7×143.4	
【歌仙】					
小堀鞆音	伊勢観龍門瀑布図		絹本着色	144.5×48.5	
石川寒巖	後徳大寺左大臣		紙本墨画	38.5×43.7	
石川寒巖	西行法師		紙本墨画	38.5×43.8	

【花鳥風月】

梶田半古	秋聲	1913年頃	絹本着色	141×71.2
松林桂月	欧陽脩秋声賦	1960	絹本着色	69.2×86.1
高久靄厓	歳寒三友図	1834年頃	紙本墨画	140×360

※ 2022(令和4)年度公益財団法人出光美術館美術品修復助成による修復後初公開

石川寒巖	歳寒二雅図	制作年不詳	紙本着色	33.5×34.5
田崎草雲	陶家遺愛	不詳	紙本着色	112.3×44.7
横山華山	鍾馗		紙本着色	157×94.8

【源氏と平氏】

川上澄生	武者図	不詳	紙、木版単色刷	34×24
川上澄生	八幡太郎義家	1930年代	紙、木版、手彩色	34.8×24.8
川上澄生	梶原源太景季	1930年代	紙、木版、手彩色	46.7×26.5
川上澄生	伊予守義経	1930年代	紙、木版、手彩色	46.7×26.6
矢柳剛	Tale of Genji No.1	1974	紙、シルクスクリーン	79.5×55
森義利	睦言 (源氏物語シリーズの内)	1975	紙、ステンシル	70×51.5
武田秀雄	南都侵攻	1985	紙、シルクスクリーン	39.5×52.7
武田秀雄	扇の的	1985	紙、シルクスクリーン	39.5×52.7

【源氏物語】

小堀鞆音	紫式部図		紙本墨画	寄託
小堀鞆音	石山参籠之図		絹本着色	125×50.2 寄託

【平家物語】

小堀鞆音	佐野了伯聴平語図	1929年頃	紙本着色	66.5×86
小堀鞆音	判官義経		絹本着色	116×41.5 寄託
島田墨仙	法然上人と蓮生坊熊谷		絹本着色	62.3×72.1
小堀鞆音	頼政詣高倉宮図	1907	絹本着色、双幅	138.3×50.2
小堀鞆音	頼盛截搭図	1890-1920年代頃	絹本着色	126.3×50.2

【工芸】

人見城民	刀筆蒔絵硯管 「醍醐の花見」	1942	漆	5.2×20×25.9	
高久空木	染名古屋帯 ひょうたん	1985年頃	塩瀬、ろう纈染め	帯幅:34.5 額:62×48×7.5	
濱田庄司	柿釉赤絵扁壺	1971	陶	23×16.2×9.5	
飯塚小玕齋	鳳尾竹手付盛花籃 せせらぎ	1998	竹	24×41×26	
勝城蒼鳳	千集花文編花籃 華心	1994	竹	16.5×47.5	寄託
藤沼昇	網代編舟形花籃 翔	1989	竹	14×54×22	
松井茂	QUANTAM POEM No.672	2015	紙、シルクスクリー ン	85×64.8	

■1階 大壁面周辺の立体作品

ナッシュ, デイヴィッド	テーブルと椅子	1984	木(カバ)	240×340×340	
ナッシュ, デイヴィッド	歩く梯子	1984	木(ニレ)	218×190×64	
高木修	Untitled	1993年 (2016年再制 作)	鉄	136×570×111	
青木秀憲	宙シリーズー飛翔2001	2001	アルミニウム	180×110×50	
篠田守男	クロンボルグ城 T-C4305	1974	アルミニウム、ワイヤー、真 鍮	104×250×150	
和久奈南都留	ふるさと	1980	御影石	100×100×100	

■2階展示室

【西洋美術】

モネ, クロード	サン=タドレスの海岸	1864	カンヴァス、油彩	30.6×69.5	
カバネル, アレクサンドル	狩の女神ディアナ	1882	カンヴァス、油彩	106.5×75.5	
コンスタブル, ジョン	デダムの谷	1805-17年頃	カンヴァス、油彩	52.8×44.8	
ターナー, J.M.W.	風景、タンバリンをもつ女	1840-50年頃	カンヴァス、油彩	88.5×118	

【画題が意味するもの】

襲嘔	ナッシュビル・スカイライン 1	1972	紙、シルクスクリー ン	51×36.2	
襲嘔	ナッシュビル・スカイライン 2	1972	紙、シルクスクリー ン	51×36.2	

靉 嚩	ナッシュビル・スカイライン 3	1972	紙、シルクスクリーン	51×36.2
靉 嚩	ナッシュビル・スカイライン 4	1972	紙、シルクスクリーン	51×36.2
靉 嚩	ナッシュビル・スカイライン 5	1972	紙、シルクスクリーン	51×36.2
靉 嚩	ナッシュビル・スカイライン 6	1972	紙、シルクスクリーン	36.2×51
靉 嚩	ナッシュビル・スカイライン 7	1972	紙、シルクスクリーン	36.2×51
靉 嚩	ナッシュビル・スカイライン 8	1972	紙、シルクスクリーン	36.2×51
靉 嚩	ナッシュビル・スカイライン 9	1972	紙、シルクスクリーン	36.2×51
靉 嚩	ナッシュビル・スカイライン 10	1972	紙、シルクスクリーン	36.2×51
松井智恵	LABOUR-35	1995	紙、水彩	120×100
松井智恵	荷物1draw99-10	1999	紙、鉛筆、 ミクストメディア	57×76
松井智恵	荷物2draw99-12	1999	紙、鉛筆、 ミクストメディア	76×57
松井智恵	荷物3draw99-11	1999	紙、鉛筆、 ミクストメディア	57×76
芥川(間所) 紗織	神話より(4)	1956	布、染色	162×130.3
ソン・ヒョンスク	無題 No.25	2010	紙、グアッシュ	28×21.5
ソン・ヒョンスク	無題 2011.7.1	2011	紙、グアッシュ	20×29.5
ソン・ヒョンスク	無題 No.5	2010	紙、グアッシュ	34.5×25.5
ソン・ヒョンスク	無題 No.7	2010	紙、グアッシュ	29×34

【作品名(タイトル)と主題(テーマ)】

舟越桂	風をためて	1983	楠、彩色、大理石	91×41×28
白髪一雄	天勇星 大刀	1964	カンヴァス、油彩	183.5×273.5
元永定正	O,O,O,O,O	1975	麻布、アクリル	194×259.1
高村総二郎	戊辰戦争	2021	麻紙／水干絵具、 胡粉、膠(附:教科 書・ミニカー・机・椅子)	90×67.5

【無題】

草間彌生	無題	1952	紙、墨	26×20.3
草間彌生	無題	1952	紙、墨	27×18.7

佐藤時啓	無題(C#3)	1987	ゼラチンシルバープリント	48×58
ヴィアラ, クロード	無題	1981	カンヴァス、油彩	123×327
石原友明	Untitled	1985 (1996リプリント)	ゼラチンシルバープリント	50.5×60.5
石原友明	Untitled	1985 (1996リプリント)	ゼラチンシルバープリント	50.5×60.5
石原友明	Untitled	1985 (1996リプリント)	ゼラチンシルバープリント	50.5×60.5
張替正次	無題	1965	パネル、カンヴァス、油彩	117×92
張替正次	無題	1965	パネル、カンヴァス、油彩	117×92
山本富章	Untitled	1982	紙、銅版、 アクアチント	62.5×212.5

【古事記・日本書紀】

羽石光志	難波の堀江	1953	紙本着色	225×157
羽石光志	寂光院	1972	紙本着色	184×130
羽石光志	ひよどりごえ	1965	紙本着色	228×194
武田秀雄	女丈夫巴	1985	紙、シルクスクリー ン	39.5×52.7

■2階展示室の立体作品

ナッシュ, デイヴィッド	捻箱	1982	木(ミズナラ)	127×131×137
伊藤公象	収縮性小曲面体	1980年 (再制作1993 年)	陶、アクリル	61.5×107.3×130
篠原有司男	モーターサイクル・ママ	1973	カートボード、 ポリエステル樹脂	158×235×128

【伊東直子マイセン磁器コレクション】

マイセン磁器	色絵神話人物立像 「季節の寓意」 〈秋 バッカス〉〈春 フローラ〉	18世紀末	磁	高:秋23、春23.1
マイセン磁器	色絵楽奏猿群像 「猿のオーケストラ」	1766-18世紀 末	磁	高16.5(22種23ヶ)
マイセン磁器	赤絵楽奏人物群像	1924-34	磁	高29.6(4ヶ)
マイセン磁器	色絵ブット像「夏と秋の寓意」	1770年頃	磁	高23.6×幅21.5
マイセン磁器	藍地金彩色絵花卉宮廷人物図植木鉢	19世紀末	磁	高28.2×21.3(2ヶ)
マイセン磁器	色絵燭台ポプリ壺付暖炉用センターピース	1782-90年頃	磁	57.2×32.8(2ヶ)
マイセン磁器	色絵ブット立像「漁師」	18世紀後半	磁	高14.3×幅23.3
マイセン磁器	黒地ベットガー炆器赤絵金彩人物図瓶	1710-15年頃	磁	12.5×10.3

マイセン磁器	色絵人物像「羊飼いと羊にのるプット」	18世紀後半	磁	高10.4×幅12.8
マイセン磁器	色絵金彩人物図蓋付双耳鉢、受皿	1725－30年頃	磁	鉢高9.1受皿径13.8
マイセン磁器	色絵神話人物像「ウェヌス、アドニスとクピド」	1750-60年代	磁	高15×幅14.4
マイセン磁器	色絵金彩人物図ティーポット	1735年頃	磁	高9.7×幅16
マイセン磁器	色絵花卉図ポブリ壺・アモル立像「着衣のアモル」・花飾り	1750-60年代	磁	高21×幅23.5
マイセン磁器	色絵人物図 カップ&ソーサー	1730-40年代	磁	カップ高4.6×径7.7、 ソーサー径13.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「大地の寓意 フローラ」	1760年頃	磁	高16×幅15
マイセン磁器	金彩樹下人物図カップ&ソーサー「金の中国人」	1730年頃	磁	カップ高4.5×径7.7、 ソーサー径12.4
マイセン磁器	色絵ポブリ壺付群像「慈愛の寓意」	18世紀中頃	磁	高26×幅19
マイセン磁器	色絵花卉図輪花鉢	1730年代	磁	高4.5×径13
マイセン磁器	色絵梅鶉図輪花鉢	1774-1814年頃	磁	高5.2×径13.3
マイセン磁器	色絵東洋人坐像「ゆれるパゴダ像」	19世紀末	磁	17.9×18.5
マイセン磁器	色絵獅子昆虫花鳥図スルコウスキー・オツイエルリーフ皿	1735-45年頃	磁	5.8×34.6
マイセン磁器	色絵花飾鳥プット像鏡	19世紀中頃か 後半	磁	130×80
マイセン磁器	色絵花飾田園人物図蓋付双耳ポブリ壺	19世紀後半	磁	高63.5×幅37
マイセン磁器	色絵貼花飾狩猟図鹿浮彫蓋付パンチボウル	19世紀後半	磁	37×30.7
マイセン磁器	色絵オシドリ像	1922年か23年	磁	高37×幅18.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「愛の束縛」	19世紀後半	磁	高31.7×幅34.1

口常設館以外の展示作品

■玄関ロビー

多田美波	周波数FL10-6874	1968	ステンレス、ミラーガラス	247×273
------	--------------	------	--------------	---------

■集会室前

島田忠恵	O & U	1972	ブロンズ、ステンレス	200×200×100
------	-------	------	------------	-------------

■屋外展示場(中庭)

ブールデル, エミール =アントワース	ペネロペ	1907-12	ブロンズ	240×90×70
島田忠恵	餓鬼	1971	ブロンズ	350×280×100
高橋清	親和	1974	御影石	250×258×175
清水九兵衛	Affinityの継続-A	1976	アルミニウム	55×286×180
小林泰彦	インヴォケーション(祈り)	1981	ステンレス	224×68×57
杉浦康益	陶による石の群	1983	陶器	50×40×40(×12)
青木秀憲	「いずみ」"IZUMI"	1981	ステンレス	4.5×212×212

三木俊治	行列	1984	ブロンズ、御影石	25×800×10
■屋外彫刻				
高橋清	Atlinemi(水の神)	1966	ブロンズ	90×67×58
飯田善国	星と人間の間	1972	ステンレス	1000×450×450
館野弘青	微笑	1974	ブロンズ	180×60×46
堀内正和	ジグザグ立方体	1974	ステンレス	106×216.5×106
関根伸夫	空相－円錐	1974	黒御影石	120×120×120
保田春彦	ある街の片隅、忘れられた祠	1974	花崗石、ステンレス	100×50×100
速水史朗	太陽の門	1978	マンナリー石	300×128×90
ディーコン, リチャード	カタツムリのように(A)	1987	アルミニウム、鋼鉄	520×680×560
手塚登久夫	梟の森 2002	2002	黒御影石、赤御影石	207×130×90

コレクション展Ⅳ 「激動の時代—昭和の絵画—」

展示期間＝ 令和8(2026)年1月10日(土)～3月22日(日)

本展は、当館が所蔵する昭和期の絵画を紹介したものである。会場が2階展示室のみであったため、激動の60年を簡潔ながらもしっかりと伝えられるよう、「版画でみる戦前の風景」「アジアの表象」「戦闘を描く」「復興の陰で」「繁栄の陰で」の5つのテーマを設けて作品を紹介した。
会期中に開催した「親と子のための美術鑑賞教室」では、展示作品から着想を得て、ダンボールと新聞紙によるコラージュを作るワークショップを行い、好評を博した。
なお本展は、内閣官房「昭和100年」関連施策の一環として開催した。

担当者＝ 清水友美(研究員)

出品リスト

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	備考
-----	-----	-----	-------	--------	----

■1階展示室

※常設展示室1階では「渡辺豊重展」を展示。

■1階 大壁面周辺の立体作品

デイヴィット・ナッシュ	テーブルと椅子	1984	木(カバ)	240×340×340	
デイヴィット・ナッシュ	歩く梯子	1984	木(ニレ)	218×190×64	
青木秀憲	宙シリーズ-飛翔2001	2001	アルミニウム	180×110×50	
篠田守男	クロンボルグ城 T-C4305	1974	アルミニウム、ワイヤー、真鍮	104×250×150	
和久奈南都留	ふるさと	1980	御影石	100×100×100	

■2階展示室

【版画でみる戦前の風景】

川上澄生	「新東京百景」青山墓地	1929	紙、木版多色刷	18×24.2	
川上澄生	「新東京百景」丸ノ内曇日	1929	紙、木版多色刷	18.2×25	
川上澄生	「新東京百景」観兵式	1929	紙、木版多色刷	22.7×32.5	
川上澄生	「新東京百景」浅草公園 カジノ・フォーリー	1930	紙、木版多色刷	18×25.8	
川上澄生	「新東京百景」百貨店内部	1930	紙、木版多色刷	22.6×31.8	
川上澄生	「新東京百景」丸ノ内一景	1930	紙、木版多色刷	18×23.8	
川上澄生	「新東京百景」魚河岸	1931	紙、木版多色刷	15.5×22.5	
川上澄生	「新東京百景」浜離宮	1931	紙、木版多色刷	17.8×24	

【西洋絵画】

クロード・モネ	サン＝タドレスの海岸	1864	カンヴァス、油彩	30.6×69.5	
---------	------------	------	----------	-----------	--

アレクサンドル・カバネル	狩の女神ディアナ	1882	カンヴァス、油彩	106.5×75.5
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1805-17年頃	カンヴァス、油彩	52.8×44.8
J.M.W. ターナー	風景、タンバリンをもつ女	1840-50年頃	カンヴァス、油彩	88.5×118

【アジアの表象】

清水登之	大治鉄山より望む	1938	紙、墨、水彩	38×58
清水登之	五老峰	1938	紙、墨、水彩	38×58.5
清水登之	廬山麓星子	1938	紙、墨、水彩	38×58
清水登之	漢口	1938	紙、墨、水彩	38×58.4
川島理一郎	施米	1939	カンヴァス、油彩	73×91
川島理一郎	印度寺の門	1941	カンヴァス、油彩	60.6×50
鈴木賢二	奉天駅(中国・朝鮮半島スケッチ)	1938-39年頃	紙、インク、墨、鉛筆	28.5×23
鈴木賢二	苦力(中国・朝鮮半島スケッチ)	1938-39年頃	紙、インク、墨、鉛筆	28.6×23
鈴木賢二	歌曲(中国・朝鮮半島スケッチ)	1938-39年頃	紙、インク、墨、鉛筆	28.5×23
鈴木賢二	花子(中国・朝鮮半島スケッチ)	1938-39年頃	紙、インク、墨、鉛筆	28×23
川島理一郎	南方の蘭花園	1940年代	カンヴァス、油彩	61×50.2

【戦闘を描く】

清水登之	江南戦跡	1938	カンヴァス、油彩	91×116.7
関谷陽	トーチカ攻撃	1930年代後半	カンヴァス、油彩	91×116.8
清水登之	突撃	1943	カンヴァス、油彩	130.5×162.2
刑部人	機関銃隊	1944	カンヴァス、油彩	130.5×161.3
長谷川春子	小婦国防	1943	カンヴァス、油彩	100×65.8

【復興の陰で】

鈴木賢二	スケッチ(母と子供たち)	1946年頃	紙、インク、鉛筆	35.6×26.8
鈴木賢二	スケッチ(帰還兵たち)	1946年頃	紙、インク、鉛筆	26.7×35.7
鈴木賢二	挿絵原画「ピンチヒッター続々登場！！」『労働戦線』1946年10月29日刊	1946	紙、インク、鉛筆、白絵具	26.3×36.9
鈴木賢二	挿絵原画「収穫の秋 もつと・もつと刈り取るのだ」『労働戦線』1946年11月5日刊	1946	紙、インク、鉛筆、白絵具	27.3×25.7
鈴木賢二	挿絵原画「火を付けるのは誰か？」『労働戦線』1946年11月19日刊	1946	紙、インク、鉛筆	27.3×25.6
新居広治	高萩にて1	1950	紙、木版	24.5×32.7
新居広治	高萩にて2	1950	紙、木版	24.3×33.2

新居広治	日立にて	1950	紙、木版	18.9×33.3
新居広治	炭坑1	1950	紙、木版	22.9×16.9
新居広治	職をうばわれた人々(B)	1950	紙、木版	22.8×32.5
池田龍雄	勲章	1955	紙、インク、水彩	37.7×29
池田龍雄	天使 化物の系譜シリーズ	1956	紙、インク、水彩	37.9×29.3
池田龍雄	花神 化物の系譜シリーズ	1956	紙、インク、水彩	37.7×29
池田龍雄	鉄仮面 化物の系譜シリーズ	1956	紙、インク	37.7×29

【繁栄の陰で】

尾藤豊	とられた土地	1960	カンヴァス、油彩	137.8×195.3
中島千波	草の主	1971	紙本着色	170×221
桂ゆき	マスク	1970年頃	板、油彩・紙	122×162
磯村敏之	1967—ベトナム	1967	カンヴァス、油彩	145.5×112.5
藤林叡三	停戦と窓	1973	カンヴァス、油彩	130×162
郭徳俊	フォードと郭(A)	制作年不詳	紙、リトグラフ	90×63
郭徳俊	フォードと郭(B)	1975	紙、リトグラフ	90×63
郭徳俊	レーガンと郭	1981	紙、シルクスクリーン	53×36.8
岸本清子	題名不詳(泣いて血を吐く…)	1970年代初め	綿布、アクリル、紙 コラージュ	127.5×157.2
横尾忠則	Measure ARCANA	1985	リトグラフ、シルクスクリーン	235.2×198.9
三島喜美代	COPY-NEWS PAPER-F	1980	陶、シルクスクリーン	13×43×28

■2階展示室の立体作品

デイヴィット・ナッシュ	捻箱	1982	木(ミヅナラ)	127×131×137
伊藤公象	収縮性小曲面体	1980年(1993年再制作)	陶、アクリル	61.5×107.3×130
篠原有司男	モーターサイクル・ママ	1973年	カートボード、ポリエステル樹脂	158×235×128

【伊東直子マイセン磁器コレクション】

マイセン磁器	色絵アモル像「ふたりのハートに火をつける」	1900年前後	磁	高17.6
マイセン磁器	色絵楽奏猿群像「猿のオーケストラ」	1766-18世紀末	磁	高16.5(22種23ヶ)
マイセン磁器	赤絵楽奏人物群像	1924-34年	磁	高29.6(4ヶ)
マイセン磁器	色絵プット像「夏と秋の寓意」	1770年頃	磁	高23.6×幅21.5
マイセン磁器	藍地金彩色絵花卉宮廷人物図植木鉢	19世紀末	磁	高28.2×21.3(2ヶ)
マイセン磁器	色絵燭台ポプリ壺付暖炉用センターピース	1782-90年頃	磁	57.2×32.8(2ヶ)

マイセン磁器	色絵ブット立像「漁師」	18世紀後半	磁	高14.3×幅23.3
マイセン磁器	黒地ベットガー炆器赤絵金彩人物図瓶	1710-15年頃	磁	12.5×10.3
マイセン磁器	色絵人物像「羊飼いと羊にのるブット」	18世紀後半	磁	高10.4×幅12.8
マイセン磁器	色絵金彩人物図蓋付双耳鉢、受皿	1725-30年頃	磁	鉢高9.1受皿径13.8
マイセン磁器	色絵神話人物像「ウェヌス、アドニスとクビド」	1750-60年代	磁	高15×幅14.4
マイセン磁器	色絵金彩人物図ティーポット	1735年頃	磁	高9.7×幅16
マイセン磁器	色絵花卉図ポブリ壺・アモル立像「着衣のアモル」・花飾り	1750-60年代	磁	高21×幅23.5
マイセン磁器	色絵人物図カップ&ソーサー	1730-40年代	磁	カップ高4.6×径7.7、ソーサー径13.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「大地の寓意 フローラ」	1760年頃	磁	高16×幅15
マイセン磁器	金彩樹下人物図カップ&ソーサー「金の中国人」	1730年頃	磁	カップ高4.5×径7.7、ソーサー径12.4
マイセン磁器	色絵ポブリ壺付群像「慈愛の寓意」	18世紀中頃	磁	高26×幅19
マイセン磁器	色絵花卉図輪花鉢	1730年代	磁	高4.5×径13
マイセン磁器	色絵梅鶉図輪花鉢	1774-1814年頃	磁	高5.2×径13.3
マイセン磁器	色絵東洋人坐像「ゆれるパゴダ像」	19世紀末	磁	17.9×18.5
マイセン磁器	色絵獅子昆虫花鳥図ズルコウスキー・オツィエルリーフ皿	1735-45年頃	磁	5.8×34.6
マイセン磁器	色絵花飾鳥ブット像鏡	19世紀中頃か後半	磁	130×80
マイセン磁器	色絵花飾田園人物図蓋付双耳ポブリ壺	19世紀後半	磁	高63.5×幅37
マイセン磁器	色絵貼花飾狩猟図鹿浮彫蓋付パンチボウル	19世紀後半	磁	37×30.7
マイセン磁器	色絵オシドリ像	1922年か23年	磁	高37×幅18.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「愛の束縛」	19世紀後半	磁	高31.7×幅34.1

□常設館以外の展示作品

■玄関ロビー

多田美波	周波数FL10-6874	1968	ステンレス、ミラーガラス	247×273
------	--------------	------	--------------	---------

■集会室前

島田忠恵	O & U	1972	ブロンズ、ステンレス	200×200×100
------	-------	------	------------	-------------

■屋外展示場(中庭)

ブールデル, エミール=アントワーン	ペネロペ	1907-12	ブロンズ	240×90×70
島田忠恵	餓鬼	1971	ブロンズ	350×280×100
高橋清	親和	1974	御影石	250×258×175
清水九兵衛	Affinityの継続-A	1976	アルミニウム	55×286×180
小林泰彦	インヴォケーション(祈り)	1981	ステンレス	224×68×57

杉浦康益	陶による石の群	1983	陶器	50×40×40(×12)
青木秀憲	[いずみ]“IZUMI”	1981	ステンレス	4.5×212×212
三木俊治	行列	1984	ブロンズ、御影石	25×800×10

■屋外彫刻

高橋清	Atlinemi(水の神)	1966	ブロンズ	90×67×58
飯田善国	星と人間の間	1972	ステンレス	1000×450×450
館野弘青	微笑	1974	ブロンズ	180×60×46
堀内正和	ジグザグ立方体	1974	ステンレス	106×216.5×106
関根伸夫	空相一円錐	1974	黒御影石	120×120×120
保田春彦	ある街の片隅、忘れられた祠	1974	花崗石、ステンレス	100×50×100
速水史朗	太陽の門	1978	マンナリー石	300×128×90
ディーコン, リチャード	カタツムリのように(A)	1987	アルミニウム、鋼鉄	520×680×560
手塚登久夫	梟の森 2002	2002	黒御影石、赤御影石	207×130×90

■アートリンクとちぎ2025

「壺からわかる！浮世絵超入門＋オドロキの超応用編」

会 期＝ 令和7(2025)年7月5日(土)～9月23日(日)【実開催日数 67日】
前期:7月5日(土)～8月17日(日)
後期:8月21日(木)～9月23日(火・祝)
主 催＝ 栃木市教育委員会、栃木市立美術館、栃木県立美術館
会 場＝ 栃木市立美術館 展示室A・B
出品点数＝ 総数104点(うち栃木県立美術館蔵62点)

国内外で人気の浮世絵の魅力を様々な切り口から紹介する展覧会。第壺部「壺からわかる！浮世絵超入門」では県ゆかりの日本画家・菊川京三が制作した美術専門学術誌『國華』掲載図版や、栃木市所蔵の石川常四郎コレクションから浮世絵の銘品を紹介。第弐部「オドロキの超応用編」では日本近現代の作家たちによる浮世絵を着想源とする作品の数々を紹介した。

担 当＝ 志田康宏(主任)
観覧者数＝ 3,718人(1日平均 55人)

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵館	展示期間
第壺部「壺からわかる！浮世絵超入門」							
『國華』掲載図版で学ぶ浮世絵							
1	菊川京三	湯女図(部分)	1934	木版	35.9×15.5	栃木県立美術館	前期
2	菊川京三	岩佐又兵衛 柿本人麻呂図	1943	木版	36.8×16.9	栃木県立美術館	後期
3	菊川京三	久隅守景 宇治橋屏風(部分)	1943	木版	19.8×27.5	栃木県立美術館	前期
4	菊川京三	菱川師宣「風俗画卷」より桶屋図	1950	木版	20.1×26.2	栃木県立美術館	後期
5	菊川京三	菱川師宣 美人図	1930	木版	23.8×29.2	栃木県立美術館	前期
6	菊川京三	英一蝶「雑画帖」のうち太神楽	1933	木版	23.6×25.5	栃木県立美術館	後期
7	菊川京三	鳥居清信 傘差し美人図	1925	木版	35.3×19.1	栃木県立美術館	前期
8	菊川京三	月岡雪鼎 傀儡廻図	1934	木版	35.4×15.6	栃木県立美術館	後期
9	菊川京三	宮川長亀 上野観桜図屏風(部分)	1933	木版	23.5×35.7	栃木県立美術館	前期
10	菊川京三	円山応挙 大夫図(部分)	1952	木版	30.0×12.2	栃木県立美術館	後期
11	菊川京三	円山応挙 猿廻図	1932	木版	35.7×20.7	栃木県立美術館	前期
12	菊川京三	鳥高斎栄昌 隅田川図巻(部分)	1953	木版	27.5×21.3	栃木県立美術館	後期
13	菊川京三	司馬江漢 駿州吉原駅図	1947	木版	23.1×22.8	栃木県立美術館	前期
14	菊川京三	司馬江漢 風俗人物図双幅(部分)	1952	木版	30.4×16.4	栃木県立美術館	後期
15	菊川京三	鳥居清満 四狂言図	1923	木版	36.1×18.4	栃木県立美術館	前期
16	菊川京三	鳥居清長 暫図	1933	木版	36.0×15.9	栃木県立美術館	後期

17	菊川京三	喜多川歌麿 納涼美人図	1928	木版	22.0×36.0	栃木県立美術館	前期
18	菊川京三	葛飾北斎 美人図	1948	木版	19.1×25.6	栃木県立美術館	後期
19	菊川京三	葛飾北斎 四季景物図巻より	1960	木版	30.3×20.3	栃木県立美術館	前期
20	菊川京三	葛飾北斎 鸞 垂桜	1948	木版	26.7×19.9	栃木県立美術館	後期
21	菊川京三	葛飾北斎 鮭と鼠	1954	木版	22.7×29.8	栃木県立美術館	前期
22	菊川京三	葛飾北斎 千絵の海 宮戸川長縄	1948	木版	19.1×26.0	栃木県立美術館	後期
23	菊川京三	東洲斎写楽 嵐龍蔵図	1947	木版	32.4×16.3	栃木県立美術館	前期
24	菊川京三	名古屋三左舞踊図	1930	木版	35.2×19.4	栃木県立美術館	後期

栃木市蔵 石川常四郎コレクションに見る浮世絵のさまざま

美人画

25	喜多川歌麿	御所車美人行列		大判錦絵三枚続	39.0×80.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
26	喜多川歌麿	風流子宝合		大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
27	菊川英山	美人画		大判錦絵縦二枚	78.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
28	溪斎英泉	今様五色染		大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
29	溪斎英泉	青楼立美人		大判錦絵縦二枚	78.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
30	歌川国貞	五勢楼 明石		大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
31	月岡芳年	風俗三十二相 めがさえさう		大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
32	月岡芳年	風俗三十二相 うれしさう		大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
33	月岡芳年	風俗三十二相 あぶなさう		大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
34	月岡芳年	風俗三十二相 おきがつきさう		大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)

芝居絵のさまざま

35	歌川広重	東都名所 二丁目芝居図		大判錦絵	27.0×39.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
36	喜多川歌麿	忠臣蔵八段目		大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
37	歌川国貞(三代豊国)	武蔵坊弁慶		大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
38	豊原国周	鏡獅子		大判錦絵三枚続	39.0×80.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
39	豊原国周	歌舞伎座所作中道成寺		大判錦絵三枚続	39.0×80.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
40	歌川国貞(三代豊国)	正月の路上の役者たち		大判錦絵三枚続	39.0×80.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)

41	歌川国貞（三代豊国）	女形櫻花競演	大判錦絵三枚続	39.0×80.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
----	------------	--------	---------	---------------	------------------

旅:難所を越える

42	歌川貞秀	源頼朝公大井川行列の図	大判錦絵三枚続	39.0×80.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
43	二代歌川広重	大井川蓮台渡之図	大判錦絵三枚続	39.0×80.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)

のにぎわい

44	楊洲周延	朧春花の夜桜	大判錦絵三枚続	39.0×80.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
45	歌川広重	両国納涼大花火	大判錦絵三枚続	39.0×80.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
46	楊洲周延	秋園菊花の盛	大判錦絵三枚続	39.0×80.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
47	歌川国貞（三代豊国）	東橋雪見の図	大判錦絵三枚続	39.0×80.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)

もののけ

48	歌川国貞（三代豊国）	岡崎宿の妖怪	大判錦絵三枚続	39.0×80.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
49	豊原国周	小間物屋才次郎 尾上菊五郎	大判錦絵豎二枚続	78.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
50	豊原国周	妖怪猫の精	大判錦絵三枚続	27.0×58.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)

移りゆく世

51	三代歌川広重	東京真景圖會 銀座 煉化石	大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
52	小林清親	向島桜	錦絵	27.0×39.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
53	歌川国利	東京名所之内不忍ノ池競馬会社開業之光景	大判錦絵三枚続	39.0×80.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
54	楊洲周延	全盛廓の賑い	大判錦絵三枚続	39.0×80.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
55	楊洲周延	束髪美人競	大判錦絵三枚続のうち一枚	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)

第貳部「オドロキの超応用編」

日英風景画対決 広重 vs. ターナー、そして鉄道の登場へ

56	歌川広重	名所江戸百景 霞かせき	大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
57	歌川広重	名所江戸百景 目黒爺が茶屋	大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
58	歌川広重	名所江戸百景 品川すさき	大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
59	歌川広重	五十三次名所図絵 保土ヶ谷	大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)

60	歌川広重	五十三次名所図絵 藤澤	大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
61	歌川広重	五十三次名所図絵 小田原	大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
62	歌川広重	五十三次名所図絵 鞠子	大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
63	歌川広重	五十三次名所図絵 桑名	大判錦絵	39.0×27.0(概寸)	栃木市(石川常四郎コレクション)
	J. M. W. ターナー『イングランド南岸のピクチャレスクな風景』より	1826年刊行	エングレーヴィング・エッチング	各25×32(概寸)	栃木県立美術館
64		マーゲイト、ケント			前期
65		ライ、サセックス			前期
66		ブライトヘルムストン、サセックス			前期
67		ポーツマス、ハンプシャー			前期
68		ルルワースの入江、ドーセットシャー			前期
69		ブリッドポート、ドーセットシャー			後期
70		ライム・リージス、ドーセットシャー			後期
71		プリマス・ドック、デヴォンシャー			後期
72		セント・マイケル山、コーンウォール			後期
73		イルフラクーム、デヴォンシャー			後期
	トマス・タルボット・ベリー『リヴァプール・アンド・アンド・マン チェスター鉄道の彩色風景』より	1831年刊行	アクアチント、彩色		栃木県立美術館
74		トンネル			前期
75		エッジヒルの乗車場			前期
76		切通し			前期
77		サンキー・ヴァレーの高架橋			前期
78		チャット・モス			前期
79		機関車と車両			後期
80		リヴァプール鉄道事務所			後期
81		リヴァプールからマンチェスター方面を望む			後期
82		レインヒルの橋			後期
83		パークサイド駅			後期
生き残る浮世絵					
84	木村荘八	歌妓支度	1930	油彩・カンヴァス 150×180.5	小杉放菴記念日光美術館

85	川島理一郎	舞妓	1954	油彩・カンヴァス	91.0×73.0	栃木県立美術館
86	川島理一郎	浮世絵の誘惑	1969	油彩・カンヴァス	117.0×91.0	栃木県立美術館
87	川上澄生	南蛮ぶり	1955	墨刷手彩色	52.0×72.5	栃木県立美術館
88	川上澄生	遊女と洋燈	1957	多色刷	29.0×26.0	栃木県立美術館
89	笹島喜平	八代目松本幸四郎の弁慶	1949	木版	29.0×26.0	栃木県立美術館
90	笹島喜平	海老蔵の濡髪長五郎	1948-51	木版	27.8×22.9	栃木県立美術館
91	深沢史朗	Time-C	1969	孔版	74.5×75.0	栃木県立美術館
92	深沢史朗	Mirror-A	1970	孔版	70.0×49.7	栃木県立美術館
93	深沢史朗	Sharaku and I 749	1974	孔版	56.0×56.0	栃木県立美術館
94	深沢史朗	Sharaku and I - Box A	1975	孔版	76.0×64.0	栃木県立美術館
95	深沢史朗	Sharaku and I - Box B	1975	孔版	76.0×62.5	栃木県立美術館
96	深沢史朗	Sharaku and I 76-3	1976	孔版	60.0×69.0	栃木県立美術館
97	橋本龍美	野火	1971	紙本着色	82.3×136.0	栃木県立美術館
98	アンディ・ゴーズ ワーザー	乙女峠より富士山を望む	1993	土と富士山の雪	75.5×56.0	栃木県立美術館
99	アンディ・ゴーズ ワーザー	滝ヶ原より富士山を望む	1993	土と富士山の雪	75.5×56.0	個人
100	アンディ・ゴーズ ワーザー	ミュアーシャリッチよりベン・ネ ヴィスを望む	1993	土とベン・ネヴィ スの雪	75.5×56.0	栃木県立美術館
101	アンディ・ゴーズ ワーザー	トーランディよりベン・ネヴィスを 望む	1993	土とベン・ネヴィ スの雪	75.5×56.0	個人
102	福田美蘭	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	1996	オフセット	29.6×41.0	栃木県立美術館
参考出品		『國華』第724号	1952			栃木県立美術館
参考出品		『國華』第824号	1960			栃木県立美術館

「生きものづくし 会いに行こう、絵の中へ」

会 期＝ 令和7(2025)年8月2日(土)～8月31日(日)【実開催日数 25日】
主 催＝ 小山市立車屋美術館、栃木県立美術館
会 場＝ 小山市立車屋美術館
出品点数＝ 総数22点(うち栃木県立美術館蔵11点)

幕末から現代までに活躍した栃木ゆかりの画家たちによる、生きものを描いた作品を特集した展覧会。日本画、洋画、版画などバラエティーに富んだ絵画作品を紹介した。志田主任によるギャラリー・トークを開催。

担 当＝ 志田康宏(主任)
観覧者数＝ 1,738人(1日平均70人)

No.	作者名	作品名	制作年	材質技法	寸法(cm)	所蔵館
1	五百城文哉	春日山春景図(桃源図)	1890年頃	油彩・カンヴァス	39.0×79.0	栃木県立美術館
2	小杉放菴	金太郎遊行	1944	油彩・カンヴァス	150.0×136.0	栃木県立美術館
3	清水登之	マドリッドの散歩道	1925	油彩・カンヴァス	99.5×114.5	栃木県立美術館
4	清水登之	シャ・ノワール	1926	油彩・カンヴァス	80.5×53.5	栃木県立美術館
5	橋本邦助	猫と螺鈿の箆笥		油彩・カンヴァス	80.3×65.0	栃木県立美術館
6	橋本邦助	兎		油彩・カンヴァス	37.9×45.3	栃木県立美術館
7	荒井寛方	孔雀明王	1920年代	絹本着色	141.8×40.6	栃木県立美術館
8	石川寒巖	秋晴	1925	紙本着色	102.5×147.5	栃木県立美術館
9	石川寒巖	孔雀図	1930	絹本着色	161.7×61.5	栃木県立美術館
10	小室翠雲	瑞西所見	1931	紙本着色	67.5×112.7	栃木県立美術館
11	川上澄生	イソップ物語	1947	墨刷、紙	各18.5×13.0	栃木県立美術館
12	田崎草雲	十六羅漢図		絹本着色	130.8×45.8	草雲美術館
13	田崎草雲	濠梁逸趣図		絹本着色	141.8×54.2	足利市民文化財団
14	田崎草雲	桃花乳鳩図	明治時代	絹本着色	162.2×42.5	草雲美術館
15	田崎草雲	朝陽鳴鳳図	明治時代	絹本着色	113.7×41.8	草雲美術館
16	田崎草雲	龍図	1868年頃	絹本着色	149.4×64.5	草雲美術館
17	田崎草雲	昆虫画帖		紙本着色	11.5×8.4	草雲美術館
18	田崎草雲	草蟲冊		紙本着色	34.0×19.0	草雲美術館
19	高久靄厓	孔雀図	1821	紙本着色	135.0×55.5	上野記念館
20	高 隆古	高砂百鶴百亀図	江戸時代	絹本着色	各124.0×41.3	上野記念館
21	椿 椿山	魚楽図	1836	絹本着色	70.6×33.8	上野記念館
22	秋山佳奈子	山羊	2024	アクリル、木	92.5×118.0×81.0 92.5×134.0×81.0	個人蔵

「郷愁の風景 暮らしの美」

会 期＝ 令和7(2025)年12月4日(木)～12月15日(月)【実開催日数 11日】
主 催＝ 真岡市教育委員会、栃木県立美術館
会 場＝ 久保記念観光文化交流館 美術品展示館
出品点数＝ 27点

栃木県立美術館収蔵作品より、大谷や益子の郷愁を誘う風景や工芸を紹介。大城(主任)によるギャラリートークを開催。

担 当＝ 鈴木さとみ(主任研究員)、大城茉里恵(主任)
観覧者数＝ 760人(1日平均 69人)

No.	作者名	作品名	制作年	材質技法	寸法	所蔵館
1	内田進久	残照	1947	紙、エッチング	29.6×36.4	栃木県立美術館
2	新居広治	古い校舎(宇大)	1958	紙、木版	28.2×21.8	栃木県立美術館
3	高橋由一	東北新道石版画 栃木県庁の図	1884	絹、石版画、手 彩色	21.9×27.6	栃木県立美術館
4	高橋由一	東北新道石版画 栃木県那須郡三島村栃木県 下諸新道開道式場及び場上よ り肇耕社事務所を望む図	1884	絹、石版画、手 彩色	21.9×27.6	栃木県立美術館
5	高橋由一	東北新道石版画 栃木県那須郡大原間下中野 村新道の内那珂川に架する橋 梁の図	1884	絹、石版画、手 彩色	21.9×27.6	栃木県立美術館
6	高橋由一	東北新道石版画 栃木県塩谷郡塩原村新道の 内全村に入る坂上より關谷村 を望む図	1884	絹、石版画、手 彩色	21.9×27.6	栃木県立美術館
7	高橋由一	東北新道石版画 栃木県塩谷郡関谷村新道の 内梵天阪の図	1884	絹、石版画、手 彩色	21.9×27.6	栃木県立美術館
8	高橋由一	東北新道石版画 栃木県塩谷郡横川村男鹿川 に架する桥梁の図	1884	絹、石版画、手 彩色	21.9×27.6	栃木県立美術館
9	高橋由一	東北新道石版画 栃木県那須郡薄葉村新道ノ内 帯川に架する桥梁及び切り割 りを北より望む図	1884	絹、石版画、手 彩色	21.9×27.6	栃木県立美術館
10	高橋由一	東北新道石版画 栃木県下都賀郡野木駅新道よ り筑波山を望む図	1884	絹、石版画、手 彩色	21.9×27.6	栃木県立美術館
11	濱田庄司	鉄絵茶碗	1937－45年 頃	陶	8.5×12.5	栃木県立美術館
12	濱田庄司	黒彫絵茶碗	1937－45年 頃	陶	10.5×11.5	栃木県立美術館

13	濱田庄司	鉄絵文打水指	1937－45年頃	陶	19.5×19	栃木県立美術館
14	濱田庄司	鉄釉紋打抜絵花瓶	1940年頃	陶	26×21.8	栃木県立美術館
15	内田進久	窯焼き	1949	紙、エッチング	33×44.6	栃木県立美術館
16	内田進久	益子の轆轤場(屋内)	1949	紙、エッチング	16.4×27.4	栃木県立美術館
17	鈴木賢二	益子焼薬がけ之図	1956	紙、木版	33.3×24.3	栃木県立美術館
18	鈴木賢二	益子焼作り之図	1956年頃	紙、木版	33.3×24.3	栃木県立美術館
19	鈴木賢二	益子焼絵付之図	1956年頃	紙、木版	33.3×24.3	栃木県立美術館
20	新居広治	益子のかま場(A)	1955	紙、木版	30.2×41.3	栃木県立美術館
21	小口一郎	思川(2)	1954	紙、木版多色刷	27×37.8	栃木県立美術館
22	小口一郎	はぜかけ	1954	紙、木版多色刷	27×20	栃木県立美術館
23	川上澄生	大谷秋景 1	1928	紙、鉛筆、水彩	14.4×18.8	栃木県立美術館
24	川上澄生	大谷秋景 2	1928	紙、鉛筆、水彩	14.4×18.8	栃木県立美術館
25	川上澄生	大谷石切場 1	1928	紙、鉛筆、水彩	18.8×14.3	栃木県立美術館
26	内田進久	石切場	1936	紙、エッチング	27.4×21.4	栃木県立美術館
27	内田進久	大谷風景 No.5	1941	紙、エッチング	30.2×36	栃木県立美術館

「工業と絵画」

会 期＝ 令和8(2026)年1月24日(土)～3月8日(日)【実開催日数 38日】
主 催＝ 佐野市立吉澤記念美術館、栃木県立美術館
会 場＝ 佐野市立吉澤記念美術館
出品点数＝ 総数46点(うち栃木県立美術館蔵31点)

栃木県立美術館が所蔵する工鉱業をめぐる景観を描いた絵画・版画作品を紹介した展覧会。会期中、清水(研究員)によるギャラリートークを開催。

担 当＝ 清水友美(研究員)
観覧者数＝ 741人(1日平均 19人)

No.	作者名	作品名	制作年	材質技法	寸法	所蔵館
エントランス						
1	伊藤若冲[原本]	菜蟲譜(複製) うど、れんこん 周辺	2015 [1790年頃]	紙本印刷、一卷 [絹本着色、一 巻]	31.8×1095.1	佐野市立吉澤記念美術 館
2	棚町宜弘	白亜の拠	2025	紙本着色	145.5×97	作家蔵
3	荻原信幸	廃工場のある風景	1988	油彩、カンヴァス	112×145.5	個人蔵(吉澤コレクシ ョン)

第1室 土から造る

4	川島理一郎	スペイン風景	1915年頃	紙、水彩	25×41	栃木県立美術館
5	新居広治	益子のかま場(A)	1955	紙、木版	30.2×41.3	栃木県立美術館
6	鈴木賢二	益子焼作り之図	1956年頃	紙、木版	33.2×24.3	栃木県立美術館
7	鈴木賢二	益子焼絵付之図	1956年頃	紙、木版	33.3×24.1	栃木県立美術館
8	鈴木賢二	益子焼薬がけ之図	1956	紙、木版	33.3×24.3	栃木県立美術館
9	清水登之	陶土の丘	1932	紙、木版	121.5×228	栃木県立美術館
10	羽石光志	土師部	1955	紙本着色	142×183	栃木県立美術館
11	内田進久	益子の轆轤場(屋内)	1949	紙、エッチング	16.4×27.4	栃木県立美術館
12	内田進久	益子の轆轤場	1949	紙、エッチング	29.7×36.4	栃木県立美術館
13	内田進久	窯焼き	1949	紙、エッチング	33×44.6	栃木県立美術館
14	内田進久	窯出し	1950	紙、エッチング	36.2×28.3	栃木県立美術館
15	内田進久	益子の窯	1948	紙、エッチング	33×44.6	栃木県立美術館

第2室 併催:吉澤コレクションの陶芸 石灰釉と表現

16	加守田章二	壺	1973	陶磁	径18.5×高23.4	佐野市立吉澤記念美術 館寄託(吉澤コレクシ ョン)
17	ルーシー・リー	ドロマイト釉鉢	1970年頃	陶磁	径25.5×高18.0	佐野市立吉澤記念美術 館寄託(吉澤コレクシ ョン)
18	島田文雄	彩磁椿文水指	2003	陶磁	径13.5×高16.5	佐野市立吉澤記念美術 館寄託(吉澤コレクシ ョン)

19	田村耕一	青磁椿文壺	1983	陶磁	径21.9×高23.4	佐野市立吉澤記念美術館(吉澤コレクション)
20	板谷波山・鹿島一谷	氷華磁葡萄彫文水差 附属: 鑿金彩栗鼠打出文南鐐之蓋	1962年頃	陶磁・彫金	径21.6×高16.8	佐野市立吉澤記念美術館(吉澤コレクション)
21	板谷波山	椿文茶盃	1959	陶磁	径8.4×高14.7	佐野市立吉澤記念美術館寄託(吉澤コレクション)
22	板谷波山	彩磁柘榴文香炉	大正後期	陶磁	径9.1×高7.6	佐野市立吉澤記念美術館寄託(吉澤コレクション)
23	板谷波山	葆光彩磁牡丹文様花瓶	大正中期～後期	陶磁	径21.3×高24.8	佐野市立吉澤記念美術館(吉澤記念美術館)
24	板谷波山	淡黄磁牡丹文花瓶	1961	陶磁	径15.3×高27.8	佐野市立吉澤記念美術館寄託(吉澤コレクション)
25	平福百穂	十二支より「午」		紙本墨画淡彩	22.6×33.0	佐野市立吉澤記念美術館寄託(吉澤コレクション)
26	霜鳥巴凌画 精行舎印行	大日本博覧図栃木県之部 芳澤兵左石灰工場	1890	銅版画	21.0×32.0	個人蔵(吉澤コレクション)
27	田村進一	葛生全景	1978	カンヴァス、油彩	70.0×80.0	個人蔵(吉澤コレクション)

第3室 鉱山と工場の風家

28	鷺田新太	引込線のある工場	1970	油彩、墨	65.1×80.3	栃木県立美術館
29	鷺田新太	鬼哭廃坑(足尾銅山所見 その2)	1972	油彩、墨	65.5×80.5	栃木県立美術館
30	海老原友忠	精錬所遠望	1971	紙、鉛筆、水彩	55×184.6	栃木県立美術館
31	海老原友忠	渡良瀬谷中村跡を探し求めて	1981	紙、鉛筆、水彩	25×68.6	栃木県立美術館
32	清水登之	南方地下資源	1943	カンヴァス、油彩	141×288	栃木県立美術館
33	棚町宜弘	過日	2017	紙本(西嶋和紙)／墨、銀、錫箔、岩絵具、天然染料	181.1×540	栃木県立美術館
34	川上澄生	大谷石切場1	1928	紙、水彩	19.4×14.4	栃木県立美術館
35	川上澄生	大谷石切場2	1928	紙、水彩	14.7×19.4	栃木県立美術館
36	内田進久	石切場	1936	紙、エッチング	27.4×21.4	栃木県立美術館
37	内田進久	大谷の採石図	1936年頃	紙、エッチング	28.3×22	栃木県立美術館
38	李禹煥	採石場の思い出Ⅱ	1984	アルシュ紙、リトグラフ	53×68	栃木県立美術館

第4室 工場と人々

39	李平凡	失業者	1950	紙、木版	21×30.3	栃木県立美術館
40	新居広治	失業者	1950	紙、木版	21×30.3	栃木県立美術館
41	新居広治	炭坑2	1950	紙、木版	23.9×33.4	栃木県立美術館

42	新居広治	工場裏	1960年代	モノタイプ	38.3×45.3	栃木県立美術館
43	内田進久	工場裏	1950	紙、エッチング	29.3×35.8	栃木県立美術館
44	鈴木賢二	休憩	1958年頃	紙、木版	80×91	栃木県立美術館
45	作者不詳	工場風景(No.650)	1900年代 前半	カンヴァス、油彩	24.4×51.6	栃木県立美術館
46	川原田徹	風力発電装置つき水力かぼ ちや浄土	1980	紙、エッチング	40×36.5	栃木県立美術館

■ 諸 表

1. 展覧会事業

(1) 企画展

No.	展覧会名	会期	実日数 (日)	出品点 数(点)	観覧者数 (人)	1日平均 (人)	内容
1	谷内六郎展 昭和ノスタルジ の世界へ	4月19日(土)～ 6月15日(日)	50	234	7,788	156	昭和という時代に生きた子どもたちの生活や社会の変化を独自のタッチで表現した画家・谷内六郎の作品展。横須賀美術館が所蔵する多数の作品から厳選した『週刊新潮』表紙絵の原画約120点のほか、小説の装丁や絵本の原画など、ノスタルジックな作品の数々を紹介。
2	親愛なる友フィン セント 動くゴッホ展 デジタルアートは 実物を越えるのか	6月28日(土)～ 9月 7日(日)	62	24	57,984	935	19世紀フランスで活動したポスト印象派を代表する画家フィンセント・ファン・ゴッホの残した言葉を紐解きながら、その代表作を「動く絵画」として映像化。ハリウッド映画作品等を手がけるデジタルアート界の異オスタジオ[MDK]が先進のデジタル技術によって命を吹き込んだ作品を紹介する「デジタルファインアート」展。
3	第79回栃木県芸術 祭美術展	9月20日(土)～ 10月 2日(木)	11	249	2,610	237	洋画・彫刻・工芸(共催: 県、県文化協会)
4	宮城県美術館コレ クション 絵本のひみつ展	10月25日(土)～ 12月21日(日)	50	180	13,686	274	宮城県美術館所蔵の「こどもものとも」絵本原画コレクションを紹介。山脇百合子「ぐりとぐらのえんそく」、林明子「まほうのえのぐ」をはじめとする絵本原画190点を展示。原画だからこそ味わえる、描き手のタッチや画材の質感にも着目し、「絵本のひみつ」を探る。

No.	展覧会名	会期	実日数 (日)	出品点 数(点)	観覧者数 (人)	1日平均 (人)	内容
5	僕はなに色 渡辺豊重展 いろ、かたち、ひかりの冒険	令和8(2026)年 1月10日(土)～ 3月22日(日)	62	193	3,779	61	生涯にわたりユーモアある芸術世界を創造してきた美術家・渡辺豊重(1931-2023)の追悼展。川崎市で長らく活動したのち、2000年頃には那珂川町に構えたアトリエに拠点を移し、更なる表現の冒険へと踏み出す。絵画・版画・彫刻からパブリックアートに及ぶ豊かな画業を顕彰。
計			235	880	85,847	365	

(2) 常設展

No.	展覧会名	会期	実日数 (日)	出品点 数(点)	観覧者数 (人)	1日平均 (人)	内容
1	コレクション展Ⅰ 見て、聞いて、美術館	4月19日(土)～ 6月15日(日)	50	100	8,204	164	作品から聞こえてきそうな音や声に着目し、本県出身声優による音声ガイドを楽しみながら鑑賞。
2	コレクション展Ⅱ 言の葉でみる美術	6月28日(土)～ 10月2日(木) ※9月8日(月)～ 19日(金)は休館	73	136	59,613	817	文字を取り入れた作品、詩や物語とまじりあう作品、作家の言葉等を通じて、「言葉」と「美術」による豊かな創造の世界を堪能。
3	コレクション展Ⅲ 画題が意味するもの	10月25日(土)～ 12月21日(日)	50	137	7,450	149	美術作品につけられた画題に着目しながら、そこに込められた物語やモチーフの意味、作者の思いや意図を探る。
4	コレクション展Ⅳ 激動の時代—昭和の絵画—	令和8(2026)年 1月10日(土)～ 3月22日(日)	62	105	4,419	71	戦争・復興・経済成長と、社会と美術の流れが大きく変化した昭和時代を絵画でたどる。
計			235	478	79,686	339	

(3) アートリンクとちぎ2025

No.	展覧会名	出品点数(点)	実施館・会期	観覧者数(人)	1日平均(人)	内容
1	杓からわかる！浮世絵超入門＋オドロキの超応用編	62	栃木市立美術館 7月5日(土)～9月23日(日) (67日間)	3,718	55	国内外で人気の浮世絵の魅力を様々な切り口から紹介する展覧会。
2	生きものづくり 会いに行こう、絵の中へ	11	小山市立車屋美術館 8月2日(土)～8月31日(日) (25日間)	1,738	70	幕末から現代に至るまでの栃木ゆかりの画家たちによる、生きものを描いた作品を特集した展覧会。
3	郷愁の風景 暮らしの美	27	久保記念観光文化交流館 美術品展示館 12月4日(木)～12月15日(月) (11日間)	760	69	大谷や益子の郷愁を誘う風景や工芸を紹介する展覧会。
4	工業と絵画	31	佐野市立吉澤記念美術館 2026年1月24日(土)～3月8日(日) (38日間)	741	19	工鉦業をめぐる景観を描いた絵画・版画作品を紹介する展覧会。
計				6,957	53	

2. 普及教育事業

(1) 普及教育プログラム(企画展・常設展関係)

No.	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数 (人)	内容
1	学芸員によるギャラ リー・トーク	講師：志田康宏 (当館学芸 員)、谷内広美 (谷内氏長女・ 4月19日のみ)	4月19日(土)	企画展示室	47	「谷内六郎展」にあわせて 実施
			4月27日(日)		20	
			5月18日(日)		36	
			6月1日(日)		35	
2	親子ワークショッ プ 《アルルの寝室》を つくろう	講師：青木世一 (造形作家)	7月26日(土)	集会室	33	「動くゴッホ展」にあわせて 実施
3	講演会「私たちはど んなメディアを通じて ファン・ゴッホとふれ てきたの？」	講師：圀府寺司 (大阪大学名誉 教授)	8月30日(土)	集会室	72	
4	学芸員によるギャラ リー・トーク	講師：清水友美 (当館学芸員)	10月25日(土)	企画展示室	23	「絵本のひみつ展」にあわ せて実施
			11月15日(土)		30	
			12月20日(土)		35	
5	ワークショップ アルミ板でどうぶつ のオブジェをつくろう	講師：あずみ虫 (絵本作家・イラ ストレーター)	11月 2日(日)	集会室	25	
6	講演会「原画展でみ る絵本表現のひみつ」	講師：菅野仁美 (宮城県美術館 学芸員)	8月11日(日)	集会室	54	
7	絵本の読み聞かせ 会	協力：栃木子ども の本連絡会	11月22日(土)	集会室	63	
			12月7日(日)		62	

No.	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数 (人)	内容
8	学芸員によるギャラ リー・トーク	講師:大城茉莉 恵、武関彩瑛(当 館学芸員)、渡辺 奈々(遺族、3月7 日のみ)	1月10日(土)	企画展示室	23	「渡辺豊重展」にあわせて 実施
			2月 7日(土)		15	
			3月 7日(土)		28	
9	わくわくイベント たちあがれ!《モク モク》	講師:大城茉莉 恵、武関彩瑛(当 館学芸員)	1月17日(土)	企画展示室	20	
			2月14日(土)		31	
			3月14日(土)		15	
			3月22日(日)		18	
10	対話型ワークショッ プ 《さまざま》に対話し てみよう	講師:大城茉莉 恵、武関彩瑛(当 館学芸員)	1月24日(土)	企画展示室	9	
11	親子ワークショップ 怒ったぞ! 鬼をつ くって、鬼になろう!	講師:大城茉莉 恵、武関彩瑛(当 館学芸員)	2月 1日(日)	企画展示室	18	
12	音声ガイド	ナビゲーター:永 岡由貴(役者、ナ レーター)	会期中			
13	美術館スタンプ・ラ リー	自由観覧	通年	企画展示室 常設展示室		幼・保・小・中学生だけ ではなく、大高生、一般の美 術館利用を促進 年間に5回以上の利用者 に記念品贈呈
14	作品ガイド 多言語化文字解説	主要作品	通年	常設展示室		タブレット貸出しによる作品 解説を提供
15	とちぎデジタルミュ ージアム「SYUGYO KU」音声ガイド	ナビゲーター:古 川登志夫、緑川 光(声優)	通年	常設展示室		来館者がQRコードを読み 込む方法で実施

No.	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数 (人)		内容
16	県美アートクルーズ	講師:当館学芸員	通年	企画展示室 常設展示室			県公用バスを利用して、申し込みをした小・中学校、高校まで送迎を行い、美術館鑑賞教育を支援
	宇都宮市立泉ヶ丘 中学校	動くゴッホ展	7月25日(金)	企画展示室 常設展示室	生徒	27	
					引率	2	
	栃木県立茂木高等学校	動くゴッホ展	8月8日(金)	企画展示室 常設展示室	生徒	19	
					引率	1	
	飛鳥未来さずな高等学校	絵本のひみつ展	10月30日(木)	企画展示室 常設展示室	生徒	48	
					引率	1	
	宇都宮市立雀宮東 小学校	絵本のひみつ展	12月9日(火)	企画展示室 常設展示室	生徒	45	
					引率	3	
	大田原市立大田原 中学校	絵本のひみつ展	12月16日(火)	企画展示室 常設展示室	生徒	22	
					引率	8	

(2) 普及教育プログラム

No.	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数 (人)	内容
1	先生のための美術館活用術	講師：当館普及スタッフ	随時	会議室		教職員を対象に美術鑑賞教育のさまざまな方法を提案、指導法を協議。
2	アートラウンジ さくら塾	監修者： 鈴木武雄(作新学院高等学校美術デザイン科非常勤講師) 名取初穂(國學院大學栃木短期大学教授) 花田千絵(作新学院大学女子短期大学部教授) 本田悟郎(宇都宮大学共同教育学部美術分野准教授) 吉田利雄(文星芸術大学立体分野教授)	6月8日(日)	集会室	126	《ぴかぴかアクセサリーを作ろう》 協力：作新学院高等学校美術デザイン科
			7月20日(日)	集会室	90	《紙で表現～もこもこ・ふわふわ～》 協力：宇都宮大学共同教育学部
			8月17日(日)	集会室	98	《シルエット・ドローイング》 協力：作新学院高等学校美術デザイン科
			11月9日(日)	集会室	50	《スマホでコマ撮りアニメを作ろう》 協力：作新学院高等学校美術デザイン科
			12月14日(日)	集会室	81	《いろいろ貼り絵》 協力：作新学院大学女子短期大学部
			1月18日(日)	集会室	57	《石膏を使って反転レリーフを作ろう》 協力：文星芸術大学
			2月22日(日)	集会室	76	《ファンタスティック☆プラスチックーMyエコビーズ宝箱ー》 協力：國學院大學栃木短期大学
3	美術館ふしぎ発見！	講師：当館普及スタッフ	5月6日(火・祝)	常設展示室	27	美術館の作品だけでなく建物や施設を紹介。
4	親と子のための美術鑑賞教室	講師：当館普及スタッフ	11月23日(日・祝)	常設展示室 集会室	14	親子を対象としたミニワークショップ付鑑賞会。
			令和7(2025)年 2月15日(日)		6	
5	夏休みワークショップ 「大谷石を使って、 幻想生物の化石標本をつくろう！」	講師：佐野藍(彫刻家)	7月27日(日)	集会室	25	大谷石を割って・削って色を塗ってオリジナルの幻想生物の化石標本を制作。

No.	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数 (人)	内容
6	夏休みこども企画 美術館クイズ探検	講師：当館普及 スタッフ	8月3日(日)	常設展示室	22	クイズを解きながら常設展 示を解説。学芸員実習生と の協働。
7	大人の図工室 「伝統と革新 岩絵具 のいまを知る！」	講師：菊地武彦 (画家・多摩美術 大学教授)	11月16日(日)	集会室	14	金属を原料とした岩絵具と 樹脂から生まれた膠(にか わ)と水彩絵具を併用し制 作。
8	ママパパ鑑賞応援 デー	講師：当館学芸 員	8月24日(日)	常設展示室	44	未就学児を連れた家族を 対象に、クイズやゲーム、 触れる鑑賞ツール等を用 意して、学芸員が鑑賞をサ ポート。
			8月31日(日)		80	
			2月8日(日)		7	

(3) 学校への対応ー1 社会見学等

No	事業名	実施期日	参加者数(人)
1	宮っ子チャレンジ・ウィーク	7月2日(水)～4日(金)	2

(4) 学芸員実習

No	事業名	実施期日	参加者数(人)	所属大学
1	学芸員実習	7月29日(火)～8月3日(日)	4	群馬県立女子大学、昭和女子大学大学院、十 文字学園女子大学、中央大学

(5) 社会教育への対応

No	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者 数(人)
1	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	講師：鈴木さとみ (主任研究員)	7月17日(木)	栃木県シルバー大学校 南校	86
2	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	講師：武関彩瑛(主任)	9月2日(火)	栃木県シルバー大学校 中央校	135
3	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	講師：大城茉里恵(主任)	9月12日(金)	栃木県シルバー大学校 中央校	73
4	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	講師：志田康宏(主任)	9月3日(水)	栃木県シルバー大学校 北校	58

(6) 教育関係者との連携事業

No	事業名	実施期日	実施会場	参加者数(人)	備考
1	あーとネット・とちぎ 月例会	4月27日(日)	会議室	15	
2	あーとネット・とちぎ 月例会	5月18日(日)	会議室	11	
3	あーとネット・とちぎ 月例会	6月29日(日)	会議室	13	
4	あーとネット・とちぎ 月例会	7月20日(日)	会議室	14	
5	サマーミーティング	8月23日(土)	集会室	32	
7	あーとネット・とちぎ 月例会	9月28日(日)	会議室	11	
8	あーとネット・とちぎ 月例会	10月26日(日)	会議室	11	
9	あーとネット・とちぎ 月例会	11月30日(日)	会議室	14	
10	あーとネット・とちぎ 月例会	1月18日(日)	会議室	11	
11	あーとネット・とちぎ 月例会	2月8日(日)	会議室	9	
12	あーとネット・とちぎ 月例会	3月15日(日)	会議室	13	
計				154	

3. 所蔵作品集計表

	令和7年度新収蔵作品点数 ()内は所蔵総点数				
種別	購入	寄贈	保管転換	管理項目換	計
日本画	0 (113)	41 (386)	0 (20)	0 (1)	41 (520)
油彩画等	0 (340)	13 (441)	0 (13)	0 (0)	13 (794)
水彩・素描	0 (129)	41 (733)	0 (1)	0 (0)	41 (863)
版画	0 2261	23 (2,423)	0 (0)	0 (3)	23 (4,687)
写真・映像	0 (60)	0 (71)	0 (0)	0 (6)	0 (137)
彫刻・立体	0 (97)	0 (88)	0 (1)	0 (1)	0 (187)
工芸	0 (186)	6 (549)	0 (9)	0 (0)	6 (744)
書	0 (5)	3 (18)	0 (1)	0 (0)	3 (24)
その他(版木・二次資料等)	0 (7)	1 (1,778)	0 (8)	0 (0)	1 (1,793)
計	0 3198	128 (6,487)	0 (53)	0 (11)	128 (9,749)

水彩・素描には菊川京三の模写287点を含む。

その他には峰村北山資料86点を含む。

上記以外に基金財産として令和5年度取得のアルフレッド・シスレー《冬の夕日(サン＝マメスのセーヌ河)》を含む油彩画等3点を収蔵。

※令和6年度までの集計表に一部誤記があったため、修正した数字を示した。

4. 令和7年度美術館利用者数

No.	事業名	人数(人)	内訳	人数 (人)
1	展覧会事業	172,490	企画展	85,847
			常設展	79,686
			アートリンク(館外展)	6,957
2	普及教育事業	2,217	普及教育プログラム(企画展関係) ※スタンプラリー参加者数は除く	712
			普及教育プログラム(常設展・普及分館)	817
			学校への対応(社会見学、社会体験学習の受入)	178
			学芸員実習の受入	4
			社会教育への対応(栃木県シルバー大学 校への出講、合計4回、数字は受講者数)	352
			教育関係者との連携事業(アートネットとちぎ)	154
計		174,707		

■令和7(2025)年度新収蔵美術資料

寄贈美術資料

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	登録番号
日本画							
1	牧野牧陵	1805-1884	出開帳図(神楽一万度御旅)	1881	紙本淡彩	155.7×91.7	6028
2	幕田青雲	1864-	雪景山水図	1913	紙本着色	112×40.6	6029
3	高野耕雨	1869-1933	秋景山水図	1911	紙本着色	110×42.6	6030
4	池上秀畝	1874-1944	南天に鶴図		紙本着色	116×41.4	6031
5	松林桂月	1876-1963	松下雙鶴図		紙本着色	120×140	6032
6	荒井寛方	1878-1945	蝦図		紙本着色	25×40	6033
7	岡田蘇水	1879-1942	瀑布図		紙本着色	103×41.4	6034
8	富山香邨	生没年不詳	牧童図	1919	紙本着色	120.5×42.2	6035
9	富山香邨	生没年不詳	夏雨初晴図	1919	紙本着色	122.3×42.3	6036
10	富山祥雲	1880-?	老松鶴亀図	1921	絹本着色	129.5×40.9	6037
11	村上雲暉	1881-?	高砂図	1922	紙本着色	123.5×42	6038
12	村上雲暉	1881-?	恵比寿大黒天図	1924	紙本着色	103×41.4	6039
13	福田浩湖	1883-1959	雪景山水図	1917	紙本着色	112×40.6	6040
14	三井萬里	1886-1961	絵踏		絹本着色	167×103	6041
15	山本暁邦	1887-?	月夜春景図	1919	紙本着色	126.8×41.3	6042
16	猪巻清明	1894-1974	梅に竹雀図		紙本着色	130×31	6043
17	猪巻清明	1894-1974	藤に燕図		紙本着色	113.5×35.5	6044
18	猪巻清明	1894-1974	布袋騎牛図		紙本着色	117.5×36	6045
19	猪巻清明	1894-1974	菊に雀図		紙本着色	116×30.3	6046
20	猪巻清明	1894-1974	月に鴨図		紙本着色	115×36	6047
21	島多訥郎	1898-1983	湖上清風		紙本着色	42.2×53.5	6048
22	島多訥郎	1898-1983	潮音		紙本着色	45×33.5	6049
23	島多訥郎	1898-1983	山		紙本着色	25.6×22.3	6050
24	島多訥郎	1898-1983	海岸風景		紙本着色	39.5×60	6051
25	島多訥郎	1898-1983	花		紙本着色	33×26	6052
26	島多訥郎	1898-1983	柘榴(ザクロ)		紙本着色	26.5×32.5	6053
27	島多訥郎	1898-1983	森		紙本着色	25.3×22.4	6054
28	島多訥郎	1898-1983	木蓮(モクレン)		紙本着色	37×37.5	6055

29	島多訥郎	1898-1983	菖蒲(ショウブ)		紙本着色	44×59	6056
30	島多訥郎	1898-1983	兎		紙本着色	40.2×52.5	6057
31	島多訥郎	1898-1983	静物		紙本着色	27×24	6058
32	島多訥郎	1898-1983	伊勢海老		紙本着色	27×24	6059
33	島多訥郎	1898-1983	鳳仙花(ホウセンカ)		紙本着色	27×24	6060
34	荒川晃雲	1900-1968	水郷潮来十二橋所見	1957	絹本着色	50×51	6061
35	荒川晃雲	1900-1968	百蛙百戯之図	1958	紙本着色	140×33	6062
36	荒川晃雲	1900-1968	鯉図		絹本着色	44×51	6063
37	荒川晃雲	1900-1968	菊花図		絹本着色	43.6×51.6	6064
38	荒川晃雲	1900-1968	楽三昧帖	1965-67	紙本着色	30.4×21.3	6065
39	米陀寛	1917-2005	牛		紙本着色	53×80.5	6066
40	山崎眞二	1956-2001	響	1999	紙本着色	215×170	6067
41	山崎眞二	1956-2001	耀	2001	紙本着色	170×215	6068

油彩画等

42	大沢昌助	1903-1997	灰色の構成	1991年	油彩・カンヴァス	53×45.5	6069
43	刑部人	1906-1978	無題(カーネーション)	1942年	油彩・カンヴァス	33.5×24.5	6070
44	長野たみ子	1928-	街	1951	油彩・カンヴァス	172.3×140	6071
45	長野たみ子	1928-	あじさい		油彩・カンヴァス	53×45.5	6072
46	長野たみ子	1928-	ポピー	1968	油彩・カンヴァス	53×45.5	6073
47	長野たみ子	1928-	追想	1982	油彩・カンヴァス	53.5×25	6074
48	長野たみ子	1928-	対話	1983	油彩・カンヴァス	72.7×60.6	6075
49	長野たみ子	1928-	水神	1986	油彩・カンヴァス	116.7×72.7	6076
50	長野たみ子	1928-	インド エローラ石窟寺院	1988	油彩・カンヴァス	38.5×45.7	6077
51	長野たみ子	1928-	ジャンタル・マンタル天文台	1988	油彩・カンヴァス	41×31.8	6078
52	長野たみ子	1928-	聖なる岬	1989	油彩・カンヴァス	53×45.5	6079
53	長野たみ子	1928-	カタカリダンサー	1991	油彩・カンヴァス	41×31.8	6080
54	長野たみ子	1928-	らくだ	1997	油彩・カンヴァス	33.3×24.2	6081

水彩・素描

55	三宅克己	1874-1954	真鶴風景	不明	水彩・紙	42×51.5	6082
56	川島理一郎	1886-1971	大仏寺のラマ塔(熱河)	1934年頃	紙、鉛筆	26×19	6083
57	川島理一郎	1886-1971	熱河大観	1934年頃	紙、鉛筆	21×27.5	6084
58	川島理一郎	1886-1971	中禅寺湖		紙、鉛筆	18×24	6085
59	川島理一郎	1886-1971	突風		紙、鉛筆	20×29.4	6086
60	川島理一郎	1886-1971	水族館		紙、鉛筆	20.5×28.5	6087
61	川島理一郎	1886-1971	蝦蟇ヶ淵	1936年頃	紙、鉛筆	18.5×23	6088
62	川島理一郎	1886-1971	コピーオブピカソ		紙、鉛筆	44.5×31.5	6089
63	川島理一郎	1886-1971	コピーオブピカソ		紙、鉛筆	49×35	6090
64	川島理一郎	1886-1971	大仏殿の側面		紙、鉛筆	21×27	6091
65	川島理一郎	1886-1971	水族館		紙、鉛筆	22×29.5	6092
66	川島理一郎	1886-1971	無題(ヴェネツィア風景)		紙、鉛筆	12×20	6093
67	川島理一郎	1886-1971	無題(マティス模写)		紙、鉛筆	30×21	6094
68	川島理一郎	1886-1971	無題(人物スケッチ)		紙、鉛筆	30×23	6095
69	川島理一郎	1886-1971	無題		紙、鉛筆	20×26	6096
70	川島理一郎	1886-1971	瀑布	1936年頃	紙、鉛筆	24.5×18	6097
71	川島理一郎	1886-1971	夜叉門	1936年頃	紙、鉛筆	29×41.5	6098
72	川島理一郎	1886-1971	ピカソのアトリエにて	1951年	紙、鉛筆	43.4×27.5	6099
73	川島理一郎	1886-1971	熱海 錦ヶ浦		紙、鉛筆	24.5×36	6100
74	川島理一郎	1886-1971	ピカソ模写 ピカソのアトリエにて		紙、鉛筆	35×49	6101
75	川島理一郎	1886-1971	ピカソ模写 ピカソのアトリエにて		紙、鉛筆	42.5×31	6102
76	川島理一郎	1886-1971	中国風景		紙、鉛筆	21×29	6103
77	川島理一郎	1886-1971	中国風景	1938	紙、鉛筆	21×29	6104
78	川島理一郎	1886-1971	夜叉明王(日光)		紙、鉛筆	34.5×25	6105
79	川島理一郎	1886-1971	本地虚空蔵菩薩 珊底羅大将		紙、鉛筆	17.5×26	6106
80	川島理一郎	1886-1971	無題		紙、鉛筆	43×31	6107
81	川島理一郎	1886-1971	美麗		紙、鉛筆	19×27	6108
82	川島理一郎	1886-1971	無題(パリ風景)		紙、鉛筆	31×22	6109
83	川島理一郎	1886-1971	うちはえび		紙、鉛筆	23×31.5	6110
84	川島理一郎	1886-1971	万字楼の一部	1938年	紙、鉛筆	23×30.5	6111

85	川島理一郎	1886-1971	雲海		紙、鉛筆	23×30.5	6112
86	川島理一郎	1886-1971	離宮の庭園	1934年頃	紙、鉛筆	24.5×32	6113
87	川島理一郎	1886-1971	離宮の石庭	1934年頃	紙、鉛筆	24.5×32	6114
88	川島理一郎	1886-1971	無題(カンボジア風景)	1940年代	紙、鉛筆	35×24.5	6115
89	川島理一郎	1886-1971	スラ・スラン	1940年代	紙、鉛筆	24.5×35	6116
90	川島理一郎	1886-1971	無題(カンボジア風景)	1940年代	紙、鉛筆	35.5×25	6117
91	川島理一郎	1886-1971	無題(カンボジア風景)	1940年代	紙、鉛筆	35×35	6118
92	川島理一郎	1886-1971	無題		紙、鉛筆	9.5×24.5	6119
93	大沢昌助	1903-1997	カラス	1992年	水彩・紙	39.5×31.5	6120
94	大沢昌助	1903-1997	ソフトライン	1992年	オイルパステル	33×41	6121
95	寺島龍一	1918-2001	婦人座像	不明	パステル	73.4×56.5	6122

版画

96	大沢昌助	1903-1997	裸婦	1973年	シルクスクリーン	54×42	6123
97	大沢昌助	1903-1997	顔	1973年	紙、リトグラフ	60×50.3	6124
98	大沢昌助	1903-1997	座像	1988年	シルクスクリーン	43×32	6125
99	大沢昌助	1903-1997	ゆれる線	1990年	シルクスクリーン	37×46	6126
100	大沢昌助	1903-1997	並立	1990年	紙、シルクスクリーン	37×46	6127
101	大沢昌助	1903-1997	みどりのたたづまい	1990年	紙、シルクスクリーン	37×46	6128
102	大沢昌助	1903-1997	まわる	1990年	紙、シルクスクリーン	37×46	6129
103	大沢昌助	1903-1997	島	1990年	紙、シルクスクリーン	37×46	6130
104	大沢昌助	1903-1997	アルカディア	1993年	紙、ドライポイント、 アクアチント	24×32	6131
105	大沢昌助	1903-1997	つどい	1994年	紙、ドライポイント、 アクアチント	23.5×32.5	6132
106	大沢昌助	1903-1997	そして、笑う	1995年	紙、木版	20.3×29.9	6133
107	大沢昌助	1903-1997	ひかり	1997年	紙、ドライポイント、 アクアチント	32×24	6134
108	大沢昌助	1903-1997	一遍上人	1997年	紙、ドライポイント、 アクアチント	32×24	6135

109	坂本好一	1932-2023	冬の記憶	1983年頃	紙、メゾチント	36×25	6136
110	坂本好一	1932-2023	雪の集落	1980年代	紙、メゾチント	24.5×19	6137
111	坂本好一	1932-2023	夕茜	1980年代	紙、メゾチント	19×13	6138
112	坂本好一	1932-2023	会津の家並	1980年代	紙、メゾチント	18.5×25	6139
113	坂本好一	1932-2023	眠る村	1980年代	紙、メゾチント	16×13	6140
114	坂本好一	1932-2023	すみれ	1970年代	紙、メゾチント	13×21	6141
115	坂本好一	1932-2023	題不詳	1960年代後半	紙、メゾチント	17×27.5	6142
116	坂本好一	1932-2023	題不詳	1970年頃	紙、エッチング	24.5×31	6143
117	坂本好一	1932-2023	髪	1976	紙、メゾチント	10×10	6144
118	池田満寿夫	1934-1997	聖なる手1	1965	紙、ドライポイント	39×36	6145

工芸

119	島岡達三	1919-2007	象嵌扁壺	1980年頃	陶	8×10×18	6146
120	勝城蒼鳳	1934-2023	雨文摺漆花籃「那須野の驟雨」	2011	竹	17×41×27	6147
121	勝城蒼鳳	1934-2023	平割捻摺漆花籃「陽炎韻映」	2015	竹	17×53×24.5	6148
122	勝城蒼鳳	1934-2023	柁割千集花文摺漆盛籃「花のゆめ」	2017	竹	20×45	6149
123	勝城蒼鳳	1934-2023	根曲竹遊線編摺漆花籃「初音」	2022	竹	36.5×36.5×34	6150
124	磯飛節子	1964-	巻編花籃「風風」	2024	竹	17.5×45×24.5	6151

書

125	島多訥郎	1898-1983	非		板	23.5×27.7	6152
126	島多訥郎	1898-1983	希言自然		板	22.5×44	6153
127	島多訥郎	1898-1983	掃塵		板	26×57.5	6154

その他

128	川島理一郎	1886-1971	スケッチブック	1926	紙		6155
-----	-------	-----------	---------	------	---	--	------

■美術資料貸出状況

No.	作者名	作品名	展覧会名	貸出先	会期
1	清水登之	パリ夜街	City of Others: Asian Artist in Paris 1920s-1940s	National Gallery Singapore	2025年4月2日～2025年8月17日
2	川島理一郎	セーヌ河の景(ボンヌフ)			〃
3	藤田嗣治	花を持つ少女	藤田嗣治×国吉康雄展	兵庫県立美術館	2025年6月14日～2025年8月17日
4	清水登之	突撃	とちぎ戦後80年～いま、おやと子で知る 軍隊・戦争と栃木～	栃木県立博物館	2025年7月12日～2025年8月31日
5	菊地武彦	線の気韻1998-47	菊地武彦 anamnesis —想起する景—	足利市立美術館	2025年7月19日～2025年10月13日
6	リチャード・ウィルソン	アクア・アチェトーサ			2025年7月19日～2025年11月9日
7	カミーユ・コロー	ヴィル＝ダヴレーの池 (洗濯女たちと水飼場に来る馬)	よりみち展～美術のみかたが 広がるよもやま話～	諸橋近代美術館	〃
8	福島秀子	ホワイトノイズ	アンチ・アクション 彼女たち、 それぞれの応答と挑戦	豊田市美術館 東京国立近代美術館	2025年10月4日～2025年11月30日 2025年12月16日～2026年2月8日
9	荒井寛方	写生帖「印度自然 カルカッタ及其付近」	日本近代美術の一断章～描かれた「南」～	福岡市美術館	2025年10月11日～2025年11月24日
10	荒井寛方	写生帖「印度自然 サンチニケタン、ボロ ツポール及甲谷陀」	〃	〃	〃
11	荒井寛方	写生帖「印度自然 ウリシッシャ州 プリ 及カナラ」	〃	〃	〃
12	荒井寛方	写生帖「天竺」	〃	〃	〃
13	荒井寛方	写生帖「二 天竺」	〃	〃	〃
14	荒井寛方	写生帖「印度写生 アジャンタ」	〃	〃	〃
15	オボニンドロナト・タ ゴール	孤舟	〃	〃	〃
16	オボニンドロナト・タ ゴール	荒井氏 母国を思い て	〃	〃	〃
17	オボニンドロナト・タ ゴール	夕日(ジョラシャンコ・ タゴール邸より)	〃	〃	〃
18	オボニンドロナト・タ ゴール	おはよう	〃	〃	〃
19	オボニンドロナト・タ ゴール	棹を持つ人	〃	〃	〃

20	オボニンドロナト・タ ゴール	滝の汗	〃	〃	〃
21	ノンドラル・ボース	インド女神	〃	〃	〃
22	ノンドラル・ボース	鳩	〃	〃	〃
23	ノンドラル・ボース	遺跡	〃	〃	〃
24	ノンドラル・ボース	夕日を見る人々	〃	〃	〃
25	ムクル・チョンドロ・ デー	ビチットラにて	〃	〃	〃
26	ムクル・チョンドロ・ デー	男の顔	〃	〃	〃
27	荒井寛方	孔雀明王	〃	〃	〃
28	李平凡	家のない子どもたち	戦後80年 戦争と子どもたち	板橋区立美術館 2025年11月8日～2026年1月12日 郡山市立美術館 2026年1月31日～2026年3月22日	
29	川上澄生	着せ替え人形	〃	〃	〃
30	古川龍生	桜花	〃	〃	〃
31	小杉放菴	金太郎遊行	〃	〃	〃
32	刑部人	少年通信兵	〃	〃	〃
33	鈴木賢二	川島にて	〃	〃	〃
34	鈴木賢二	スケッチ帖	鈴木賢二と徹	栃木市立美術館 2026年1月10日～2026年3月22日	
35	鈴木賢二	こさ落とし	〃	〃	〃
36	鈴木賢二	スケッチ帖	〃	〃	〃
37	鈴木賢二	スケッチ帖	〃	〃	〃
38	鈴木賢二	脱穀	〃	〃	〃
39	鈴木賢二	焚火	〃	〃	〃
40	鈴木賢二	映画「路傍の石」	〃	〃	〃
41	鈴木賢二	スケッチ(少年たち)	〃	〃	〃
42	鈴木賢二	スケッチ(赤ん坊を背 負う子ども)	〃	〃	〃
43	鈴木賢二	スケッチ(買い出し)	〃	〃	〃
44	鈴木賢二	スケッチ(復員)	〃	〃	〃
45	鈴木賢二・小口一郎	『わが町わが村』第1 号(小口一郎 鈴木 賢二 版画集)	〃	〃	〃
46	鈴木賢二	猩々	〃	〃	〃
47	鈴木徹	馬と娘の恋の物語3	〃	〃	〃
48	鈴木徹	馬と娘の恋の物語5	〃	〃	〃
49	鈴木徹	馬と娘の恋の物語13	〃	〃	〃
50	鈴木徹	馬と娘の恋の物語16	〃	〃	〃

51	鈴木徹	馬と娘の恋の物語18	〃	〃	〃
52	鈴木徹	砂丘	〃	〃	〃
53	中村宏	パシフィック	中村宏展 アナクロニズム(時代錯誤)のその先へ	静岡県立美術館	2026年1月10日～2026年3月15日
54	中村宏	ある肖像	〃	〃	〃

■学芸員研究業績等 2025年4月～2026年3月

橋本慎司(学芸課長)

作 品 解 説 「祐榮筆 出山釈迦・蜆子・猪頭図」『国華1554号』、国華社、2025年4月

鈴木さとみ(主任研究員)

論 文 「飯塚小玕齋の竹工芸」『コレクションをめぐる3つの時間』展図録、太田市美術館・図書館、2026年3月、pp.48-53

講 座 「栃木の竹工芸―飯塚琅玕齋と人間国宝を中心に」、栃木県シルバー大学校南校、2025年7月17日

鑑・審査委員 「第72回日本伝統工芸展」鑑・審査委員、読売新聞府中別館、2025年7月24日

審 査 委 員 「第28回全国竹芸展」審査委員、那須与一伝承館、2025年9月29日

鑑・審査委員 「第54回伝統工芸日本金工展」鑑・審査委員、谷中田美術、2026年3月13日

講 評 「東京都知事賞 本田青海《盛籃「瑞花」》」、「日本工芸会奨励賞 田辺竹雲斎《輪葉透組花籃「響相」》」『第72回日本伝統工芸展』図録、2025年9月、pp.164-165

講 評 「優秀賞 勝城七五男《舟形寄せ編花籃「やまと」》」、「『第28回全国竹芸展』図録、2025年11月、p.28

講 評 「宗桂会賞 竹花万貴《御法金具～源氏物語より～》」、「『第53回伝統工芸日本金工展』図録、2026年5月、p.34

解 説 記 事 「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 勝城蒼鳳『千筋捻摺漆花籃「漣」』」『下野新聞』2025年3月11日

解 説 記 事 「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 『バックヤードに潜入！栃木県立美術館』」『下野新聞』2025年7月29日

解 説 記 事 「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 岩田藤七『花器』」『下野新聞』2025年9月2日

助 成 令和7年度文化芸術振興費費補助金(Innovate MUSEUM事業)「〈とちぎ版アートカード〉の製作と活用による新たな学習モデルの構築」

志田康宏(主任(学芸員))

講 演 「「日本画・史」における田中一村の位置付け」(きららの杜とちぎ蔵の街楽習館(栃木市市民交流センター))、2025年6月14日、田中一村記念会

講 座 栃木県シルバー大学校北校「とちぎの「日本絵画」史」、2025年9月3日

エッセイ 「ベンガル近代美術における細密画」『氏家喜連川 歴史と文化』第24号、氏家喜連川歴史文化研究会、2025年5月31日

解 説 記 事 「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 谷内六郎『ミシンの音』『タネを吹く子』」『下野新聞』2025年5月6日

解 説 記 事	「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 小堀鞆音『判官義経』』『下野新聞』2025年10月7日
解 説 記 事	「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム アレクサンドル・カバネル『狩の女神ディアナ』』『下野新聞』2025年12月2日
列 品 解 説	ギャラリートーク「栃木ゆかりの画家について」、アートリンクとちぎ2025『生きものづくし』展(小山市立車屋美術館)関連イベント、2025年8月9日

大城茉里恵(主任(学芸員))

編 集	『僕はなにに色 渡辺豊重展——いろ、かたち、ひかりの冒険』図録、栃木県立美術館、2026年1月
論 文	「いろ、かたち、ひかりに見た——渡辺豊重の表現について」『僕はなにに色 渡辺豊重展——いろ、かたち、ひかりの冒険』図録、栃木県立美術館、2026年1月、pp. 8-16
コ ラ ム	「声がきこえる美術館 人と空間の関係性を見直して」『ZENBI 全国美術館会議機関誌』第29号、一般社団法人 全国美術館会議、2026年2月1日、pp. 6-7
講 座	栃木県シルバー大学校中央校「「とちぎの美術」って何？栃木に集った、描いた作家たち」2025年9月12日
列 品 解 説	「ギャラリートーク」、アートリンクとちぎ2025『郷愁の風景 暮らしの美』(久保記念観光文化交流館 美術品展示館)関連イベント、2025年12月6日
解 説 記 事	「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 第26回 コレクションから」『下野新聞』2025年4月8日
解 説 記 事	「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 第34回 ブラインドトーク」『下野新聞』2025年6月3日
解 説 記 事	「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 第70回 渡辺豊重の鬼」『下野新聞』2026年3月10日
助 成	公益財団法人 花王芸術・科学財団「僕はなにに色 渡辺豊重展——いろ、かたち、ひかりの冒険」
助 成	栃木県人事課自主研究「ユニバーサル・ミュージアム研究」
助 成	栃木県博物館協会 学芸活動奨励事業「僕はなにに色 渡辺豊重展——いろ、かたち、ひかりの冒険」

武関彩瑛(主任(学芸員))

編 集	『親愛なる友 フィンセント 動くゴッホ展』図録、ネオスペース／栃木県立美術館／下野新聞社、2025年6月
編 集	『僕はなにに色 渡辺豊重展——いろ、かたち、ひかりの冒険』図録、栃木県立美術館、2026年1月
論 文	「渡辺豊重と栃木—人や素材との新たな出会い」『僕はなにに色 渡辺豊重展——いろ、かたち、ひかりの冒険』図録、栃木県立美術館、2026年1月、pp. 16-23
コ ラ ム	「フィンセントと手紙」『親愛なる友 フィンセント 動くゴッホ展』図録、ネオスペース／栃木県立美術館／下野新聞社、2025年6月、p.5
コ ラ ム	「フィンセントの作品とそのゆくえ」『親愛なる友 フィンセント 動くゴッホ展』図録、ネオスペース／栃木県立美術館／下野新聞社、2025年6月、p.29
講 座	栃木県シルバー大学校中央校「とちぎの美術—栃木の風土を愛した作家たち」、2025年9月2日

解 説 記 事	「親愛なる友 フィンセント 動くゴッホ展 県立美術館学芸員解説上 「デジタルアート」って何だろう」『下野新聞』2025年7月26日
解 説 記 事	「親愛なる友 フィンセント 動くゴッホ展 県立美術館学芸員解説下 「フィンセント・ファン・ゴッホの生涯」」『下野新聞』2025年8月2日
解 説 記 事	「デジタルアートは実物を超えるのか？—動き出すゴッホの世界」『下野新聞 中サポ通信』7月号
解 説 記 事	「フィンセント・ファン・ゴッホ—絵にすべてをかけた画家の物語」『下野新聞 中サポ通信』8月号
解 説 記 事	「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 渡辺豊重「モクモク」」『下野新聞』2026年2月3日
助 成	栃木県博物館協会 学芸活動奨励事業「僕はなにに色 渡辺豊重展—いろ、かたち、ひかりの冒険」

清水友美(研究員)

対 談	「インタビュー:題名でたどる作品の変遷」『菊地武彦 anamnēsis—想起する景—』展図録、足利市立美術館、2025年7月、pp.85-91
列 品 解 説	「ギャラリートーク」、アートリンクとちぎ2025『工業と絵画』(佐野市立吉澤記念美術館)関連イベント、2026年2月21日
解 説 記 事	「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 山本忠敬「しょうぼうじどうしゃじぶた」」『下野新聞』2025年11月4日
解 説 記 事	「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 長谷川春子「少婦国防」」『下野新聞』2026年1月6日

河村耕平(研究員)

論 文	「ヨーリス・フフナーヘルと「愛の家族」—愛、敬虔、そして友情の視覚化における影響関係」『文化』第88巻第3・4号、東北大学文学会、2025年3月31日(2026年3月出版)、pp.37-67
解 説 記 事	「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 多田美波「周波数FL10-6874」」『下野新聞』2026年4月6日

■名簿(令和8年3月31日現在)

栃木県立美術館評議員

学校教育関係者

副会長 川北 由美	栃木県中学校教育研究会美術部会会長(宇都宮市立姿川中学校校長)
委員 宇賀神 俊彦	栃木県小学校教育研究会図画工作部会会長(宇都宮市立姿川第一小学校校長)

社会教育関係者

会長 大野 斉子	宇都宮大学国際学部准教授
----------	--------------

家庭教育関係者

委員 伊吹 桂子	家庭教育オピニオンリーダー連合会顧問
----------	--------------------

学識経験者

委員 岩崎 信	栃木県議会議員
委員 齋藤 千明	白鷗大学教育学部教授・鹿沼市立川上澄生美術館館長
委員 清水 和幸	(株)足利銀行 代表取締役頭取
委員 杉村 浩哉	栃木市立美術館館長
委員 宗像 信如	(株)下野新聞社論説委員長

公募

委員 umi.	画家
委員 島 一嘉	会社員

(分野別50音順)

職員

